

国際ロータリー 第2790地区

2017-18年度に向けて

地区研修・協議会

District Training Assembly

報告書



ロータリー：
変化をもたらす



アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 2017年4月22日(土)

ロータリー：変化をもたらす

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

(2017-18年度 RI会長のテーマ)

Object of Rotary ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

The Four-Way Test

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

Rotarian Code of Conduct ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準を持って行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

国際ロータリーの青少年と 接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために、安全な環境をつくり、維持するために努力している。

ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。

2006年11月、RI理事会により承認

目 次

目 次	1
プログラム	2
歓迎の言葉 ホストクラブ・袖ヶ浦R C会長 徳 本 浩 俊	3
ガバナー挨拶 青 木 貞 雄	4
地区研修リ - ダ - 挨拶 関 口 徳 雄	5
地区研修・協議会開催にあたり 寺 嶋 哲 生	6
地区研修・協議会 受賞者一覧	7

～ 部会別協議会のご案内 ～

会 長 部 会	16
幹 事 部 会	25
管 理 運 営 部 会	29
研 究・研 修 部 会	63
奉 仕 プロジェクト部会	81
青 少 年 奉 仕 部 会	95
ロ ー タ リ ー 財 団 部 会	106
米 山 記 念 奨 学 部 会	110

全体会議



ホストクラブ挨拶
徳本浩俊袖ヶ浦 RC 会長



関口徳雄地区研修リーダー



寺嶋哲生ガバナーエレクト



挨拶
青木貞雄ガバナー



諸岡靖彦ガバナーノミニデジグネイト



橋岡久太郎ガバナーノミニ



次年度ホストクラブ挨拶
関屋勉茂原東 RC 会長エレクト



神野美明地区幹事長

＜次年度地区大会・地区大会記念ゴルフの案内＞



＜表 彰＞



地区研修・協議会プログラム

09:00 登録開始

【第1部】 本 会 議

		司会 次期地区幹事長	神 野 美 明
10:00	点 鐘 国歌斉唱「君が代」 ロータリーソング「奉仕の理想」 ホストクラブ歓迎の言葉	ガバナーエレクト 袖ヶ浦RC会長	寺 嶋 哲 生 徳 本 浩 俊
10:10	地区研修・協議会開催のご挨拶	ガバナー	青 木 貞 雄
10:20	地区研修・協議会開催によせて	次期地区研修リーダー	関 口 徳 雄
10:40	次年度RI会長方針及び地区運営方針	ガバナーエレクト	寺 嶋 哲 生
11:10	表 彰	ガバナー	青 木 貞 雄
11:40	ガバナーノミニーマン挨拶 ガバナーノミニーマンデジグナイト挨拶 次期ホストクラブ紹介 次期ホストクラブ挨拶 次年度地区大会の案内 次年度地区大会記念ゴルフ大会の案内 諸事お知らせ	ガバナーノミニーマン ガバナーノミニーマンデジグナイト ガバナーノミニーマン 茂原東RC会長エレクト 地区大会会長 ゴルフ大会会長	橋 岡 久 太 郎 諸 岡 靖 彦 橋 岡 久 太 郎 関 屋 勉 榊 隆 夫 石 戸 新 一 郎
12:00	点 鐘	ガバナーエレクト	寺 嶋 哲 生
	昼 食		

【第2部】 部 会 別 協 議 会

13:10	会長部会	地区予算案採決 方針説明・依頼事項 質疑応答
	他部会	方針説明・依頼事項 質疑応答

各部会の協議会終了後に各自で閉会、解散して下さい

16:00 最終時刻



歓迎の言葉 地区研修・協議会ホストクラブ挨拶

2017年度地区研修・協議会ホストクラブ
袖ヶ浦ロータリークラブ 会長

徳本 浩俊

皆様、おはよう御座います。

国際ロータリー第2790地区2017-18年度地区研修・協議会のホストクラブを
仰せつかりました袖ヶ浦ロータリークラブの徳本と申します。クラブを代表し
て、歓迎のご挨拶を申し上げます。

本日は、週末の早朝にもかかわらず県内各地より多数のロータリアンの皆様
にご出席いただきましたことに心より感謝申し上げます。

昨年、ホストクラブにご指名頂きまして、本日の開催に当たっては、寺嶋ガバ
ナーエレクト・神野次期幹事長・ガバナーエレクト事務所・柏ロータリークラブ
の皆様の多大なご尽力により本日を迎えることが出来たことを、改めて心
より厚く御礼申し上げます。

また皆様方には、不行き届きの点多々あるかとも思いますがロータリア
ンの寛容のお心をもってお許し願えればと思っています。

さて、年度R I テーマは、「ロータリー：変化をもたらす」です。
「社会情勢の変化に適合し、更なる深化」を目指し「理念と実践」の行動指針で、こ
れまでの成果をバネに飛躍する時が来ました。
新年度、各クラブにおいて重要な役割を担う皆様が、本日の研修を通してより一
層の認識を深められご活躍することを、心からお祈りいたします。

寺嶋年度の輝ける出発と各クラブの益々の隆盛を祈念申し上げて歓迎の言葉
とさせていただきます。有り難うございました。



ガバナー挨拶 「地区研修・協議会」の開催にあたって

2016-17 年度 ガバナー 青木 貞雄 (成田コスモポリタンRC)

次年度の地区役員、ガバナー補佐、及び地区委員会、並びにクラブの会長・幹事を始めとする幹部の皆様のお出席を得て、本日、三大セミナーの最後となる「地区研修・協議会」が、かくも盛大に開催されることに心よりお慶びを申し上げます。同時に、本日の地区研修・協議会の企画・設営にあたったホストクラブ袖ヶ浦RC、及び神野次年度地区幹事長を始めとする地区幹事団の皆さんのご努力に感謝申し上げます。

寺嶋ガバナーエレクトは、米国サンディエゴで1月に開催された国際協議会に参加し、Ian H. S. Riseley会長エレクトのテーマ「Rotary: Making a Difference=ロータリー: 変化をもたらす」を始めとするRI活動方針につき研修を受けると共に、地区チームメンバーとの共通理解醸成を目的とした「地区チーム研修セミナー」、そして会長エレクトに対する研修を目的とした「会長エレクト研修セミナー」を実施した上で、地区の運営方針・行動指針・組織・予算案、地区委員会活動方針等を確定しました。

本日の「地区研修・協議会」は、これらを披露すると共に予算案の承認を得て、次年度に向けた活動を正式にスタートさせることです。従って、標準RC定款第13条に基づき、会長エレクトは、本協議会への参加が基本的に義務付けられています。

ロータリーは単年度主義であり、次年度は、RI方針を付度した寺嶋GEの考えに基づく地区運営が迫られますが、その基盤となるRI活動方針は、戦略計画の3つの優先事項、及び人道奉仕の6つの重点項目の継続的追及、並びに世界の人々の生活を変える奉仕活動の実践を重視したRIテーマ等、今年度と同一軌道の上にあり、活動の継続性が求められていると理解します。

クラブには自主権が認められていますが、RI直轄の皆さんは、RI活動方針に基づくと同時に、地区運営方針・行動指針等を勘案した活動が求められます。昨年のクラブ公式訪問を通じ、当地区のクラブは、ロータリーを勉強・自己研鑽の場、奉仕活動の場、そして、会員間の友好を通じた人間力向上の場と考える3つのタイプに大別出来ると思いました。私は、ロータリーの基本理念に照らし、これらはいずれも正しいが、同時にいずれも不十分と考えます。

クラブ会長、幹事等の皆さんの任期は1年ですが、

クラブ、また、会員は毎年変わるわけではありません。皆さんには、上記3つのタイプの全てを備えた活気あるクラブ運営にリーダーシップを発揮し、主役である会員の皆さんがロータリアンになって良かったと思う活動展開、そして、価値観を分かち合える仲間の輪の拡大に努めるようお願いします。

尚、活動計画書掲載クラブ定款・細則は、2016年規定審議会決議を反映する必要がありますが、クラブで承認する細則には、新定款に基づく「会計を理事にする、ローターアクター二重会員排除の廃止、理事会議事録の60日以内全会員周知(幹事の責務、または理事会規定見直し)等」、及び公式訪問時に一部のクラブに指摘した「例会終了時間の記載(例会時間の60%以上の在席が、基本的例会出席条件)、並びに出席免除会員とその出席記録の取扱い等」を反映するよう留意して下さい。

結びにあたり、全クラブ・全会員の活発な活動により、活気溢れる寺嶋年度となるよう祈念申し上げます。



地区研修リーダー挨拶 ロータリーよ、何処へ行く

2017-18 年度 地区研修リーダー 関口 徳雄（浦安RC）

世界のロータリー運動の中で、日本の進路が岐路に立たされていると言われて久しいですが、(2016年)における規定審議会における改定は、更にその度を深めさせるもので、古いロータリアンがカルチャーショック的な動揺を受けたことは想像に難くないものと思います。先の規定審議会でのRI理事会提案による「クラブの例会と出席に柔軟性を認める」決議は、392対82の大差で可決されているのです。

この事は、一体何を意味するのでしょうか？

事務総長ジョン・ヒューコ氏のコメントによれば、試験的プログラムの結果、例会方法・会員資格・クラブへの参加方法などについて、クラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ成長する傾向にあると言っております。つまり、クラブの健全さは出席率だけで決まるものではないとするものです。

各クラブは細則を変えず、従来と同じ方法をとることもできるとは言うものの、RIが世界の大勢に向けて、例会の重要さ・位置付けを軽く見る方向に大きく舵をきったと言えるものです。私共は、先輩ロータリアンから例会の大切さを以下のように教えられてきました。

ロータリー運動の実体を表現した言葉に「入りて学び、出て奉仕せよ」(Enter to learn, Go forth to serve)があります。職業人が例会に集い、例会の場で職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれてくるものです。

この例会における一連の活動のことを「親睦」と呼び、そしてこの例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの職場や地域社会に戻り、奉仕活動を実践することが理想とされるロータリーライフであるとするものでした。もっとも、数年前に顔を合わせない例会、つまりEクラブの成立を認めた頃は、単に会員増強の視点からしか考えませんでした。が、RIはこの頃より例会の位置づけを軽視してきたようであります。

そして、これが世界のロータリー運動の流れであることが先の規定審議会での大差による可決となって、我々に「さあ、日本のロータリアン、これからどうする？」と迫ってきたわけです。

これら動きに呼応するように、私の同期のガバナナーが「ロータリーの友」1月号に勇気ある提言を載せております。彼の主張及びロータリーの認識にごく一部納得できない部分もありますが、なるほど私もそう思うという部分も多々ありました。

彼の論文のテーマは、「職業奉仕はロータリーの根幹か？」とするもので、今世界のロータリー運動の中で、日本のロータリーは「ガラパゴス化」しているとまで言い切っております。これら原因の一つは、日本のロータリアンと世界のロータリアンが持つ意識のギャップないしズレ、特に「職業奉仕」についての認識の違いが大きいと言っております。(詳細は「友」誌で)

さて、我々は今後何をどうすべきでしょうか？理論より実践へとの流れは変えられないとしても、ロータリーの核にあるものとしての固有の奉仕理念やロータリー哲学は変わっていないことは誰もが認めるところです。

そこで、日本におけるこれからのロータリー、将来のロータリーはいかにあるべきかですが、日本のロータリーは絶対に「ガラパゴス化」してはなりません。日本のロータリアンの矜持、伝統、そして進んだロータリー文化を堅持し、世界でリーダーシップをとって、これらを世界に発信していくための工夫は絶対にあるはずです。

しかし、日本のロータリアンもいたずらに職業奉仕理念を振りかざし、それに固執するのではなく、奉仕活動の実践内容を今の地域社会のニーズや変化に適応したものに変えていく必要があると思います。理念は理念として大事にしなければなりません。より効果的な実践活動を優先する必要もあります。このような改革なしには日本のロータリーは世界のロータリー運動から孤立し、本当の意味で「ガラパゴス化」となり、我々は次の世紀には生き残れないでしょう。



ガバナーエレクト挨拶 2017－18年度地区運営方針

2016-17 年度 ガバナーエレクト 寺嶋 哲生（柏RC）

A はじめに

2017-18年度RI第2790地区・地区研修協議会を開催するに当たり、青木貞雄ガバナー、関口徳雄研修リーダー、宇佐見透研修サブリーダー、並びにパストガバナーの皆様にご臨席を賜り、ご指導を戴けます事に深く感謝申し上げます。

次期ガバナー補佐の皆様と地区委員長の皆様のご協力の下、次年度各クラブをご指導いただく会長・幹事の皆様を始め、地区内全クラブの運営に携わられるリーダーの皆様にご参加を頂き、心より感謝を申し上げます。

また、開催に当たりホストクラブとして多大なご尽力を頂きました袖ヶ浦ロータリークラブの皆様には誠にありがたく、心より御礼申し上げます。

本日は、2017-18年度RIテーマと第2790地区活動方針とをご説明申し上げるとともに、多くのリーダーの皆様にご理解を賜る事でご協力を得て、第2790地区の活動に当たりたく本研修協議会を開催致します。

私にとりましては身に余る職責ではありますが、誠心誠意努力致す所存ですので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

B RI会長テーマ

次年度のRI会長は、オーストラリアSandringhamロータリークラブに所属するイアン・ライズリー氏です。

ライズリー会長エレクトは、1月16日に開催された国際協議会第一回本会議において、2017-18年度RIテーマを「ロータリー：変化をもたらす」（英文「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE」）と発表されました。

ライズリー会長エレクトは、その意図するところとして、自ら次のような文章を記されています。

- ① 私にとってのロータリーとは、「どのような団体か」ではなく、「何をしているか」で定義される。
- ② 2017-18年度、「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは「ロータリー：変化をもたらす」というテーマで答える。
- ③ 何故なら、それぞれどのような方法で奉仕する事を選んだとしても、その理由は、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらせると信じているからだ。

- ④ 私たちの活動は、誰かの人生をより良くしている。
- ⑤ 私たちがロータリーにとどまり続けるのは、ロータリーで充実感を得ることができるからである。
- ⑥ この充実感とは、「変化をもたらす」ロータリーの一員であることから湧き出てくるものなのである。

加えて、本会議における講演では、次のように口述されています。

- ① 自分がガバナーを務めた365日間で、自分の人生が変わった。
ガバナーとして自分の任務を全うすれば、関わった人達の人生を変えることができる。
世界中のガバナーが職責を全うすれば、世界の人々の生活を変えることができる。
- ② ロータリーの戦略計画である三つの事柄は、必ず尊重されなければならない。
すなわち、クラブのサポートと強化、人道奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上の三つである。
- ③ クラブのサポートには、マイロータリーやロータリークラブセントラルといった情報ツールを活用すべきである。
クラブ強化については、会員の男女のバランスと年齢構成を意識しなければならない。
すなわち、女性会員と30代の会員を増強すべきである。
- ④ 人道的奉仕の六つの重点項目全てに共通して意識すべきは、持続可能性と継続である。
すなわち、ロータリーによる援助が終了しても、受益者が独自に事業を継続できるシステムを構築することが望ましい。
- ⑤ 公共イメージの向上のためには、ロータリーのストーリーを一貫して語り、広く社会に発信すべきである。
- ⑥ 私達は、未来のために地球環境に配慮すべきである。
温暖化を防止する為に、2017年7月～2018年4月までの間に、ロータリアン一人が一本の植樹を行う事を推奨する。
- ⑦ ロータリアン一人一人、夫々のロータリークラブ

は、世界の人々の生活を変えることができる。
私達が力を合わせれば、更に大きな変化をもたらすことができる。

上記文章と口述とを見れば、いずれもRIの戦略計画が志向する世界有数のボランティア団体となるべく、ロータリーが実践的な奉仕プロジェクトに取り組む姿勢を明確に表現し、RI会長としての自らの意志を強く表明されたものと思われます。

C 2790地区の課題

日本全体の経済動向は更に不透明感を増しており、2790地区もそれと無縁ではありません。

人口動態の変遷は、ロータリーの会員数にも強い影響を与え、地域によっては会員数の維持にも苦慮する事となることは容易に想像できます。近代以降拡大を続けた人口が縮小に転じた以上、不作為は即ち事業の縮小と同義であり、一定の合意に基づいた戦略の立案が重要性を増すことと考えます。

永年、単年度主義を旨としてきたロータリーにあって、戦略計画という複数年に渡る事業継続の推奨に転じたRI方針に対し、継続性を担保する合意形成の手法が未整備である点が本地区における課題であると思われます。

D 地区運営に関する基本的な考え方

地区を運営するにあたり、①理念と実践、②事業と運営、③継続と革新の三つの観点から考察致します。

理念と実践

決議23-34が採択される前夜は、職業倫理を重視する理念派と、金銭的奉仕や身体的奉仕といった実践的奉仕活動を重視する実践派が、その対立を深めていたと聞き及びます。

只今のRIは世界最大のボランティア団体を目指し、DLPやCLPの導入を推奨しておりますが、その方向性に対しては、職業倫理を軽んじているとの批判を間々耳にいたします。

他方実践派からは、理念にのみ拘泥されるスタンスは、もはや世界の潮流に逆行し、ロータリーの衰退に繋がるとの批判もあるようです。

私は、この理念と実践は二者択一ではなく、当然に共存できるものと考えます。

例えば2790地区の中に、理念を重視するクラブと実践に重きを置くクラブが共存する。

或は、同じクラブの中に、双方の会員が共存する。更には、高潔な職業倫理を抱きつつ、具体的な奉仕活動を実践する会員が存在する。

これらの事には何の不都合もなく、ロータリーを意義あるものと致します。理念の選択は実践を否定せず、実践は理念を否定しない。私は、そのように考

えます。

事業と運営

公益法人の判定基準では、経常的支出に占める公益事業費が50%を超えていることが必要とされます。

ロータリーがボランティア団体を目指すのであるならば、当然に、法人運営に関わる経費の相対的な矮小化を意識すべきであります。

人口が減少し経済規模が縮小する今後の日本において、一定の公益事業水準を維持するためには、絶対値としての法人運営費を圧縮すべきことは明らかであります。

2790地区は、いわゆる人格なき社団ではあるものの、運営を円滑に行うと共に、如何に公益目的事業比率を上げることができるのか。それを検討したいと考えます。

継続と革新

決議23-34には、ロータリーの行う奉仕活動は一会計年度において完了し、毎年度異なる事業を行う事が望ましい旨示唆されております。

RI会長、地区ガバナー、クラブ会長、全ての任期が一年である以上、この単年度主義は合理的な慣習ではあったと思われます。

しかしながら、最近になって戦略計画委員会の設置が推奨され、あるいはロータリー財団委員長の任期が3年となるなど、事業の継続性が推奨され始めております。

ロータリーが職業倫理を掲げ、実践的奉仕活動も会員個人の資質に委ねられていた過去のある時期においては、単年度主義は合理性を持っていたと言えます。

しかしながら、団体としての金銭的・身体的奉仕活動が推奨され、奉仕を標榜する団体である事に存在意義を見出そうとするならば、自己満足に終始しない奉仕活動の実践には、専門性を伴う継続性を具備すべきである事は、想像に難くありません。

更に、継続性を備えたノウハウの蓄積は、ただ惰性を産むこととは一線を画し、創造的な革新に繋がるものと期待できます。

端的に申せば、事業に対する習熟を経た後に、初めて可能となる改善や革新がある。

地区の設置する委員会においても、継続性を担保して革新の土壌を育む、そんな状況を意図したいと考えます。

E 2017-18年度行動指針

「理念と実践 ~Think Next~」

2016年の規定審議会による改変は、ロータリーの活動における方法論としての柔軟性を認めてはいるものの、ロータリーの目的(綱領)や中核的価値観

は不変であり、職業倫理を中心に奉仕の理念を掲げるロータリーの本質は全く変わっていないものと考えます。

その理念を啓蒙し、理念を共有する会員の輪を拡大する為の手段として、身体的奉仕や金銭的奉仕の実践が求められるものと思います。

RIが実践的奉仕活動を求めるならば、その実践を高潔足らしめる理念の再考は不可欠でありましょう。社会情勢の変化に適合し、更なる深化を期待して、次代の対応を考える。

そんな思いから、「理念と実践 ～Think Next～」を行動指針と致します。

F 地区組織

2017-18年度は、2016-17年度の組織図をほぼ踏襲致しますが、研究・研修統括委員会を新設し、また、奉仕プロジェクト統括委員会から青少年奉仕委員会を独立させて、青少年奉仕統括委員会と致します。

以下、主要な委員会に期待する機能について、記載いたします。

戦略計画委員会

ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・ガバナーノミニーデジグネイト、直前ガバナー・前々年ガバナーより組織される委員会とし、必要に応じて実務レベルの検討を行う委員を任命する事と致します。

地区において、単年度では意味をなさない事業計画や、あるいは、一年間で合議に達するのは難しい改変等を審議立案することを目途と致します。

当面の課題として、桜木年度において提起された分区の再編と地区事務所の設置、およびマイナンバーの導入に対応する何らかの法人化を検討したいと考えます。

分区再編の主眼は、分区毎に異なるクラブ数・会員数の格差を平準化することにあると考えますが、この必要性や是非に合わせて分区の在り方について議論を深め、一定の合意形成を目指したいと考えます。

地区事務所の設置については、他地区の実情を踏まえ、その功罪を認識した上でメリットの大きさを評価し、在り方と是非について一定の合意形成を図りたいと考えます。

法人化については、事務局員の雇用や什器備品のリース契約、その他地区の責任能力の明確化に対するメリットを鑑み、在り方と是非についての問題提起をしたいと考えます。

管理運営統括委員会

会員増強退会防止委員会、広報公共イメージ向上委員会、フェローシップ委員会の三つの委員会を統

括します。

広報については、各クラブに対しホームページの開設を推奨し、一つでも多くのクラブがホームページを持てるよう支援したいと考えます。

また、ロータリークラブセントラルの利用を推奨し、各クラブが独自の戦略計画を策定するための一助と致します。

会員増強にあつては、女性会員の増強を推奨し、会員となる可能性ある分母の拡大を図ります。また、フェローシップと連携して会員相互の交流をはかり、退会防止の一助と致します。

研究・研修統括委員会

ロータリー研修委員会、RLI推進委員会を管理運営統括委員会から独立させると共に、復活させる理念研究委員会とを合わせて、三つの委員会を統括します。

理念研究においては、ロータリーの標榜する職業倫理と奉仕の理念を再考すると共に、先達の著作等の参考文献を紹介し、会員がそれぞれのロータリー観を育み、ロータリアンとしての誇りを涵養できるよう、その一助としたいと考えます。

また、その成果を研修に活かしつつ、会員のRLIへの積極的な参加を推奨したいと考えます。

奉仕プロジェクト統括委員会

職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会の三つの委員会を統括します。

それぞれの領域における奉仕プロジェクトの実例を紹介する事により、一つでも多くのクラブが財団の地区補助金を利用した事業展開する契機となるよう推奨します。

また、ロータリー財団統括委員会と協働して、奉仕プロジェクト統括委員会が財団地区補助金の対象事業の審議に関与するスキームを確立したいと考えます。

青少年奉仕統括委員会

インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、RYLA委員会、ロータリー学友委員会の五つの委員会を統括します。

RIは、既に保険に加入しない交換留学を認めないなど、危機管理を重視する方針であることを受け、更にはマルチ地区構想など実施事業に対する責任能力を問う姿勢を鑑み、RIJYECとの連携を深めてその方針に対応し、危機管理に対する意識向上を推奨したいと考えます。

また、財団留学生や米山奨学生が独自に展開する学友会事業に対し、適切な交流を助長する方策を模索し、青年層のロータリークラブへの入会を意識した土壌を育みたいと考えます。

ロータリー財団統括委員会

財団資金・推進管理委員会、グローバルプロジェクト委員会、地区補助金プロジェクト委員会、奨学生・学友委員会、ロータリーポリオプラス委員会、ロータリー平和フェロシップ委員会に加え、新設する希望の風推進委員会を含む七つの委員会を統括します。

RIが、ワンロータリーとしてロータリー財団を尊重している事実を鑑み、ロータリー財団への積極的な寄付を推奨します。

青木年度に引き続いて寄付ゼロクラブの解消に注力し、合わせて年次寄付金の目標額を会員一人当たり150ドル、ポリオプラスに対する目標額を30ドルと致します。

奉仕プロジェクト統括委員会と連携し、地区補助金を活用した奉仕活動を推奨し、グローバル補助金を活用した事業の提起を期待します。財団補助金の支給については、その選考の手続きの透明性・公平性を鑑み、適切な方法を確立したいと考えます。

ロータリー米山記念奨学委員会

日本の製造業が世界最強であった時代、日米間の最大の懸案は貿易の不均衡であり、その時代には日本バッシングなる言葉を間々耳にいたしました。

その後、中国の台頭に従い、日本バッシングから日本ナッシングという言葉が産まれるなど、国際社会における日本の地位低下が取り沙汰されております。

現在のアメリカの大学では、かつて隆盛であった日本学を研究する研究室が、ほぼ霧散消失しつつあるとの事です。

米山奨学会は、世界から日本への架け橋となる人材を育成することが目途であり、この意義はむしろ更に重みを増している。会員にそんな意識を持って頂けるような啓蒙を推奨したいと考えます。

また、寄付ゼロクラブの解消と、会員一人当たりの寄付15,000円は、青木年度に引き続く目標として推奨いたします。

G ガバナー補佐の皆様へ

分区内のクラブと直接対話できる機会の多いガバナー補佐の皆様には、クラブの活性化のために大いなるご尽力を賜りたく、強くご期待を申し上げます。

基本的には、管轄する各クラブが、それぞれ独自の方針をもって活気あるクラブとなるよう自主的な活動を尊重しつつ、地区組織との懸け橋となって適切なお助力をお願いしたいと考えます。

その為に留意すべき事項について、以下に記します。

コミュニケーション

ガバナー補佐会議は年度内に6回開催し、合わせて、地区委員長会議と同時に開催することで、地区チームの情報の共有化を図ります。

分区分単位で行う会長幹事会は年度内で6回以上開催し、加えて、四半期に一度のクラブ訪問により分区分内の各クラブとの情報共有をお願い致します。

ガバナー公式訪問

公式訪問は、2016-17年度のジャームRI会長の意向を受けた青木年度を踏襲し、複数のクラブ合同で行い、クラブ間の情報共有化を図ります。

公式訪問に先立ち、合同するクラブ間の調整をお願いするとともに、各クラブの情報についてお知らせ下さい。

IMと情報研究会

分区分毎に、IMと情報研究会を一回ずつ、開催して下さい。

それぞれのテーマは、ガバナー補佐と分区分内の各クラブで協議の上、ガバナー補佐の意思に基づいて決定し、招集・実施して下さい。

IM・情報研究会においては、研究・研修統括委員会と連携し、プログラムの立案・基調講演・テーブルディスカッション方式を導入した啓発等を実施する事を強く推奨いたします。

また、地区奉仕プロジェクト統括委員会によるPR、および、ロータリー財団統括委員会・米山記念奨学委員会によるPR時間を設けることを推奨致します。

マイロータリーとロータリークラブセントラル

各クラブの会長幹事に、クラブとしてロータリークラブセントラルを利用する旨、推奨をお願い致します。

既に活用しているクラブに対しては、戦略計画の立案に向けた委員会の設立を推奨下さい。

また、会長幹事を通じ、それぞれのクラブの会員に対し、マイロータリーに登録する旨、推奨をお願い致します。

広報・公共イメージの向上

それぞれのクラブが、独自のホームページを開設し、定期的に更新される状況となる事を推奨致します。

既に開設しているクラブに対しては、将来的な地区の戦略計画の立案の一助となるべく、奉仕プロジェクトの広報や公共イメージの向上に繋がる方法についての考察と実行を推奨して下さい。

会員増強

各クラブに対し、年度を通じての会員数の純増を推奨下さい。

数値目標として、1人あるいは10%純増のいずれか多い方を目標とすることを推奨します。

伝統的な慣習を固持するクラブを除き、女性会員の増強を推奨下さい。
全会員数に対する女性会員の割合を、5%引き上げることを推奨致します。

財団補助金を活用した奉仕プロジェクト

各クラブが、ロータリー財団が支出する地区補助金を活用した奉仕プロジェクトの申請と実施を推奨します。

また、グローバル補助金を活用する奉仕プロジェクトの立案を期待します。

ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付

財団の地区補助金の原資となる年次寄付については、寄付ゼロクラブを無くし、会員一人当たり150ドルを目標とし、合わせて、ポリオプラスの寄付目標額を会員一人当たり30ドルと致します。

また、分区から一人、ポールハリスソサエティを輩出する事を期待します。
米山奨学会に対する寄付は、会員一人当たり15,000円を目標とし、推奨下さい。

H 会長の皆様へ

RIの定める地区は、各クラブの成功を後押しし、各クラブの活性化を支援する事を目的としております。

つまり、ガバナーやガバナー補佐、地区委員会は、全てクラブ会長のリーダーシップを支援する為に存在するものとご理解ください。

2016-17年度に行われた規定審議会の改変は、会員の資格要件や例会の運営方法において、クラブ単位の大きな裁量権を認める結果となりました。

各クラブは、独自に戦略計画を立案し、魅力あるクラブとなる事が望まれております。

これから会長年度を迎える皆様には、折角の機会を無にすることなく、充実したクラブ運営を図って頂きたい、強くご期待申し上げます。

推奨事項

前項・ガバナー補佐の皆様へ、および、前々項・地区組織に記載した通り、各クラブには以下の事項について推奨いたします。

各クラブの活動のバロメーターとして、ご配慮をお願い申し上げます。

- ① 会員増強、取り分け女性会員の増強
- ② ホームページの開設と更新
- ③ マイロータリー、ロータリークラブセントラルの活用
- ④ RLIへの参加

- ⑤ 財団補助金を活用した奉仕プロジェクトの立案と実施
- ⑥ 財団年次寄付の寄付ゼロクラブの解消と、会員一人当たり150ドルの寄付
- ⑦ ポリオプラスに対し、会員一人当たり30ドルの寄付
- ⑧ 米山寄付ゼロクラブの解消と、会員一人当たり15,000円の寄付

RI会長の推奨事項

前項に加え、RI会長が提示する会長賞へのチャレンジを推奨します。

RI会長の定める「クラブのサポートと強化」に関する8項目、「人道的奉仕の重点化と増加」に関する9項目、「公共イメージと認知度の向上」8項目、それぞれの中から各4項目を達成し、RI会長賞の受賞を得べくチャレンジする事を強く推奨いたします。

また、2018年4月までに、会員一人につき一本の植樹を行うことを推奨いたします。

国際ロータリー第2790地区 地区研修・協議会受賞者一覧

(敬称略)

クラブ奉仕活動優秀クラブ

《クラブ会報優秀クラブ》

千葉若潮ロータリークラブ

ホームページ掲載を前提として週報が作成されているが、このまま印刷しても十分読むことが出来るレイアウト、内容になっている。更新も早く、見せたい写真は拡大、卓話の詳細はPDFといった配慮がなされ、担当者の努力は大変なものだと推察できる。

市原ロータリークラブ

表紙や本文は文字数が多いが、レイアウトをスッキリとさせることで、読み難さを軽減している。ホームページ(HP)掲載では動画などのリンクを行い、紙以上の情報を与える努力がされており、HP掲載を前提とした週報作成の新たな試みとして非常に評価できる。

成田空港南ロータリークラブ

表紙に写真を多く入れると共に、プログラムを入れることで、非常に読みやすい構成となっている。内容も毎号丁寧にまとめられており、担当者の努力がうかがえる。ホームページにも週報を掲載しており、週報ページを開くと各号の表紙が見える工夫がされているので、パソコンでも非常に読みやすい。

《管理運営活動優秀クラブ》

君津ロータリークラブ

会員の4割が数年単位で交代する進出企業代表者であるにも拘わらず、全会員が一体となってロータリー活動に真摯に取り組む、例会出席率95%を記録すると共に、進出企業の専門技能を生かした職業奉仕活動、また、全員参加による地域社会に密着した社会奉仕活動等に積極的に取り組み、活発な活動を通じて地域社会の発展、及びロータリーの知名度向上に貢献している。

《職業奉仕活動優秀クラブ》

茂原ロータリークラブ

地区内で最初に出前教室を行ったクラブで、今年度も11月16日に市内富士見中学校にて8講座を行う等、毎年継続、実施している。

《社会奉仕活動優秀クラブ》

千葉ロータリークラブ

地区補助金活用事業「千葉市少年少女ミニバスケットチームとプロバスケットチームとのふれあい教室」を実施。

新たに誕生したプロバスケットチームのニーズを生かし、参加した青少年がプロ選手に直接指導してもらえる貴重な経験を通してスポーツへの意識向上、及び新たなプロスポーツへの大きな夢を与えた。更に、地元プロバスケットチームと言う事もあり、地域への愛着意識向上にも大きく貢献した。

富津中央ロータリークラブ

「小中学校花いっぱい運動」として2016年4月から5月にクラブが所在する地域の小・中学校にペチュニアの花苗500株を寄贈した。その折、生徒・教職員とRC会員による合同定植作業を行った。子供たちが花を育てる事でやさしさ・慈しみの心を育み、地域の美化と親交に貢献した。

茂原ロータリークラブ

災害時の避難場所でもある茂原市内の全ての小中学校(18校)の体育館に大型扇風機82台(130万円相当)を寄贈したが、受付と配布もクラブメンバーが行った。

柏南ロータリークラブ

継続事業ではあるが、独居老人に鉢花を5年間届け続けている。

《国際奉仕活動優秀クラブ》

千葉港ロータリークラブ

『ラオスへの支援活動』として、本年度、ラオスの小学校の空き教室を改装して図書室を作り、日本の絵本200冊を寄贈した。その絵本にラオス語翻訳文シールを張る作業を会員、およびその家族が協力して行っている。ラオスへの支援は今回で3年目となる。1年目は机と椅子400人分寄贈。2年目は黒板120枚を寄贈。これらの製作は現地の工場に依頼した。これは子供たちの識字率向上、教育の場提供に繋がるプロジェクトで、地区補助金の有効活用に繋がる意義ある活動。

松戸西ロータリークラブ

このプロジェクトは、モンゴル国ウランバートルのゲル地区の子供達の労働軽減(井戸水の運搬からの解放される精神的支援)すると共に、飲料水、及び生産用の水確保等、多方面で地域に貢献。同時に行った、日本で使われなくなった古着、玩具(会員家族・知人より集め、洗濯・洗浄・補強)等の寄贈(物理的支援)は、モンゴル国と日本との将来の関係強化に繋がる。

《青少年奉仕活動優秀クラブ》

木更津東ロータリークラブ

木更津総合高等学校インターアクト提唱ロータリークラブとして、2016年8月3日開催「第50回インターアクト年次大会」において、千葉県高等学校文化連盟インターアクト専門部会および木更津総合高等学校に献身的な支援、適切な助言を行い、本大会を成功に導いた。

大原ロータリークラブ

大原高等学校インターアクト提唱ロータリークラブとして、2016年5月6日開催「第49回インターアクト指導者講習会」において、千葉県高等学校文化連盟インターアクト専門部会および大原高等学校に献身的な支援、適切な助言を行い、本大会を成功に導いた。

奉仕活動優秀ロータリアン

深作 勇(浦安RC)

クラブ会員増強委員長として推薦対象年度に11人の会員増強を実現したが、内7名の推薦・入会に直接貢献した。

寄主 俊雄(千葉北RC)

2015～16年度会員増強委員長として年間7名の会員の入会に尽力。数は力であるということを皆に示し、クラブの活性化に大いに貢献した。

豊田 文智(木更津東RC)

会員増強・研修委員長として全員参加型の会員増強特別チームを7チームづくり、会員増強に尽力した結果、6名の新会員が加入。

高橋 晋(成田RC)

前期12名純増。その後も会員増強に努め、2月3日現在純増14名。

大野 眞里(八街RC)

5名の会員増強に貢献した。

寺嶋 哲生(柏RC)

会員増強に尽力し、多大の功績を残した。

小池 喜之(我孫子RC)

今年度会員増強にあたり、新しい形の情報を会員に提供すると共に、情報を会員全員で共有、検討した結果、今年度すでに目標を超える5名の会員

増強を実現。

藤原 泰治(柏東RC)

入会以来、会員増強に取り組み、最近4年間に5名の新入会員の推薦者となると共に、更に他の5名を入会させる等、合計10名の入会を実現した。

林 善次(佐倉RC)

「先ず会員増強！」と唱え、分区最少会員数で活動が低迷していた佐倉RCの「潮目」を見事に変えたロータリアン。二桁に近い会員増強を実現した魅力的活動、行事アイデアは敬服に値する。

池田 博(習志野中央RC)

年度当初より会員増強5名を達成した。

海寶 勘一(千葉西RC)

2016年10月から12月の間に開催されたガバナー補佐主催の地区ロータリー情報研修会(分區別ロータリー情報研修会)の運営に中心的役割を果たし、研修の実を挙げると共に、参加者から高い評価を得た。

石井 七郎(千葉北RC)

クラブ研修リーダーとして、パスト会長を講師とする新入会員対象ロータリー研修会を企画し、毎月1回開催。新会員のみならずクラブ全会員がロータリー知識を共有すると共に、会員間の結束強化に貢献。

《社会奉仕活動》

日野 久美子(船橋みなとRC)

新世代を担う人材育成、及び生きる力を育むことを目的とした地区補助金活用事業として、船橋市内の中学校で、これまでに16回開催した「愛のコンサート」推進に尽力。また、小学生対象の「お作法教室」にも積極的に取り組んでいる。

服部 広司(我孫子RC)

我孫子市との共同プロジェクトとして、①手賀沼公園周辺の清掃活動、②我孫子市の桜プロジェクトへの参加協力(クラブ単独奉仕活動として)、③今春予定の石巻市旧大川小学校への2度目の訪問など、複数の活動を積極的に企画実行。

小宮山 四郎(成田RC)

大成会かしの木園への電化製品寄贈、第10回成田ロータリークラブ杯中学校剣道大会主催、成田環境ネットワークへの継続的参加、ボーイスカウトとの交流・支援活動等を行った。

《国際奉仕活動》

石毛 充(銚子RC)

「フィリピン・ダバオ盲学校支援プロジェクト-未来の夢計画-」を通してサウスダバオRCと友好クラブ締結書を取り交わすまでとなり、盲学校の子供たちの輝かしい未来と、友好クラブの発展に貢献。

中村 俊人(柏東RC)

会長年度に米山奨学生を通じてスリランカに柏東ロータリー文庫を開設し、5年間増冊を継続中。その流れの中で、他団体の里親制度に参加し、家族ぐるみで現在10名の里親となり、現地の貧しい家庭の子供たちの学業支援を行っている。また、最近4年間は毎年家族でスリランカの里子の家庭を訪問し、支援を行っている。

浅野 実(松戸西RC)

モンゴルのバヤンズレブ6地区にある保育所に井戸を寄贈するにあたり、3回現地を訪れて現地の状況を会員に説明すると共に、現地官庁、施工会社、国営放送等と交渉して本プロジェクトを成功させた。また、プロジェクト終了後も引き続き、モンゴルの子どもたちに対する支援に尽力している。

《青少年奉仕活動》

大川 吉美(松戸RC)

自社主催によるジュニアゴルフ大会を開催し、青少年に夢を与える奉仕事業を個人レベルで行っている。

感謝状 ークラブー

松戸北ロータリークラブ

2016年地区研修・協議会ホストクラブ

台北天和扶輪社RID3520(台湾 台北市)

台湾台北市で開催した「第29回インターアクト国外研修」において、当地区より参加したインターアクターならびにロータリアンに対し、事前準備から当日の運営までクラブの総力をあげて献身的支援をしてくれた。その結果、事故もなく本事業を成功に導くことができ、参加した未来を担う青少年の一生の思い出となると共に、青少年育成に貢献した。

感謝状 一会員以外一

木更津総合高等学校

校長 真板竜太郎、教師 濱中 南

千葉県高等学校文化連盟・国際ロータリー第2790地区の共催による「第50回インターアクト年次大会」ならびに「第29回インターアクト国外研修(台湾)」を、事前準備も含め、学校一丸となった精力的な活動により成功に導いた。このことは、参加した未来を担う青少年の育成に貢献した。

千葉県立 大原高等学校

校長 浅野 照久、教師 鈴木 均

千葉県高等学校文化連盟・国際ロータリー第2790地区の共催による「第49回インターアクト指導者講習会」を、事前準備も含め、学校一丸となった精

力的な活動により成功に導いた。このことは、参加した未来を担う青少年の育成に貢献した。

R I 表彰

《認証バナー》

【100%ロータリー財団寄付クラブ】

2016年6月30日現在(粘土途中の人・退会者は除く)の正会員全員が、寄付分類に関わらずロータリー財団へ寄付をし、一人当たりの平均寄付額が少なくとも100ドルに達しているクラブ

市川シビックロータリークラブ

浦安ベイロータリークラブ

船橋ロータリークラブ

鎌ヶ谷ロータリークラブ

千葉西ロータリークラブ

市原ロータリークラブ

君津ロータリークラブ

鴨川ロータリークラブ

勝浦ロータリークラブ

茂原中央ロータリークラブ

銚子ロータリークラブ

印西ロータリークラブ

四街道ロータリークラブ

習志野中央ロータリークラブ

野田ロータリークラブ

《感謝状》

【End Polio Now:「歴史に1ページを刻もう」キャンペーン】

2015-16年度ポリオプラス基金に1,500ドル以上寄付を行ったクラブ

船橋南ロータリークラブ

市原ロータリークラブ

大網ロータリークラブ

我孫子ロータリークラブ

柏西ロータリークラブ

会 長 部 会



◆会長部会

リーダー	ガバナーエレクト	寺嶋 哲生
サブリーダー	ガバナー	青木 貞雄
サブリーダー（司会）	ガバナーノミニー	橋岡久太郎
サブリーダー	ガバナーノミニーデジグネイト	諸岡 靖彦
アドバイザー	次期・地区研修リーダー	パストガバナー 関口 徳雄
アドバイザー	次期・地区監査（委）兼R財団資金監査委員会 委員長	花嶋 実

橋岡久太郎ガバナーノミニー

皆様、改めましてこんにちは。これから地区研修協議会の会長部会を始めさせて戴きたいと思えます。私は司会進行を務めさせて戴きます、ガバナーノミニーの橋岡久太郎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。これから着座にて進めさせて戴きたいと思えますので、どうかご了承下さいませ。

まず、プログラムの2番、地区予算につきまして寺嶋ガバナーエレクトよりご報告お願い致します。

寺嶋哲生ガバナーエレクト

私も着座にて進めさせて戴きます。お許し戴きたいと思えます。

本研修協議会の会長部会にあたりまして、初めて2017－18年度の地区予算についてのご承認を戴きたく、採決を取らせて戴きたいと思えます。地区予算は本日お配り致しました冊子の21頁から23頁に記載されております。その内容は先の3月26日に行われました会長エレクト研修セミナーにてご説明をした通りでございます。この件につきましてご意見ご質問等ございましょうか。よろしくございましょうか。（異議なし）

異議なしという声を戴きました。それではご承認戴ける方は拍手をお願い致します。（拍手）

ありがとうございます。予算につきましてはご承認を戴けたものと致します。この予算の成立を早速幹事部会の方へご報告させて戴きます。よろしくお願い申し上げます。

橋岡久太郎ガバナーノミニー

それでは続きまして、プログラムの3番、ガバナーのご挨拶でございますが、後ほど改めてご挨拶を頂戴したいと思います。4番のほうに参りたいと思えます。諸岡ガバナーノミニーデジグネイト、ご挨拶を頂戴できますでしょうか。よろしくお願い致します。

諸岡靖彦ガバナーノミニーデジグネイト

ご指名を戴きました、ガバナーノミニーデジグネイトの諸岡でございます。

先程も全体会議の方で問題がございました通り、地区はクラブ会長がリーダーシップを発揮するための支援、つまりお手伝いをする役割がございませう。ガバナーをはじめとする地区委員会そしてガバナー補佐の方々、そして全体を統制する形で地区が運営されますけれども、地区は国際ロータリー

とクラブの皆様方が繋がっているその中間にありまして、国際ロータリーの立場で地区を統制していく、或いは指導していくという立場でございますけれども、地区の全体の流れの中におきましては、クラブの個々の会長様のリーダーシップというのが全ての役割の中心でございます。そういう意味でクラブがしっかりと地区に根を生やして、地区に対して色々な意味で奉仕のプロジェクトを実現して行きながら、尚且つ地域の中において存在感を発揮して、ロータリーというものの存在価値を地域の方に理解をして戴くという所が重要なところであろうと思います。

従いまして、クラブが元気になるという事のために地区は全てご支援をさせて戴くという立場でございます。クラブが元気になるという事は、会員の方々の一致協力したクラブとしてのまとまり、そして地域に対しての色々な意味での働きかけをしていく、地域においてロータリーが信頼のおける団体であるという認知を戴く事が、全てに渡ってクラブが元気になるという事でございますし、そのためのリーダーシップを発揮して戴くのが会長様方の立場であるという事でございます。

地区におきましてはクラブと分区が、そしてまたガバナーとガバナー補佐が一体となって地区のロータリー活動を構成しているという事でございます。従いまして、地区リーダーはガバナーを中心と致しまして、単年度のロータリーにありましても継続的な活動が、クラブにおいてまた地域に対してなされますように計画を練ります。それが地区戦略計画でございます。単年度の長所を取り上げつつも継続して地区がクラブが元気に活動していくという事のために、会長の皆様方の存在があるという事であります。そんな事を頭に置いて戴きまして会長部会にご参加戴きたいと思ひます。ありがとうございました。

橋岡久太郎 2018 - 19 年度ガバナーノミニ

続きまして、プログラムの5番でございます。研修リーダーの関口パストガバナーよりご講話頂戴したいと思います。よろしくお願い致します。

関口徳雄地区研修リーダー パストガバナー

研修リーダーの関口です。まず予算が通りまして誠にありがとうございます。

さて先輩のガバナーと致しましても、皆さん戴いた資料を十分検討されているでしょう。特に初めて会長になる方を中心に、私が日頃考えている事を会長心得として少しお話しさせて戴きます。

まず、ロータリー章典の10,030に10項目くらい載っています。例えば最初は、クラブの諸会合の議長を務めるなど。言われてみれば、い

つも聞いている事をただ文書化しているだけです。会長になる学習をされたという前提ですが、今度新しく会長になる方は、やはり白鳥パストガバナーが言われた通り、ロータリーというのは会長になったって普通の会員と横一列で平等だという事をよく言われます。ましては一業種一会員ではないけれども、家に帰れば会社の社長だ所長だと言われる人が多いわけですから。その人が今度は同じような立場である経営者を相手に管理監督指導していくという事になりますので、ご自分の会社で給料を渡している従業員に物を言うのとは訳が違います。そういう時こそリーダーシップが発揮されるのではないのでしょうか。大変でしょうけどまさに実践でそれができるという事だと思います。まず初めて会長になる経験をされる方は、当分はこういう事を含めて緊張するでしょう。

次に、クラブの運営につきまして、クラブの活性化に繋げるにはどうしたら良いのかを是非考えて工夫して戴きたい。去年もやったからそのまま何も考えずにやるのは大変楽ですけども、それはマンネリ化＝衰退に繋がるでしょう。例えば、献血をやるにしても、毎回同じ駅前でするのではなくて、たまには商工会議所やホテルなど違う場所でやるなど。場所を変更するという冒険は必要でしょうし、或いは献血をやるメンバーを集めるために、何か一工夫が必要なんじゃないでしょうか。ティッシュペーパーを配るだけじゃなくてね。それは地域性を生かして何か一工夫をして欲しいと思ひます。また、そうする事によってロータリーの認知度向上や宣伝に繋げるにはどうしたら良いかという工夫もして戴きたい。

私が2013-14のガバナー公式訪問の時に気がついたのですけれども、経験の浅い若いメンバーが意見を言えないようなクラブがありました。まさに松尾芭蕉の俳句にあります通り『物言えは唇寒し秋の風』でしょうか。余計な事を言うともた文句を言われそうだから止めておこうと、そんな雰囲気を感じられるクラブがありました。古い方が無意識のうちにクラブを支配していて、古い人の意見が誰の批判もなく通ってしまい、改革的な新しい意見を阻止してしまう傾向、自由に物が言えないクラブがありました。そういうクラブは無難な前例踏襲に走ってしまい、マンネリ化、つまり活性化とは反対の方向に向かう傾向があります。会長になられる皆さんにお願いですが、思い切って自由に意見が表明できる開かれたクラブにして戴きたいと思ひます。

次に、規定審議会で約束事がだいぶ変わりました。会長は幹事と一緒にあって、細則に目を通して戴きたいと思ひます。進歩的な意味で変えるべき物があつたらどんどんと変えて戴きたい。もち

ろん、国際ロータリーの定款細則、標準ロータリークラブ定款、いわゆる三則と言われているものに反する事はできませんけれども、違反しない範囲で自由に出来るわけです。幹事と相談して細則を検討して下さい。定款細則の中で「～とす」「～できない」「～ねばならない」と日本語で書いてあるものは義務であり、一方任意の場合は「～できる」と書いてある。中でも難しいのが「～すべきである」と書いてある部分がある。英語の原文で「shall」「are」「is」は義務、「may」「should」は任意です。なるだけして欲しいという場合には、「すべきである」としてあります。一番良い例は、DLP（地区リーダーシップ・プラン）、あれは義務ですから。整合性を考えると、CLP（クラブリーダーシップ・プラン）もできればして欲しい。だが「should」なので義務ではない。そこで苦しい言い方で、CLPに基づく委員会構成は5つの委員会を有すべきであるという言い方なのですね。要するに国際ロータリーからすれば、義務じゃないのだけど殆ど義務に近い任意だよという言い方になりますので、その辺を踏まえて検討して下さい。

次に、決まった委員会だけではなくて、変わった委員会を作っても良いのではないのでしょうか。例えば浦安の話なのですが、スポーツ委員会とか、お医者さんが集まって健康管理委員会とか作って、健康管理に関する啓発を行って戴いています。インフルエンザが流行る頃に講義してくれたり。クラブの活性化に繋がるのであれば、新しい委員会を作るのも手かなと思います。

次に、会長挨拶は新聞やテレビ、政治経済の話よりもロータリーの話をするべきだと言います。これはロータリー成功手法にも書いてありますし、パストガバナーの中にも協力に主張される方がいます。それは全く正しく反論のしようもないのですが、楽しい例会にするのが会長幹事の務めでもありますし、活性化につながりますので、ロータリーの話に限らず、笑いの起こるような楽しい例会をして欲しいと私は思います。楽しくかつ緊張感がある例会が良い。それが私の考えであり、取り組み方です。

皆様もベテラン会員であり、これ以上はまさに「釈迦に説法」でしょうからこれで終わりますが、最後に会長になる皆様には、RI会長エレクト方針、ガバナーエレクトの地区の運営方針を尊重して、クラブ運営をして戴きたいという風に思います。ご静聴ありがとうございました。

橋岡久太郎ガバナーノミニ一

関口パストガバナーありがとうございました。それでは、寺嶋ガバナーエレクトより講話を頂戴したいと思います。よろしくお願い致します。

寺嶋哲生ガバナーエレクト

皆様、改めましてこんにちは。よろしくお願い申し上げます。

① 会長年度

会員数の多いクラブでは、会長を務めることは一度きりであると思います。

会員数の少ないクラブでは、二回・三回と務めることもあろうかと思っています。

いずれにせよ、自ら率先してリードしようとする会長の意志がなければ、クラブの向上はあり得ないように思います。

会長エレクトの皆様には、折角に与えられたチャンスを無にすることなく、自らのクラブの活性化のためご尽力を賜りたく、お願い申し上げます。

②人口減少時代

かつての高度成長時代には、然したる努力をせずとも、ロータリーの会員数は年々増加し、クラブ数は増えていきました。

しかし、バブル経済の崩壊後は、多くのクラブで会員数が急減し、新たなクラブが誕生する事は途絶え、逆に解散するクラブも見られるようになりました。

今後の人口減少・高齢化社会では、この傾向は更に進み、不作為は衰退を意味する事になろうかと思っています。

クラブの向上の為には何をなすべきか、一層真剣に考える必要があると思います。

③戦略計画

永年、単年度主義を旨としてきたロータリーですが、RIは戦略計画の策定を推奨しております。

人口減少時代を迎えた日本では、確かな方向性を見定めた計画の必要性は、一層高まっていると思います。

将来的な戦略計画の立案に先立ち、まずはクラブの長所と短所を見定め、短所を克服して長所を伸ばす方法を考える。

有効な戦略計画の立案に向けた第一歩を踏み出していただきたいと思います。

④地区組織

RIの定める地区は、各クラブの成功を後押しし、各クラブの活性化を支援する事を目的としています。

つまり、ガバナーやガバナー補佐、地区委員会は、全てがクラブ会長のリーダーシップを支援する為に存在するものとご理解ください。

地区委員会の持つ機能や人材を、クラブの活動に是非取り入れて頂きたく、お願い申し上げます。

例えば、研究研修統括委員会・奉仕プロジェクト統括委員会・ロータリー財団統括委員会などに外部卓話を依頼する。

そんな事業を積極的に取り入れてみてください。

⑤柔軟性

2016年の規定審議会による規約改正は、会員の資格要件や例会の運営方法において、クラブ単位の大きな裁量権を認める結果となりました。

これを称して「柔軟性」と表現され、各クラブが個性を発揮し、独自性の高い魅力あるクラブとなる事が望まれております。

自らのクラブがどうあるべきか、戦略計画に続くクラブの姿をイメージし、クラブ内でのコンセンサスを作り始めてください。

⑥ガバナーとしての推奨事項

2017-18年度ガバナーとして、次の項目について推奨致します。

各クラブの活動のバロメーターとして、ご配慮をお願い致します

- ・会員増強、取り分け女性会員の増強
- ・ホームページの開設と更新
- ・マイロータリー、ロータリークラブセントラルの活用
- ・RLIへの参加
- ・財団補助金を活用した奉仕プロジェクトの立案と実施
- ・財団年次寄付の寄付ゼロクラブの解消と、会員一人当たり150ドルの寄付
- ・ポリオプラスに対し、会員一人当たり30ドルの寄付
- ・米山寄付ゼロクラブの解消と、会員一人当たり15000円の寄付

以上の内、取り分け、財団年次寄付と米山奨学会に対する寄付については、寄付ゼロクラブを無くしたいと考えております。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

⑦RI会長賞へのチャレンジ

RI会長の定める「クラブのサポートと強化」に関する8項目、「人道的奉仕の重点化と増加」に関する9項目、「公共イメージと認知度の向上」に関する8項目、夫々の中から各4項目を達成し、RI会長賞を受賞すべく、チャレンジする事を推奨します。

2017-18年度の会長賞は、決して低いハードルではありませんが、多くのクラブが受賞される事をご期待申し上げます。

⑧ガバナー公式訪問

お手元の配布資料（冊子）18ページに記載された内容で、ガバナー公式訪問を行います。

日程については、19ページをご参照ください。

例会終了後のクラブ協議会については、本年6月3日に開催されるガバナー補佐・地区委員長会議において、詳細をご説明申し上げます。

現在の予定としては、クラブ会長・親睦活動担当者・研修担当者・会員増強担当者・奉仕プロジェクト担当者・ロータリー財団担当者・米山奨学会担当者から、2017-18年度の活動方針を発表頂く事を考えております。

また、直前会長、あるいはそれに準ずる方から、クラブの抱える課題と、その課題に対する対応策などをお伺いしたいと考えております。

合わせて、クラブからのご質問にお答えする時間も設けたいと考えております。

いずれにせよ、年度当初までには、皆様にお伝えする予定です。

⑨情報研究（研修）会とIM

ガバナー補佐の皆様には、分区毎に、情報研究（研修）会とIMとを夫々一度ずつ開催して頂きたい、お伝えしてあります。

内容は、ガバナー補佐の判断に一任致します。

また、地区の研究・研修統括委員会による助言・助力を推奨しております。

各クラブのご協力をお願い申し上げます。

⑩クラブ定款と細則について

2016年に行われました規定審議会による規約改正に従い、定款と細則を改正する必要があります。

既に、多くのクラブでは対応済と思われますが、まだ採択していないクラブがありましたら、速やかなご対応をお願い申し上げます。

既に、2016年手続要覧が届いているかと思いますので、ご参照ください。

⑪2017年12月に向けた制定案の提案について

2019年に開催される規定審議会に向け、本年12月末日までに、制定案を提案する必要があります。

提案までには、地区立法案検討委員会による審議と、その審議結果に対する各クラブの承認が必要となります。

各クラブの承認を12月初旬に行うとすれば、立法案検討委員会に対する諮問は10月初旬に行われるべきものと考えます。

故に、各クラブに於かれましては、本年9月末日までに、制定案のご提案をお願い申し上げます。

⑫2018年6月に向けた決議案の提案について

2018年に行われる決議案の採択に向け、2018年6月末日までに、決議案を提案する必要があります。

その為に、2018年2月25日、地区大会において立法検討委員会からの提案を採択する必要があります。

故に、2017年11月末日までに、地区立法検討委員会まで、各クラブからの決議案のご提案をお願い申し上げます。

先の制定案・決議案ともに、本年7月中旬に、クラブオールにてご連絡を致しますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

⑬希望の風推進委員会

ロータリー希望の風奨学金は、ロータリーの有志が協力して行っておる事業です。

東日本大震災により保護者を失った被災遺児に対し、高等学校卒業後、短期大学を含む大学、ならびに、専門学校への就学希望者に対し奨学金を支給する事を目的としております。

奨学金は月額50,000円で、返済をもとめるものではありません。

現在、各被災県の教育委員会より高等学校に通知され、学校長より推薦された高校生の内、大学あるいは専門学校に入学したことが確認された段階で支給を開始しております。

2016年4月～2017年3月には、132名の奨学生に支給しましたが、プログラム開始以来、卒業生などを含め、延べ数では273名となっております。

さらに、2017年4月1日現在、新規に56名の支給開始が予定されております。

現時点では資金的に賄えてはおるものの、今後必要な奨学金額を試算すると、約3億円の不足が生じる事態が予測されます。

ロータリー会員有志が、善意に基づいて始めた事業故、資金不足を理由に頓挫する事は、社会的責任の観点からみても好ましくありません。

希望の風事業については、青木年度においては社会奉仕委員会が担当する旨、組織図上に位置付けられております。

私の年度においては、ロータリー財団統括委員会内に「希望の風推進委員会」を新設し、地区内会員に対し、広報活動を中心とした取り組みをお願いしたいと考えております。

地区HP上で逐一活動内容、寄付状況などお知らせする予定です。

ただロータリー財団や米山記念奨学会とは異なり、「ロータリー希望の風奨学金」を運営する「ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会」は、善意に基づくロータリアンによる団体であり、法人格を持たない任意団体です。

地区として、希望の風事業を推進するのであれば、地区内クラブの合意を確認する必要があるとの見解が、2017-18年度ガバナー補佐・委員長会議にて提案されました。

よって、2017-18年度の開始早々に、各クラブ宛に、希望の風事業に地区として関与すべきか否かのお問い合わせを致します。

その際には、クラブ理事会でご検討の上、賛否を表明頂きたいようお願い申し上げます。

以上、私が説明申し上げたい事は申し上げました。ここで、説明させて戴いた事やその他の事について質疑をお受け致しますが、只今、青木ガバナーがお戻りになられましたので、ご挨拶を頂戴したいと思います。

青木貞雄ガバナー

私は皆様が会長に就任される頃には賞味期限切れですので、あまり申し上げる事はないのですけども2点だけ。

まず、クラブと地区の関係ですが、皆様方のクラブはR Iの直轄でございます。地区の管理下にはございません。地区は同時にR Iから地区内のクラブの管理を任されておりまして、国際ロータリーの方針に基づいて指導する、いろいろな事をお手伝いするというのが役目でございます。従いまして、何でもかんでも地区でやってくれという事にはなりませんという事をご留意戴きたいと思っております。その中で地区と共同して活発な活動をして戴くという事が大事だと思っております。

それから、クラブ運営に関しては、単年度主義という事があるのですけども、会長の皆様のリーダーシップというのが非常に大事でございます。昨年ガバナー公式訪問で83クラブを廻らせて戴きましたが、クラブによってタイプが違います。その中で、非常に歴史があって素晴らしいクラブであっても、活動があまり活性化されてないクラブ、いわゆる旧来の形で例会を行っているようなクラブがあります。逆に会員数が20数名しか居なくても、非常に活発な奉仕活動をやっておられるクラブもございます。従って数は多い方が良いんですけども、クラブの会長さんのリーダーシップによって活性化させて戴きたい。会員の皆さんがクラブの活動が面白くなければ何も生まれないと思っておりますので、是非クラブの活性化のためにリーダーシップを発揮して戴きたい。

それから、会員増強ですが、会長が会員増強に努めないとなかなかうまく行かないという事がありますので、会員増強にもリーダーシップを発揮して戴きたい。

ちなみに、日本全体で人口当たりのロータリア

ンの会員数ですが平均7.07%という事だそうです。最近伸びている国、隣の韓国などは7.7%だそうなのですが、日本で7.7%を達成できれば10万人以上のロータリアンが居てですね、ゾーンが1.5から2ゾーンになるというお話がありました。そんな中残念ながら千葉は4.05%という比率的に非常に会員数が少ないと言われておりますので、是非会員増強にご尽力戴きたいと思っております。最近では、活発な活動ができるかできないかの1つの分かれ目となる会員数30名を割っているクラブが増えています。過疎部だけでなく都心部でも会員数30名を割っているクラブが増えているという事です。ロータリーとしても非常に危機感を感じているわけでございます。

活力と知名度を上げるためには、会員が多いという事は非常に大事な事だと思っておりますので、クラブの会員増強にご努力戴きたいと思っております。

橋岡久太郎ガバナーノミニ一

どうもありがとうございました。それでは、質疑応答に移りたいと思っております。ご質問のある方は挙手をお願いしたいのですが、その際に変な恐縮でございますが、所属クラブ名とお名前を戴きたいと思っております。

君津RC 隈元雅博会長エレクト

質問ではなくて、予算の誤植があつてので訂正して戴きたいと思っております。23頁の青木ガバナーの年度が2017-18となっておりますので、そこを2016-17と訂正して下さい。

千葉緑RC 秋葉健夫会長エレクト

予算が承認されましたが、繰越金が多すぎます。何故これほど繰越金が多いのか明確に答えて戴きたい。もし必要なければ、次年度の寄付金などに回して戴きたいと思っております。今年はこれで結構ですが、来年度以降は変更して戴ければと思います。

寺嶋哲生ガバナーエレクト

ありがとうございます。大変素晴らしいご指摘だと思っております。繰越金の額の多さについては、実は諮問委員会でも問題になってございます。ただどうしても、単年度毎ガバナーを引き受けると、自分の年度は赤字にしたいという事の繰り返しがこのような結果になっていると思っております。

一つは、このせつかく貯まった累積の剰余金があるわけでございますので、より有効な手立てに遣うに超した事はないと思っております。大変ありがたいお言葉を戴いたという風に思っております。では、それをどう遣ったら良いのかというその意思決定の方法ですね、これが単年度主義を旨として

くる事業計画では非常にやりづらい所が実はあります。ですから私も先程の活動方針の所で申し上げました通り、戦略計画委員会というものをきちんと機能させてですね、この剰余金等も一体いかに遣えば皆さんの当財を適切に遣う事ができるんだろうかという検討の場になるという風に思っております。ご指摘の点、肝に銘じて善処して参りたいと思っております。ありがとうございます。

青木貞雄ガバナー

例えばですね、これは皆さんにご案内が行っていないと思っておりますけれども、2020年に東京ロータリークラブが創設されて100周年という事で、日本のロータリーが100周年を祝おうという組織が出来ております。その負担金が200円というのがガバナー会の方で決まったのですが、これからにつきましては地区の予算の中で処理させて戴きたくて、地区によっては会員の皆さんにその負担をお願いしている地区もあるようですが、私共では地区の予算の中で処理したいという事をご報告させて戴きます。

浦安ベイRC 篠澤正会長エレクト

希望の風奨学金についてお尋ねします。これは税法上、寄付金控除の対象になるのでしょうか。

寺嶋哲生ガバナーエレクト

結論から申し上げますと、希望の風奨学金は寄付金控除の対象にはなりません。そこが問題であるかも知れません。というのは、ロータリー財団とか米山はですね、特定公益増進法人として財務省からの許可を戴いております。ただ希望の風についてはあくまでも任意団体がそれを運営してございますので、任意団体に対する寄付となりますと税法上の特典は受けられないと言う事になります。そういう関係もございまして、念のため皆さんのご意向を一度確認させて戴きたいという事もございます。

浦安ベイRC 篠澤正会長エレクト

将来的には法人にされると考えてよろしいのですか。

寺嶋哲生ガバナーエレクト

これを法人化するのは、勝手な想像でございますが、これは被災された当時、親を亡くされたお子さんが成人するまで支援するという事ですから、あと十数年という残存期間になりますので、その残存期間を考えますとあえて法人化をするような意向にはならないのではないかという風に私は推察をしております。ただ私はその団体の役員で

はございませんので、その意向までは把握しておりません。

市原RC 山本順也会長エレクト

DLPについてのガバナーの考えを教えてください。というのは、地区のロータリアンが減っている中で、予算を見ると金額的にはむしろ増えている。地区の委員も増えている。クラブがCLPで組織を簡素化するという方向を考えてやっているのですが、その点も教えて戴きたいのですが。地区ではどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

寺嶋哲生ガバナーエレクト

基本的に、例えば奉仕プロジェクトを一つ、奉仕プロジェクトとして中の細分化をやめるというような事が可能であれば、よりDLPの提示するイメージに近いものを作る事というのは可能だと思いますけれども、しかしまだ四大保守、五大保守という概念を残している会員が多い中で、果たしてそういう簡素化を一足飛びにして良いかどうかという事については、何となく疑問があるような気がしてございます。ですので、大きなカテゴリーとしてはDLPに移行するようなふりをしておきつつ、中がまだ細分化されているところが、今の地区組織の若干肥大化して見えるような原因かと思えます。いずれですね、DLPをより明確に導入して行くという方向を打ち出してよろしければ、そういう事に収束していくのではないかと、いう可能性は感じます。それもこれも、幾ばくかの合意形成を、きちんと手続きを踏んだ後だという風に私は考えてございます。答えになっていませんでしょうか。

橋岡久太郎ガバナーノミニ一

それでは、プログラムを先に進ませて戴きます。8番でございます。クラブ運営方針でございます。各クラブの会長エレクトの皆さんからですね、お一人ずつ本来ですとクラブの運営方針についてお聞かせ願いたいのですが、83クラブございますので、分区から一クラブの会長エレクトの方が代表で、クラブの運営方針をお話し戴きたいと思えます。こちらの方からご指名させて戴きたいと思えますので、よろしくお願い致します。

野田東RC 林剛史会長エレクト

一年前に比べると会員が10人位減っている。我々のクラブも42年の歴史の中で、恐らく一番会員数が減っている。現在会員数22人をピンチと捉えずにチャンスと捉えて、原点回帰というか新しく設立したような気持ちで、これからクラブの個性や、世代交代もしなくてはならない。少人数に

なってしまったので低予算での運営を考えなければならぬ。

前年度を踏襲しないという事だが、事業の継続性という所をしっかり引き継いで行かねばならない。本年度の委員長を来年も引き継いでもらい2年間やって戴く事になっている。これにより事業の継続性を引き継いで行こうと考えている。

新千葉RC 石川英夫会長エレクト

当クラブは更新をするところに特色があると感じている。研修リーダーという役職があるが、殆ど何もしていないという事がわかった。組織が変わり統括委員長という役職ができ、研修リーダーを統括委員長で協力して貰って、研修に力を入れたい。年に2回の研修プログラムを作りたいという事で、そういう方向で進めたいと思っている。

財団の寄付という事については、私はあまり積極的ではないので流れに任せる。どういう事に遣われているかという事も明瞭ではないし、お金集めの団体ではないと思っているので、地区の方の意向には添えないかも知れない。

大網RC 堀本孝雄会長エレクト

国際奉仕活動としては、ネパールの識字率向上のための寄付金、里親制度の数年にわたる継続性を考えている。社会奉仕活動としては、バザー等の実施、ひまわりの種の提供を考えている。

印西RC 石井勝雄会長エレクト

当クラブは会員が非常に減少してしまい、殆ど活動が出来ないという状況にありますので、会員増強に一番力を入れていきたい。会員間の親睦が一番大事だと考えている。強い人間関係、絆を作っていく。この2つを中心とした運営を考えている。

市川シビックRC 山口馨会長エレクト

親睦と奉仕に力を入れていこうと考えている。継続性もあるが、違った点を見いだして変えていく事も、活性化に繋がるのではないかと考えている。また若い会員を増やして行く事も、クラブの活性化に繋がるのではないかと考えている。

八千代RC 橋本幹雄会長エレクト

5月の28日に創立50周年祝賀会を行う。来年は51年目という事で、全ての事をゼロベースで見直そうと考えている。一つの例として、米山とロータリー財団への寄付を60万円予算計上している。寄付の金額を予算計上するのはおかしい、寄付は個人によるものだという事で、来年は予算計上しないという事になった。

方針としては、「ロータリー頑張らないでリラッ

クス」。ロータリーを頑張ってもしょうがない。仕事を頑張っているのだから、ロータリーに来たときにはリラックスして、気の合う仲間を見つければ良い。

ロータリークラブが出来た時には一業種しか入れなかったが、これは商売敵だったから。会社ではないので上下関係が無い。年齢差のある会員はジュニアの世代になっているので、会社で意見を言う人が居ないんじゃないか。人間同士は会うべきだ、という事で月2回以上というのではなく、毎週会うように毎週例会を開く。人間が魅力的ならばクラブも魅力あるクラブになって行く。

全てをゼロベースで見直し、50年振りに揺り戻しを行おうと考えている。

君津RC 隈元雅博会長エレクト

来年は、RI会長賞へのチャレンジをしたい。会員増強については、現在55名うち女性4名なので、女性2名を含む6名の増強を考えている。

国際奉仕に関しては、ポリオプラス一人当たり30ドルは全員にお願いしたい。国際奉仕の地区は、本年度会長の鈴木が来年出向しているので、そういった部分でも貢献できればと思っている。

青少年奉仕は、来年委員長として阿部会員が出向しているので、クラブ一丸となって参加参画したい。

公共イメージ広報委員会では、10月15日に東北の震災で避難している人たちをご招待してロータリーデーを行い、枝豆の収穫やポリオ撲滅への取り組みなどのロータリー活動を紹介して行ければと考えている。

米山は年次寄付一人15,000円。ロータリー財団も一人150ドルをクリアして行ければと考えている。

八日市場RC 伊藤達裕会長エレクト

会員の減少に悩んでいる。匝瑳は小さいので会員増強も苦戦をしている。限られた予算の中での次年度の計画だが、今までは各委員会一つ一つが事業をやってきたが、2つ3つの委員会が合同で事業をやるような事を考えている。

自分も会員も、この一年どのように変わるかを楽しみにやって行こうと思う。

市原中央RC 時田清次会長エレクト

国際ロータリー会長からの「変化をもたらす」、寺嶋ガバナーエレクトからの「理念と実践」というテーマを実現するためには、ロータリーの価値観に原点がある。奉仕、多様性、高潔親睦研修の三つを目標にして活動する。

奉仕は、友好クラブとの事業とフィリピンでの

医療奉仕、地区分区での作文コンテストをする。多様性は会員増強。現在50名だが女性を含め60名にする。高潔親睦研修は、例会の充実。会員に必ず一回卓話をしてもらう。

千倉RC 鈴木健史会長エレクト代理 川名幸男幹事エレクト

会長エレクト欠席のため代理出席。昨年末の例会では、ロータリーの実例を持ち寄り検討した。人数は少ないが活発な例会が開催できている。

館山ベイRC 牧野雅行会長エレクト

来年25周年で、会員数は現在24名。25年目二は25名でお祝いをと考えている。退会者も心配である。いかにして退会者を出さないようにするか。これも一つの会員増強だと思う。委員長ばかりが活動する傾向にあるので、来年は会員全員が活動できるように頑張っていきたい。

松戸西RC 谷口義紀会長エレクト

昨年30周年を迎え、3年前に当初の三カ年計画ということで30周年30名という目標を立てて、24名から31名まで増やす事ができた。しかし今年スタート時点で2名の退会者を出してしまい、現在29名となってしまった。次年度から35周年に向けて35名を目標にして行こうと考えている。

事業としては、3月にロータリー財団地区補助金の申請をして、先週申請が通り、9月の事業に向けて準備をしている。関口研修リーダーが言われた「楽しく緊張感のある例会」のできる会を作っていきたい。

多古RC 飯田武之会長エレクト

今年20周年を迎える。会員数現在15名、実質11名で運営している。一昨年、昨年と地区補助金を活用した奉仕事業を2年連続でやらせて戴きました。ここ2年で4名の増強ができ、これからも増強が見込める状態である。

来年はまた地区補助金を活用した事業をやりたい。

船橋西RC 嘉規洋会長エレクト

来年創立50周年記念式典を開催する。記念式典や記念誌制作によって、普段とは違う1年間を送り、クラブを一致団結して運営していこうと考えている。

会員数現在40名なのだが、古い会員と新しい会員が別れてしまっている状況。次年度はRLIを活用して、入会の浅い会員にもロータリーの事をより知って戴こうと考えている。

柏南RC 小林亘会長エレクト

会員数は一時40名を越えていたのだが、現在は30名を切るのではないかという状況。活性化にも陰りを感じている。

昨年定款が変更されて細則の変更に着手した。高齢の会員に特別功労会員という枠を作り、会費の減額など残留しやすい環境を整えた。また若い会員と女性会員を増やす目的で、45歳以下の会員は会費を大幅に安くしたり等の変更を検討中である。

5大委員長を理事にし、活性化を図っている。

奉仕事業としては、子供の貧困に目を向けて検討している。

橋岡久太郎ガバナーノミニー

本日はありがとうございました。ロータリーが皆平等の中で、クラブ会長が最も崇高なポジションだと思います。皆様が各クラブで会長として輝かれる事が、クラブや分区地区の発展に繋がると思います。どうぞ楽しみながら素晴らしいクラブ運営をなさって下さいませ。皆様方のクラブの繁栄とクラブ会長の皆様方のご活躍をご祈念しております。ありがとうございました。

幹 事 部 会



◆幹事部会

リーダー	次期・地区幹事長	神野 美明
アドバイザー	次期・地区研修サブリーダー	宇佐見 透
アドバイザー	地区幹事長	藤崎 政弘
サブアドバイザー	次々期・地区幹事長	野池 尚美

挨拶

宇佐見透地区研修サブリーダー パストガバナー

皆様ご苦勞様です。幹事部会のアドバイザーを務めさせていただきます。宜しくお願いします。

本日この部会にお集まり頂いております皆様は、次年度クラブ幹事に就任されます方々であり会長エレクトと共にクラブの活性化を目指しご指導頂く立場に立たれる方々です。

今日は幹事としての職務内容をしっかりと把握され、1年間の長丁場になりますが、健康にご配慮頂き職務に就かれますことをお願い申し上げ開会の挨拶とさせていただきます。

藤崎政弘地区幹事長

昨年度青木年度におきましては大変お世話になり有難うございました。

クラブ公式訪問として約3分の2のクラブに同行訪問させていただきました。大変特色あるクラブが多く大変参考になり勉強になりましたという事をご報告させて頂き重ねて御礼を申し上げます。7月から新年度が始まりますが会長ともどもクラブの中心になる方々がここにおいでになりますが会長と委員会の狭間になっても

みくちゃんになりながら活動をされていくことになると思います。たまには挫折もあったり、涙する時もあったり、悔しくもあったりと思いますが、1年間を過ぎますと大変清々しい1年を過ごせるのではないかと私は感じました。皆様も新年度に向かって幹事としてクラブの運営に携わって頂きたくお願いをさせていただきまして挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

議題

1. 地区予算(案)について

議題に沿って進行させていただきます。

只今、隣室の会長部会において2017-18年度の地区予算(案)が承認されたとの連絡がありました。これをもって地区予算(案)は確定いたしましたので、お手元の冊子21P～23Pの地区予算(案)の(案)を削除してください。

「地区運営資金勘定内訳」及び「地区奉仕活動資金勘定内訳」については、会員数を上期2,710人、下期2,740人として収支予算を作成いたしました。

クラブの地区分担金は変更ありません。

「地区関係負担金」については、地区大会負担金を上期、下期それぞれ200円増額いたしました。また、ガバナー事務所費を上期、下期それぞれ290

円減額し、ガバナーエレクト事務所費を上期、下期 90 円増額しました。

「地区運営資金勘定内訳」については、三大セミナーの地区チーム研修セミナー費を 50,000 円、会長エレクトセミナー費を 50,000 円、地区研修・協議会費を 500,000 円増額いたしました。「立法案検討会」を昨年度から引き継ぎ予算 300,000 円を計上しました。

R I 人頭分担金は、昨年度より 2 ドル上がり 30 ドルになりました。今後 2019- 20 年度まで毎年度 4 ドルずつ増額されます。

地区組織は、6 つの統括委員会を設け、それぞれに委員会を設置しております。『研究・研修統括委員会』に「理念研究委員会」を新設いたしました。また『ロータリー財団統括委員会』に「希望の風推進委員会」を新設いたしました。

「地区奉仕活動資金勘定内訳」では、統括委員会に対して予算を配分しており、各委員会の予算は活動の目安です。

【質疑応答】

☑：上総 R C 田中 喜博 次年度幹事

収入の部の上半期と下半期の人数が出ていますが実際何人になるのですか？

▲：神野 美明 次年度地区幹事長

地区の会員数につきましてはガバナー月信に掲載されています。2 月末現在で 2817 名でございます。恐らくご質問の意味は現在の会員数と予算の会員数の差が大きいのではないかという事だと思います。これは 1 2 月末、6 月末でかなりの数の退会者が毎年でております。その為、予算（案）を作成した時点では 2780 名位の会員数でしたが、その数字をもとにして予算（案）を作成してしまいますと実際の数字に満たない場合がありますので、実際より少なめに見て予算立てをしております。

☑：銚子東 RC 宮内 博 次年度幹事

ガバナーエレクト事務所費の件でお伺い致します。

ガバナー事務所費が 150 万削減されているのに対してガバナーエレクトの方が 50 万増額になっているのはなぜですか？

▲：神野 美明 次年度地区幹事長

ガバナー事務所費が減額になっているのは地区大会費が前年まで上期下期それぞれ 3600 円ずつみておりましたが実際に地区大会を運営するにあたってはこの金額では厳しいのが実情です。かといって地区負担金を増やすわけにはいかないという事でガバナー事務所費から上期下期で 200 円ずつ回しました。これがまず 1 点です。また現在ガ

バナーエレクトとして寺嶋年度は始動しておりますが現状のままの活動費では厳しいのが実情です。そのためガバナーエレクト予算を増額致しました。この部分がガバナー事務所費減額の大きな理由です。ガバナー事務所を千葉にしてから事務所費が随分と軽減されてきました。将来的には地区負担金を減額できるかわかりませんが負担金を増やすことなく今年は予算立てを行いました。

2. 送金と報告について

次に「クラブ会長・幹事へのお願い」として、報告や手続きの方法について説明いたします。半期の手続きとして、R I に年 2 回 7 月と 1 月に送金をしていただきます。マイロータリーに登録をしていませんと手続きができませんので必ず登録をしてください。

地区への送金については、上期、下期、それぞれ所定の期日までに送金をお願いいたします。

月次の手続きとして、会員増強、例会出席率の報告をお願いいたします。

随時手続きについては、ロータリー財団寄付送金、ロータリー米山奨学会寄付について報告をして下さい。

クラブ情報・新入会員の追加・退会会員の削除・会員情報の変更が生じた際は、R I 並びに地区へ報告をして下さい。その際、顔写真データは必須となります。R 財団寄付、米山奨学会寄付を含めまして、顔写真データが届くまで月信への掲載は致しません。

期日指定手続きとして、R I へは、2 月 1 日までに報告して下さい。地区へは、7 月 1 日までにロータリークラブ・セントラルへクラブ目標の入力をして下さい。

先ほど説明をいたしました内容は、冊子 P 4 1 の「報告・提出一覧」、P 4 2～P 4 3 の「送金一覧」、P 4 4 の「報告・送金カレンダー」に記載されております。期日等をご確認の上、手続きをお願いいたします。

質疑応答特になし

3. 活動計画書の作成について

クラブ活動計画書ですが、7 月からバナー公式訪問が始まります。事前に各クラブの活動計画を知りたいので、ガバナー事務所にエレクト事務所分を含めて 4 部、ガバナーノミニー、担当ガバナー補佐、地区研修リーダーに各 1 部、計 7 部をお送りください。

質疑応答特になし

4. 公式訪問について

公式訪問日程表に変更があります。

8月25日（金）浦安RC市川南RC合同の公式訪問の記載ですが、それぞれ単独で浦安RCは8月25日（金）、市川南RCは9月20日（水）に変更になっております。

P18の「公式訪問についてのお願い」ですが、単独訪問、2クラブ合同訪問とございます。昼間例会、夜間例会、それぞれ指定の時間配分にてお願い致します。

ガバナー補佐は、ガバナー公式訪問の2週間前の例会を、ガバナー補佐クラブ訪問例会及びクラブ協議会としてください。このガバナー補佐訪問例会でガバナー補佐が得た情報は、速やかにレポートにまとめてガバナー事務所まで報告されます。この情報を公式訪問に反映されるようにしたいと考えています。

その他として、例年の申し合わせとしてガバナーのビジターフィーの支払い並びにニコニコボックスへの抛出はご容赦いただきたくお願いいたします。尚、公式訪問の際には随行員が同席できますようご配慮をお願いいたします。

質疑応答特になし

5. クラブ一覧表のご確認のお願い

クラブ一覧表の確認をお願いしたところ以下の指摘がありました。

鋸南RC 三橋 美子 次年度幹事

鋸南RC高橋会長エレクトは先週9日に逝去しました。次の会長の選任は今現在で

きておりませんので会長欄は空白でお願い致します。

富津シティ RC 高木 一彦 次年度幹事

例会場ですが現在新日鐵住金（株）技術総合開発本部富津クラブとなっていますが「総合」は不要です。正しくは新日鐵住金（株）技術開発本部富津クラブです。事務局も同様です。

6. 地区大会、記念ゴルフ大会のご案内

地区大会は、2月24日（土）、25日（日）に開催いたします。会場は、24日（土）はホテル ザ・マンハッタン、25日（日）はホテル ニューオータニ幕張です。

地区大会記念ゴルフ大会は、10月23日（月）柏市の藤ヶ谷カントリークラブで開催いたします。180名のご参加を予定しております。ゴルフ大会のWeb登録受付開始は8月下旬を予定しています。詳細は改めてご通知いたします。

質疑応答特になし

7. 「My Rotary」アカウント登録方法について

昨年12月に各クラブに会長編、幹事編、会計編

をお送りしてあると思います。この中に、「My Rotary」アカウント登録方法について5ページにわたり解説がされています。これを参考にアカウントを取得してください。近年Web登録が主流になっております。アカウントを取得していませんと手続きができませんし、ロータリーの情報を得ることもできませんので、取得をお願いいたします。パソコンをできない方は代わってくれる方をお願いをしてでもアカウントを取得してください。

【質疑応答】

Q：質問者不明

同じPCからしか中に入れないとの説明がありましたが本当ですか？

A：宇佐見 透 パストガバナー

登録したPCからアカウントを取ってもらえれば入れるはずです。

Q：大多喜RC 浅野 正暉 次年度幹事

先程登録したPCからしか入れないというのは間違いだと思います。アカウントですので各PCのアドレス等まで管理してないと思います。いがかでしょうか？

A：宇佐見 透 パストガバナー

その通りです。事務局で登録したアカウントがあればどのPCからでも大丈夫です。ただご自身のPCから登録した方が後々楽だとは思いますが。

Q：市原中央RC 宮寺 仁 次年度幹事

マイロータリーに入る際に幹事の所から入るとの事ですがマイロータリーに登録するときにそのような場所があるのですか？

A：宇佐見 透 パストガバナー

チェックを入れる欄があったと思います。

Q：八千代RC 三井 啓久 次年度幹事

現行の幹事が登録をしている時に我々が幹事エレクトとして登録する事ができるのかという点と事務局と幹事双方が登録をした際に同じ情報を双方がもらえるのかという事を確認したい。

A：宇佐見 透 パストガバナー

できると思います。

Q：富里RC 松永 達人 次年度幹事

先程マイロータリーを登録させて頂きましたが恐らく幹事という項目はなかったと思います。という事は会員の方にも入って頂く事が可能だと思いますがいかがでしょうか？

A：宇佐見 透 パストガバナー

それは全く問題ないと思います。

講評

宇佐見 透 地区研修サプリーダー（PG）

それでは講評を述べます。いよいよ7月より新年度がスタートします。実質のクラブ運営はクラ

ブ幹事である皆様お一人お一人が当たられることになります。

皆様にはクラブ・セクリタリーとして、全てのことの事務手続きが委ねられます。まずは手続要覧を熟読下さい。運営に関しての全てが記載されております。

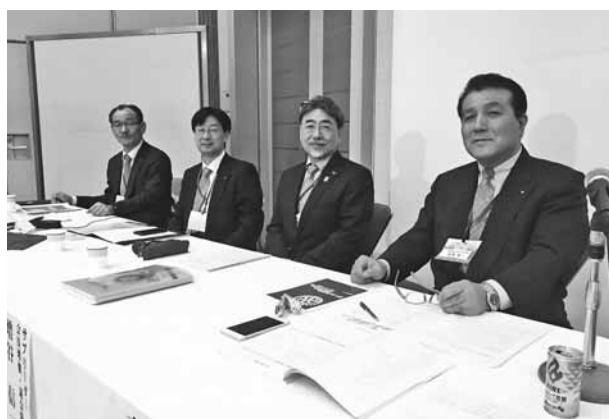
皆様はこの手続要覧に従い会長エレクトと充分なる協議を重ねられ、クラブの活性化及び新会員の増強に御注力されますことをお願いします。次に My・Rotary への登録が出来ておられない方はすぐにも登録されアカウントを取得ください。各種手続きは全てこの My・Rotary を通じて行われます。また今日は「クラブを成功に導くリーダーシップ幹事編」を持たずに本部会に出席されておられる方が見受けられますが、おそらく事務局さんが知らないか忘れたかで、お手元に渡されておらないことが予測されます。(Gエレクト事務所からは発送配信を終えています。) このテキストを充分活用され、幹事として何をどの様に行えばよいか、具体的に記載されていますので、常に手続要覧と共に手元に携えクラブ運営に当たって下さい。

クラブ幹事さんは字の通り「クラブの幹」です。1年間健康に留意され、長丁場になりますが宜しくお願いします。次年度ガバナーが求めている重点目標は以下の7項目です。

1. 会員増強
2. H P の開設
3. My ロータリー、クラブセントラルの活用
4. R L I への参加
5. 奉仕プロジェクトの立案と実施
6. 財団年次寄付、ポリオ・プラス基金へのクラブ寄付促進
7. 米山記念奨学会への寄付促進

14時25分閉会

管理運営部会



◆管理運営部会

リーダー	次期・管理運営統括委員会 統括委員長	高橋 潤一
サブリーダー	次期・会員増強・退会防止委員会 委員長	増谷 信一
サブリーダー	次期・広報・公共イメージ向上委員会 委員長	高橋 竜一
サブリーダー	次期・フェローシップ委員会 委員長	藤崎 泰裕
アドバイザー	パストガバナー	石井亮太郎
アドバイザー	パストガバナー	秋元 秀夫

2017-2018 年度・管理運営統括委員会	統括委員長	高橋 潤一	(新千葉 RC)
会員増強・退会防止委員会	委員長	増谷 信一	(柏西 RC)
	副委員長	寄主 俊雄	(千葉北 RC)
	委員	並木 鷹男	(千葉 RC)
	委員	馬場 弘	(柏西 RC)
	委員	鳴海 寿裕	(千葉東 RC)
広報・公共イメージ向上委員会	委員長	高橋 竜一	(松戸東 RC)
	副委員長	大塚 義仁	(浦安 RC)
	委員	藤本 俊哉	(千葉東 RC)
	委員	渡邊 圭介	(新千葉 RC)
	委員	長嶋 利忠	(千葉緑 RC)
フェローシップ委員会	委員長	藤崎 泰裕	(千葉西 RC)
	副委員長	山崎 新一	(船橋東 RC)
	委員	長谷川七三一	(新千葉 RC)
	委員	佐藤 直子	(銚子 RC)
	委員	實川 正道	(佐倉 RC)

統括委員長挨拶

高橋潤一（新千葉 RC）

宇佐見年度が管理運営委員会を設置され、櫻木年度、青木年度と、その委員会活動を引き継ぎ寺嶋年度の管理運営統括委員会がスタートいたします。

会員増強・退会防止委員会は RI の大きな課題でもあります。

ロータリーの奉仕事業を、世間一般の人々、また、私たちの仲間のロータリアンに広くアピールすることが広報・公共イメージ向上委員会の責務であります。

「入りて学び、出て奉仕せよ」のロータリー活動のように、ロータリアン同志並びに一般の人々との横の絆を深く繋ぐフェローシップ委員会と3つの委員会からなります。

ロータリーの運営、活動の中でこの3委員会は基本となるところであります。

2017-18 年度国際ロータリー会長、イアン・H.S ライズリーは「ロータリーに変化をもたらす」をテーマとしております。

2017 年国際協議会においても、会員増強と公共イメージは、キーワードになっています。

「ロータリーとは何ですか？」このシンプルな質問に柔軟に答えられる委員会が必要とされています。

会員増強・退会防止委員会においては、日本のロータリーの年齢構成があります。

団塊世代の中堅のメンバーが、あと何年活動できるかにあります。

そのメンバーの構成比率から多くの退会者の時をむかえる前に、若いメンバーの増強が必要となります。

また、女性メンバーの純増も大きな目標となります。

そのためにも、自クラブの奉仕活動の充実こそ求めとなるのではないのでしょうか？

それにつながるのが、広報・公共イメージ向上委員会であります。

公共イメージの認知度向上、地域社会においての奉仕活動の成功例などのアピールであります。

マイロータリー、ロータリークラブセントラルの活用、報道機関との建設的な関係があげられると思います。

フェローシップにおいては、自クラブ以外のロータリアンの友情と絆の構築、またロータリアン以外の人々との交流など、せっかく我々の仲間となったロータリーの友に、人と人との繋がりを持って、退会防止とするなどであります。

以上を踏まえ、この3委員会の活動は我々ロータリアンが、ロータリー活動を行っていくうえで

最低限の事ではないのでしょうか？

せっかく入ったロータリークラブであります。自ら進んで参加し、ロータリーを理解し、楽しいロータリーライフを送って頂きたいと思います。

皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

アドバイザー 秋元秀夫パストガバナー ご挨拶

改めて皆さんこんにちは。まず、言い訳を言わせて頂きますと、石井さんがリーダーで私はサブリーダーだから挨拶も講評も無くていいんだとつい数分前まで思っておりましたが、先ほど司会の方から挨拶をしてくださいと言われてましてまさに青天の霹靂の思いで大急ぎでここにメモをしていたわけでございます。何といいましても今日のこの会にそぐわしい挨拶にはならないかと思いますが、日頃思っておりますことと、先程の午前中の全体会議の時にちょっとメモを取ったことがございますので、そのへんのお話をさせて頂きたいと思います。

私はロータリーといいますのは自分と考えが違う方があってもいいのだと思います。

自分と違う考え方を持った話をやはり聞く耳を持つということが、ロータリーの1つの意義ある存在だろうと思っておりますから、言っていることがおかしいと思うことは、私はそれでいいんじゃないかな、またなるほどと聞いてくださる方がいればいいのではないかなと思います。大変言い訳が長くなりましたが、実は腰痛めておりますので座らせて頂いて、お聞き頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

まずここ数年来、ロータリーの一つの大きな課題といえますと会員増強という問題が毎年出てくる訳ですが、なぜ会員が減ってしまったのだろうか、どうしたら増やせるのだろうかということは皆さんは具体的にそれぞれ地域性とかそういうことがございますから、クラブクラブでお考えになって頂きたいと思います。

私と石井さんがガバナーをした頃は、17,8年前でございますけれども、私どものころは正確には3,870人くらい、石井さんの時はおよそ4,000人くらいのロータリアンがいたわけですが、バブルがちょうど崩壊いたしまして、そのあと今日の表を見ますと現在は約2,700名くらいですので、30%くらいの会員が減っているわけです。

私がガバナーを辞めましてからすぐ地元の商工会議所の会頭に選ばれて15年間、ちょうど去年の暮れまで会頭をしておりましたが、そのときやはり会議所や関係団体もやはり会員数は大変減って参りましたので、データを調べてみますとバブルが崩壊してから減った数字というの

は各種団体を全国平均すると20%くらいなんです。

そうしますと、ロータリーの30%、(一時はもっと超えておりましたが、) 同じ経済界を代表する団体としてはちょっと減りすぎておるなというのが1つの問題点ではなからうかと思えます。

私の考えからするといくら減っても最盛期の20%以内くらいに留める努力をすることが今のロータリーには必要ではないかなと思います。

なぜ減るかということについて、かつてはロータリアンになるということについては選ばれたという誇りがございました。

それから私の女房を含めました家族や社員うちの社長はロータリアンだという誇りと自信のようなものがありました、今はそれがちょっと希薄になっているのではないかなと思います。俗に言われているように選ばれたのではなくて、頼まれたからロータリアンになったというイメージはできるだけ払拭しなければならないのではないかなと思います。

ロータリーの誇りというのは当時も今も変わってはいけないと思いますが、私はロータリアンというのはやはり地域のリーダーでなければならないと思います。

リーダーというのはロータリー的に言えば色々言い方はございますが、私なりの言い方を申し上げるならば、リーダーというのは自分以外の人のために一生懸命働く、奉仕とするというのが地域社会のリーダーだろうと思っています。特に会議所の会頭をしたときにつくづくそう思いました。ですから私は15年ももったというのは千葉県では長いほうですけども、ロータリーで教わったから、ロータリーで育てられたから会議所の会頭としてもったのだと思います。

実際にこういう話を会議所の中で話しますと、今度の会頭は素晴らしいと、(これはお世辞もあったかもしれませんが、) 随分皆さんから褒められ、尊敬されたという思いがございました。

そういった意味では、皆さんにこれを私がなぜ申し上げたかと言いますと、ロータリアンであることにもっと皆さん自信と誇りを持って頂きたいからです。決して自分を自慢したということではございませんので、そのようにお聞きを頂ければ大変ありがたいなと思っております。

今日、関口さんが大変素晴らしいお話をされておりましたけれども、RIと日本のロータリーとの違いが段々と出てまいりました。例えば例会の問題とか職業分類の問題とか、非常に緩和されたと言え聞こえはいいけれども、あの厳しかったロータリーだから価値があったというものは非常に緩

和されすぎて返って日本のロータリーは、(世界のロータリーについては分かりませんので申し上げますが) 気まずいものが出てきたのではないかなというように思います。

これもちょっと場違いな話かもしれませんが、今、私は神社総代会の千葉県の副会長をしておりますので、よく氏子総代会の中で話をするのは西洋と東洋の宗教、あるいは中近東の宗教と日本の宗教・神道とはなぜ違うかという話を申し上げるのですが、ご存知のように西洋も中近東も一神教でございます。関係者がいらっしゃって私の言うことが違うということがあればお教え頂きたいと思いますが、一神教の一つの特徴は、自分の宗教民族の繁栄と幸せを中心とする宗教でございますが、日本は多神教でございますから大自然のすべてのものたち、あるいは先祖の方々、そういったすべての人達に今日あることを感謝するというは信徒の考え方で、ただお願いをするだけではなくて、感謝をしてお互いを分かち合い助け合って共に生きてと云う考え方でありますので教義・経典がありません。ロータリーの奉仕もまた難しい規則はなくてもよいと考えています。

やはりその辺の違いがロータリーの基本であるキリスト教的な考え方と東洋哲学を持った私たちの考え方との違いがある、でも私は日本のロータリーは東洋哲学的な方が良いのではないかと思います。

日本のロータリーは、3年ごとに変わる手続き要覧やそれに伴うRIの方針が変わり、こういう協議会・研修会については常に毎年ガバナーたちが大変苦勞をして皆さんにこういう勉強会を開いておられます。先ほど昼食を食べながら、私の周囲のバスターガバナーが私の話に共鳴してくれましたので敢えて申し上げますが、最近はどうも協議会とか研修会というのは先ほど言いましたようにお互いに自分の考え方を話し合って自主的にクラブを運営していくためのあるべきものが、どうも教育の場になっていると思います。

3年ごとに変わる手続き要覧の説明が教育となり、RIの方針が変わることは皆さんに教育をというような感じを与える会議になっておって、聞いている人達は感銘しなくなったのではないかと私は思っています。私は批判をしているのではなくて、そんなことを感じませんかということを皆さんに申し上げたいのでございます。

私はロータリーのこのような会議というのは、皆さんが自主的であり、クラブの運営が尊重されるならば各個人が、クラブがこの1年、あるいは私はロータリアンになる前までどうやって生きてきたか、どう仕事をしてきたか、どのように大変な苦難を乗り越えてきたかということを話し合う

ことによって、皆さんがその友達の話しに感動し、感激をして自分たちに感銘が起きることによってロータリーというのは行動してきた。だからロータリーは今日あったのだというふうに古いロータリアンである私はそう思っております。でもこれからの私はそうだと思います。

理論・理屈で奉仕というのはできないと思います。はやり人々のために自分以外の人達のために、人々が努力されたことに感動して、私もしようという行動を起こすこと、そして、その行動を起こすことによって、そのロータリアンのするが素晴らしいから、家族や社員や地域社会の人達皆が感銘、共鳴して運動が広がっていくというのが私は本来の、そしてロータリアンが地域のリーダーとしてのあるべき姿ではないのかと思います。それが今無くなってしまったのではないかなと私は思います。

私個人ではなく、先ほど言いましたように会議所の仕事の中で見ておりまして、昔ほどロータリアンやロータリーの存在感が無くなったと思います。

よく昔言われましたが、この地域社会にロータリーがあったほうがいいですか、無くてもいいですかという問いに対して、ロータリーが無ければ、地域社会は支えがないと言われるロータリーでは今は残念なのではないかと思います。

その辺については何度も言いますが、批判するのではなくてもう一度皆さん方でそういうロータリーを取り返す努力をすれば、ロータリーに入らせて頂きたいという人は増えてくるのではないかなと思います。

まず、家族は自分の主人が、親父がロータリアンであることに誇りを持ち、また社員たちも地域社会に対して自信と誇りを持つロータリアンであって頂きたい。

私はあるときこう言いました。「旦那のロータリアンが会員増強するよりは、奥さんたちに会員増強してもらったほうが、効果があるのではないですか」と、話が余談になりましたが、そんなことを思ったことはございます。

それから、さっきの例会の問題が、なお緩やかにはるというお話がございました。

実は私は例会の事を言う立場ではないのです。会議所で私は年に404回会議とかいろんな行事に出るのですが、特に土・日・月曜は忙しく、君津のロータリークラブは月曜日の例会ですがから年間何日も出られないのであまり例会のことについては申し上げにくいのですが、やはり例会は大事にするべきだと思います。

私がなぜ例会を大事にするべきかと言いますと、私の信条として会議所でよくいうことは「人と会

うことを多くしよう。足を運ぶことを多くしよう。人は会うことが多ければ、良き友達となり、親友、つまり自分のいざという時に心を託せる人が必ずできるから、会うことを多くしよう。会うことがなければ、家族でも他人になってしまうから、会わないことは良くないことだ。」というふうに私は常にそう申し上げておりますが、これからもその気持ちは変わらないと思います。ロータリアンは仮に例会は緩やかになってもできるだけ会うことを多くすることは一番大事だと思っております。

今、私どもの君津の鈴木会長は例会もさることながらメーキャップを多くすることを今年の目標にするとおっしゃっていましたが、これは当たり前なのですが、今このメーキャップを多くしようという考え方は素晴らしいと思います。メーキャップはロータリーの素晴らしい発想の1つであります。

私はあまり人の前で言いたくはないのですが、私のような育ちの人でガバナーをやった人は世界中であまりいないだろうと思っております。それは私の食品業界では全国の会長、神社会、会議所の会頭、ガバナーをさせて頂いたというのは、やはり私が今まで申し上げましたように、多くの人と接し、色んな意見を聞き、多くの仲間にて育てられたから今日があるのだというように思っておりますから、今までのことを自信をもって申し上げます。

ロータリーが素晴らしいというのは、私のような人間を育てることができるロータリーだから、ロータリーはもっと皆さんと共に大切にロータリーを育て次の時代へと継承する役目を果たしたいと存じます。

メモが一杯書いてありまして、どこまで読んだかわからなくなりましたので、また、ご質問等がありましたらお答えなり、また気が付いたところは申し伝えて頂きたいと思います。これをもって挨拶にかえさせて頂きたいと思います。

多弁が過ぎたと思いますが、お許しくださいたいと思います。ありがとうございました。

アドバイザー 石井亮太郎バストガバナーご挨拶

皆さん長い時間お疲れまでした。先ほど秋元さんののっけに長講一席お話をなされたので私は短く申し上げたいと思います。

私も今まであまり地区の中のこういう役割を仰せつかってなかったのですが、今年はエレクトのほうからお達しがあって、ここに首を連ねているわけですが、この前も一度この地区の委員の皆さんと会合でお会いしました。

この冊子にありますように皆さんも地区の委員会を色々担当されたり、あるいは職業上のプロ

フェッショナルであったり、特に広報・イメージ向上委員会の方はプロの方がいらっしゃるようであり、委員の方もそれぞれ経験豊富な方でございます。

各クラブあるいは各個人の方が何かご相談をされたりこうしたいという意向があったり、そういうときにはどうぞ委員会の皆さんのお力とアドバイス、あるいは協力を頂いて、ひとつ委員会共々今年一年間ご協力、ご努力を頂きたいと思っております。

今、皆さんのお話を色々伺っておりまして、会員増強、これはどちらのクラブでも苦勞をされているところかなと思います。女性会員の問題にしても、私のクラブなんかは、女性は絶対入れないという人がいるのであります。

そもそもこの日本の東京で国際大会が開かれたときにこの問題がその大会に持ち込まれたのです。女性会員を入れるか入れないかです。R Iの事務局のほうは人頭分担金を払い込んできたその名前が女性か男性か確認しないで受領してしまったのです。

それで女性は認めないのだということで裁判をやりまして、R Iが負けまして女性を入会することを認めたなどといういきさつがあります。まだ日本では女性の会員の数はそんなに多くはありません。女性が沢山入ってくると会員増強には非常に強力な力となってくると思っておりますし、女性がおいで頂けるクラブはどうぞ女性会員にご入会をお勧め頂けることは大変結構なことだと思います。

それから広報・イメージ向上委員会ですが、我々が昔ロータリーを勉強されたころは、この広報などというものはロータリアンが実践活動を行ったその延長上に現れてくるものであってやたらにスピーカーで怒鳴って歩くようなものではないということを教えられた事を今思い出しました。まあ確かにそうなんですけれども今はもうインターネットであるとか今ご説明を聞いたそういう手段で広報活動が行われますが、やらないことまで広報することはないですね。ロータリー運動の中で実績を踏まえたものを知らしめるべきところに知らしめる、やたらと営業のPRのようなそういう広報は私は感心しないと思います。

フェローシップも最後にお話しがありましたこの委員長さんの所見が載っていますが、これは非常にロータリー的なご認識でお書きになっています。皆さんこれをお読みになると参考になると思います。

私が一番申し上げたいことは、ロータリーが変わろうとしていることです。今日も寺嶋ガバナーエレクトのお話の中にございました。関口研修リーダーの冊子にも「ロータリーいずこへ」と言われています。ロータリーがどっちの方向へ変わって

いくのか。私はこれに非常に違和感を感じておりまして、実は私は一昨日倉庫を片付けて掃除しておりましたら私がガバナーをやっていた時の幹事長が、私が地区大会や公式訪問へ行ったときの録音テープが出てきました。1995年7月7日、千葉南ロータリークラブでの公式訪問の私のスピーチが出てきたのです。

二十数年経ったテープですけども懐かしいので聞いてみました。そうしたら二十数年経っても今私が考えているロータリー感と全く変わらないのです。これは古いのかなと私自信が思ったのですが、そうではなくはやはりロータリー運動は、ロータリー運動として進化していかなければならない。ロータリー運動がボランティア団体に変わっていくようなことをR I会長が言われたとか先ほど聞きましたけれどもでもそんなことで皆さんよろしいですか？私はそういうロータリーを信奉してないものですから非常に違和感を感じます

最近世の中の潮流が変わった。だからロータリーも変わるんだという方もいらっしゃいます。それでは潮流が変わったらサンマがマグロになりますか？そんなことはありませんよね。やはりこれから未来永劫にロータリーはロータリーとして闊達に正統なロータリー運動でなければならぬと私は思っています。

これはこの委員会の会合の話とは関係ありませんが、そのテープが出てきましたので余分なことを申し上げました。

大変ご熱心に長時間この委員会の会合にご出席頂きましてありがとうございました。

閉会前の締めとして一言申し上げました。

これからもひとつどうぞクラブにお帰りになって皆さんご活躍を頂くようにご祈念を申し上げまして話を終わります。

ありがとうございました。

会員増強・退会防止委員会の活動方針

管理運営部会 会員増強・退会防止委員会
委員長 増谷 信一（柏西 RC）

皆様、こんにちは。

3 委員会のトップとして会員増強・退会防止委員会のから始めさせていただきます。次年度、会員増強・退会防止委員会 委員長をお受けする事に成りました。柏西ロータリークラブの「増谷信一」と申します。一年間、どうぞ宜しくお願い致します。

昨年度、櫻木ガバナー年度では、フェローシップ委員会委員長をさせて頂き「趣味別交流会」や「里山歩き」等を企画させて頂きました。又、地区内で「野球」「ゴルフ」に続いて「二輪車の会」を立ち上げさせて頂き、毎年「年 2 回のツーリング」を開催しております。今年も、1 月に佐原にございます香取神宮まで「初詣ツーリング」を 12 台で行って参りました。今後も開催して行きますので、ご興味の有る方は、本年度又は次年度のフェローシップ委員会迄ご連絡をして頂ければと思います。

この後、詳しくお話をさせていただきます。

さて、日本のロータリアンの会員数については、1997 年から急激に減少が始まり、その間、様々な手を打っても、会員の減少に歯止めが掛けられない状況が続いております。2017 年 1 月現在、日本のロータリアンの会員数は、89,335 人です。しかし、いまだに会員の減少が続いております。

そして、第 2790 地区の会員数は、10 年以上前には 3,000 名を超える会員が登録をされておりましたが、2017 年 2 月末時点の会員数は 2,829 人〔女性会員 181 人〕でした。

しかしこの数字は、6 月年度末には更に減少するのではと懸念をしております。

会員拡大は、誰かが入れるだろうでは無く、会長や幹事・会員増強担当委員長が中心となり、会員一人一人並びに同業者や趣味仲間がグループ単位で、本気で会員拡大に取り組む事が大事です。

会員増強は、理屈ではなく、増強委員長の“思い入れ”が大切なのです。

2017-18 年度 イアン・ライズリー R I 会長の、キーワードには財団・会員増強・公共イメージ・戦略計画・柔軟性の文章が記載をされておりました。その中の会員増強はクラブのサポートには、マイロータリーやロータリークラブセントラルといった情報ツールを活用すべきである。

クラブ強化については、バランスと年齢構成を意識しなければならない。すなわち、女性会員と 30 代の会員を増強すべきである、と記載をされております。

そして、寺嶋ガバナーの地区運営方針の中にも、会員拡大・退会防止については次の様に述べております。

○会員増強にあつては、女性会員の増強を推奨し、会員となる可能性ある分母の拡大を図ります。

※ロータリー設立時の定款には「男性会員」の記述があり、女性の入会は認められておりませんでした。

1964 年にスリランカのマウントラビニア RC が国際大会理事会規定審議会の議題に女性会員承認を提案しましたが、否決をされてしまいました。

その後、1989 年にロータリアンとしての資格を備えた人なら男女の差がなく入会ができるようになりました。

〔2016 年度の男性会員と女性会員の割合〕

地 域	男性会員 (%)	女性会員 (%)
世 界 平 均	81 %	19 %
日 本	95 %	5 %
中 央 ・ 東 南 ア ジ ア	58 %	42 %
韓 国	85 %	15 %
イ ン ド	82 %	18 %
フ ィ リ ピ ン	69 %	31 %

○フェローシップと連携して会員相互の交流をは

かり、退会防止の一助と致します。

そして、会員増強については、明確に記載をして有りました。

※「フェローシップ」と「会員拡大」は、お互いが両輪で有と考えられます。

【ここで、一つの例を上げさせていただきます。】

冒頭、お話をさせて頂きましたが、昨年櫻木ガバナー年度に、地区フェローシップ委員長をさせて頂きました。

2790地区には、「野球」や「ゴルフ」の趣味グループがございました。しかし地区内83クラブ、約2,800人近くの会員の中には、色々な趣味や特技を持って入る会員が沢山いるはずですよ。

その趣味グループを、クラブや分区を超えて地区内で作る事により、仲間意識を強め更には、会員拡大や退会防止の一助として頂きたいとの事でした。

その、要望を受け趣味別交流会をさせて頂きました。

その時の内容は、音楽や釣り等多彩な趣味・特技を持っております、モト冬樹のお兄さんのエド山口氏をお呼び致しまして、『基調講演』をして頂きました。

その後、(音楽・俳句・刀剣・野球・写真・釣り・ウォーキング・二輪車・四輪車)の、9種類のグループの集いを行いました。

その後、幾つかのグループが連絡を取り合って交流をしております。

その中の一つのグループが、早速集まり「地区二輪車の会」を立ち上げました。現在、地区内で36名の会員登録がされております。その中には、退会をしてしまった元ロータリアンや、ロータリーに入会しても良いと言う会員2名も含まれております。

まさしく、会員増強・退会防止の一つではないでしょうか！

そして、次年度この会員増強・退会防止委員会は私くしを入れて5名全員が、地区二輪車の会に入っております。

又、本年度も地区フェローシップ委員会の事業で「女性の会」が、発足を致しました。この様に、2790地区が色々な形で、交流が出来る事は大変意義の有る事ではないでしょうか？

さて、話を戻しますが、会員増強については、寺嶋ガバナーは明確に記載をしております。

① 各クラブに対し、年度を通じての会員数の純増を推奨して下さい。

② 数値目標として、1人あるいは10%純増のいずれか多い方を目標とすることを推奨します。

③ 伝統的な慣習を固持するクラブを除き、女性会員の増強を推奨下さい。

④ 全会員数に対する女性会員の割合を、5%引き上げることを推奨いたします。

【参加者より発表】

★ここで、1番の会員数の純増を、なんと半年間で12名も拡大を致しました。

第9分区 成田ロータリークラブの本日出席をされております。次年度委員長の「高橋様」よりその、会員拡大のイウハウを聞いてみたいと思います。

それでは、成田RCの高橋委員長さん、宜しくお願い致します。

高橋様、ありがとうございました。

★次に、3番の女性会員の増強を推奨下さい。と言う事で、地区内で最多の9名の女性会員の入会が有ります。

寺嶋ガバナーエレクトが所属をされております。第10分区柏RCの次年度会員増強委員長の「石戸義行」様より、女性会員を入会させる為の、秘訣等をお話して頂ければと思います。

石戸様、ありがとうございました。

★同じく、女性会員の入会が多い、柏南RCの次年度クラブ管理運営委員長の「岡田尚子」様より、女性の立場からの自分の入会のお誘いから、現在柏南RCの女性拡大までの経緯等を含めまして、お話を頂ければと思います。

岡田様、ありがとうございました。

※女性会員を増やす為には現役の女性会員同志が連携をしあい、クラブや分区を超えての推薦や紹介が必要では無いでしょうか！

それでは、具体的に本委員会は何をやる委員会なのか、確認いたします。

【本委員会の方向性を次の四項目に絞り込みました。】

① 新規の会員を増やす。〔一人あるいは10%純増〕

② 女性会員の増強。〔全会員数の女性割合5%〕

増]

③ 会員の退会を防止する。〔特に入会3年未満や長期欠席者〕

④ ロータリークラブを広く世間に知らしめる。
〔広報公共イメージ向上委員会・フェローシップ委員会との連携〕

〔会員増強・退会防止セミナー〕

ここで、会員増強・退会防止セミナーの開催についてのご案内をさせていただきます。

○委員会の最初の事業としまして、会員増強・拡大月間の8月26日土曜日14時から、「会員増強・退会防止セミナー」を千葉市にございます、カンデオホテルにて開催を致します。
参加対象者と致しまして、各クラブの会員増強・退会防止委員長並びにその関連委員長・会長・幹事とさせていただきます。

詳細につきましては、年度初めの7月にご案内をさせていただきます。

是非、今から予定に入れておいて下さい。

最後に成りますが、退会防止に対しては年間を通して、年齢的な問題や病气・諸事情を除き、スポンサーを先頭にクラブ全体で取り組みフォローをして行くことが退会防止につながると考えております。特に、これからの年度切り替えの6月には毎年多くの会員が退会をしてしまいます、是非今から長期欠席者を含めて、退会防止に取り組んでみて下さい。

次年度、2790地区83クラブ全体で、約300名の会員拡大を目標とさせていただきます。

それでは、これをもちまして、会員増強・退会防止委員会の基本的な考え方と本年度の進め方について、終了をさせていただきます。

又、発表をして下さいました、3名の皆様。
ご協力ありがとうございました。
ご清聴ありがとうございました。

事例紹介

No.1

発表者 成田ロータリークラブ 高橋 晋 様

大変僥越でございますが私をご指名されたもので一言申し上げたいと思います。

昨年の8月に会員増強月間で会長自ら増強人数を10名に目標を出されて、増強委員を始め全員を招集しまして候補リストを挙げてもらえないかということで、挙げされてもらいました。私もロータリーに51歳で入りまして、今年で約25年です。76歳です。

この私の年寄りを増強委員長に指名されたものですから、私の仕事の流れから、そういう方を具体的にピックアップしましたが、私の力だけでは到底これだけの人数は集まりませんし、会員全員と会長自ら会員増強月間に対してそういう目標で今年はやるのだという意気込みが皆さんに伝わって、それがこういう結果になったのではないかと思います。

以前は59名でしたが転勤で2名退会されて今現在は70名です。女性会員が4名で男性が66名です。

やはりロータリーに入ってお互いに会員同士と会長の人望が厚いものですから、それに従って私はロボットのような委員長で何もしていないのですが、たまたまこういう結果になったというのは会長の威勢が会員の方々に伝わったのではないかと思います。

実際にリストを挙げた140名のうち10名です。ですから約1割でこういう結果になったのだと思います。ですから、そう簡単にはやっぱりいかないのだなということを私自信も感じております。

具体的に10名目標でこれをオーバーしたので会長も大変喜んでおりました。先ほどこの地区で会費がうちは21万円ですが、30万円のところもあるということを聞いて会費をもう少し安くしようかと言っている最中に30万円もするのでは会員数が減少して入らないのではないかと余計な心配もしました。

今年度、入会金は今まで7万円取っていたのですが、それを今年度はやめまして、次年度はまた5万円取るかどうか調整している最中です。

そういうことで私がたまたま委員長にされたのですが私の力は大した力はないのですが、皆さんに盛り立てて頂いたおかげでこういう壇上に上がらせて頂いている訳です。

本当に私自信もこういうように招集されるよう

なことで大変僥越でありがたいことなのですが、それは会員の方々の全員のご協力によってこういう結果になったのだと思います。
どうもありがとうございました。

事例紹介 No.2

発表者 柏ロータリークラブ 石戸 義行 様

◆増谷信一会員増強・退会防止委員会委員長

女性会員の増強を推奨し、2790 地区で最多の 9 名の女性会員が在籍している柏 RC の次年度会員増強委員長の石戸善行様に、女性会員を入会させる秘訣などをご紹介いただきたいと思います。

◆柏ロータリークラブ 石戸 義行 会員

私は柏地区で商売をしているので、柏 RC に所属しています。みなさんの地域がどういう風になっているかは、はかり知れませんが、まずはわたくしの事をお話しさせていただきます。

柏地区の柏・流山・我孫子でスーパーマーケットを 15 年経営しています。数字がないので、イメージしづらいと思いますが、この 10 年間で柏市で小売業の売場面積が 155% 増になっています。人口はここ 10 年間で 6% しか増えていません。しかも高齢者の方々が増えていて、65 歳以上は 126% 増えているんですが、一般消費する 25 歳～65 歳までの人口は 96% になっています。こういう状況の中で競争があります。

会員増強について、私は商売という話をしていますが、みなさんは色々な職業の中での競争だったり、他地域との競争があるなかで、またむずかしい職業がある中で、健闘されている方もいっぱいいらっしゃると思います。

私は、ロータリーが奉仕団体だっていう風に RI がなっているそうですが、私はロータリー活動が一生懸命に出来るのは、自分の職業が上手くいっている時だけしか出来ないと思っています。

そういう意味で、みなさん色々な地域で職業が大変な時に、会員増強は難しいんじゃないかと思っています。みなさんが苦労されていると思います。

なぜ、柏 RC は女性会員が多いのかということのテーマでお話しします。柏 RC は、メンバーが 66 名で、女性会員が 9 名で、15% の比率です。なぜ多いの？と考えてみたこともなく、実際に女性会員のみなさんに聞いてみました。お世辞もあると思いますが、みなさんが紳士的で、特に女性、男性、

先輩、後輩ということ、比較的に意識しないでいい雰囲気があると思われていて、居心地がいいんだと思います。

女性がいっぱいいてどうなのかと思うと、本当言うと自分以外はすべて女性会員でいいなと思っています。

柏 RC のいいところは、平等だになって気にさせられているし、例会に行く時に、あの人に会いたいと思う人がいっぱいいて、楽しいところです。

楽しい所には、人が集まるとは思うんですが、自分の今後の会員増強につきましては、おまえに会いたいよと思われる人間になっていきたいと思い、より楽しい会をみなさんと作って会員増強をしていきたいと思っています。

事例紹介 No.3

発表者 柏南ロータリークラブ 岡田 尚子 様
(次年度クラブ管理委員会委員長)

女性の立場からの入会のお誘いについて

柏南ロータリークラブの岡田尚子と申します。

入会のきっかけは、今、お話ししていました石戸さんとガバナーエレクトの寺嶋さんと同じ柏の商工会議所の青年部の卒業生でございます。

卒業してこれから青年部活動も無くなっちゃたしどうしようかなと思っているときに、私は税理士をしているのですが顧問先のブティックに行っている時に、「先生これから何するの？」と言われ、ロータリーにしようか？ライオンズにしようか？それとも何も入らないで好きな事して遊んでいようかと思っておりましたら、お店の方が「そう言えばうちにロータリアンの人よく来るわよ、今度話を聞いてみれば」と言われたのが最初のきっかけでした。その方が「今日は来ないけど明日また来てみれば」と言われて、翌日行ってみたら会員の方がいらっしゃいまして、「ああ～、入りたいなら、うちは火曜日が例会日から火曜日にこの会場に来ればみんないるよ」と言われて行ってみたら、もう入会になっていたことが入会のきっかけでした。

実は、私、柏にはロータリークラブがこんなにあるとは知らず、柏には、たった一つしかクラブが無いと思っているくらい無知だったものでしたから、ほかに知り合い方がいて、その方からお誘いがありましてその方のクラブかな？と思っておりましたらその方はいらっしゃらなくて、あれっ？と思っておりましたら、「知らないの？柏に

はクラブは五つあるんだよ」と言われました。そうだったのね～と思ったのですが、折角のお誘いですのでそのおじゃました例会で入会しまして現在に至っております。

そこで思ったのですが、どこかで私が「ロータリアン」と言う事を行く先々で言って置くと、「何かの時にこんな人がいるわよ」と言う情報が入ってくるのかなと感じました。

そこでうちのクラブですけれども女性会員が6人と先程紹介されましたけれども、私が入会したときにすでに先輩が3人おりまして私が4人目に入って、すぐに2人辞めまして、2人になったのですがそのあと徐々に増えて現在6人になりました。それで最初に入っておりました方の一人の方は、10分区で初めての女性会員と言うことで入会時に非常に問題になって、「女性を入会させていいものかどうか」もめたのですが、「テストケースなのでしっかり、やってくれ」と言われて、「非常に緊張して、大変な思いをした」と言っておられました方が会長も経験しておられます。その時に私が幹事をさせて頂いて、その時の「プログラム委員長も女性、親睦委員長も女性で、女性が女性を支え合おうということで女性が元氣な会だよ」と言いうところを周りの分区の方にも分かって頂いたところが非常に良かったと思っております。

また、私の友達で地方の県庁所在地で会長をする方がおりまして、そのクラブは50周年も終わっている古いクラブで「女性を入会させない、女性は頑なに絶対入ってはいけない」と言う会員が居て、その方が居なくなならない限り「うちのクラブには女性が入会出来ないのかな」と言っておられました。

そのクラブにはNHKの支局長も会員で居りまして次の支局長に女性の方が転勤で来られるような噂があった時には臨時の理事会まで開いて入会させるかどうかの話し合いがあったそうですが結局、女性方は転勤して来なかったらしく「良かったね」ということでしたが、私的にはそこでもし女性の支局長が来ていたらどうなっていたかを知りたかったですね。

女性が入会することでクラブが活性化すると捉えてくれたら大変嬉しですけども、そのことがクラブにとってマイナスになってしまうと非常に不幸になってしまいますので、どんなことがそのクラブにとってマイナスなのかいろいろあるからこそ女性を入会させないのかなと思っております。

そこでうちのクラブですが女性が6人というのは、決して多いとは思っておりません。クラブ会員数は32名位で推移していて、一時期は40人を超えた時にはクラブ資金も潤沢でやりたい事も自由に出来ましたが会員数がだんだん減って来て

30名位になると資金的にも難しくなって来て、うちのクラブは親睦に非常に力を入れておりまして、「桜を見る会」ですとか「納涼例会」には分区の方々をお招きし、家族も呼んだ行事を非常に多く行う為、お金を沢山使うので、その資金を調達するためにも会員数を高い位置で維持していきたいと思っている中、ここに来てチャーターメンバーの方のご高齢でのご病気やお亡くなりになった方などの事情とかで会員数が減って来ておりまして、会員増強を次年度からやろうと言っておりますが次年度では遅いので前倒しでやりましょうと言うことで、4月になってから2回程会員増強委員会を10人位で開いて、誰か知り合いとか居ないか挙げて貰ったら、何人かの候補者がおりまして、その場で電話を掛けてアポを取ったりして、3人ほど方の入会がトントンと決まりまして、そのあと、「あと一人、もう一人」と言っておりますが、その後2人の方が入会見込み者として挙がって、うまく行けば、次年度には入会してくれると思いますのでこれをキッカケにして、増やしていこうかなと思っております。

そこで今回掲げられている30代の方ですが、30代の方は入れるのは、「チョット大変だよ」と言う話でどうゆう方をどのように声を掛けるかと言う中でやはりターゲットになったのが商工会議所の青年部になりまして「現役の会員でも引っ張って来て入れちゃおう」と言う話になったところで会費の事でうちのクラブは会費が28万円です青年部の会費が6万円ですので「両方を払うのに30代の方は大変じゃないか」と言う事で、ずっと入会して頂ける条件なら少し下げてもと言う話等がありました。

そこで会員増強は永遠のテーマだと私は思っており、30代の女性を考えた時に結婚、出産、家族等の問題とかが非常に大きく申し掛ってくるのかなと思いますので「その点をクラブがどのようにカバーするかどうか乗り越えて行く事が出来るのか」と言う事を女性会員として、これから会員、女性、30代を増やすにあたってクラブ全体で話し合っていく問題と感じております。

ただ、30代の女性がもし入会してくれたら「非常にクラブとしては盛り上がるし、嬉しいし、かわいいし」と言う事で例会場に来る楽しみが出来るのかなと思います。

そこで女性と言う事で考えてみると、女性同士の結束はやはり必要かなと思います。先程のお話の中で同じ分区いるのに知らなかったのですが「女性会員交流会」があると言う事で是非、うちのクラブの女性6名を引き連れ、参加して女性のネットワークを作って、意見交換等が出来たら良いと思いました。

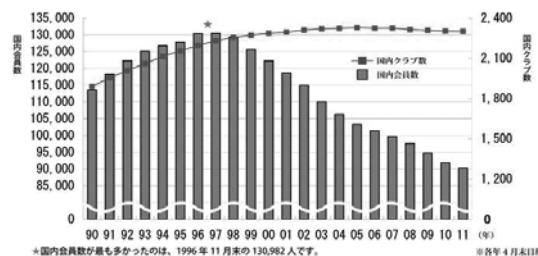
国際ロータリー第2790地区
地区研修・協議会



会員増強・退会防止委員会

会員拡大は永遠のテーマ

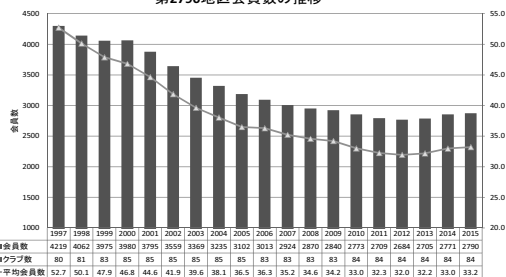
日本のロータリアン
2017年1月末〔89,335人〕



私たちの第2790地区は！
2,829人〔女性会員181人〕



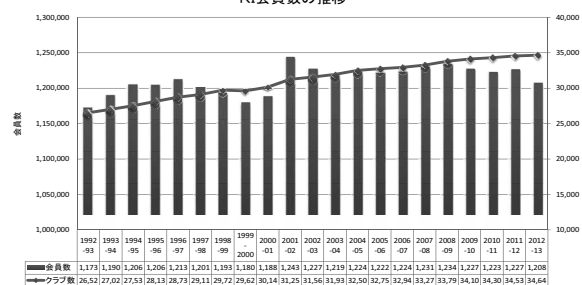
第2790地区会員数の推移



バランスと年齢構成
女性会員の拡大・30代の会員増強



R1会員数の推移



2016年度、地域別
男性会員と女性会員の割合



地 域	男性会員(%)	女性会員(%)
世界平均	81 %	19 %
日 本	95 %	5 %
中央・東南アジア	58 %	42 %
韓 国	85 %	15 %
イ ン ド	82 %	18 %
フィリピン	69 %	31 %

フェローシップ交流会
エド山口氏〔基調講演〕



刀剣部会
日本刀を吟味する寺嶋ガバナーエレクト



第2790地区
二輪車の会〔第1回館山ツーリング〕



次年度、会員増強の推奨



- 各クラブに対し、年度を通じて会員数の純増。
- 1人あるいは10%純増のいずれか多い方を目標とする。
- 女性会員の増強。
- 女性会員の割合を5%引き上げる。

委員会の方向性の確認



- 新規の会員を増やす。〔1人&10%純増〕
- 女性会員の増強。〔全会員数の女性割合5%増〕
- 会員の退会を防止する。〔特に3年未満や長期欠席者〕
- ロータリークラブを広く世間に知らしめる。
〔広報公共イメージ委員会・フェロシップ委員会との連携〕

会員増強・退会防止セミナー
ご案内



- 月 日 ; 2017年8月26日(土)
 - 時 間 ; 14:00~17:00
 - 場 所 ; カンデオホテル〔千葉市〕
 - 対象者 ; 各クラブ会員増強・退会防止
委員長並びに会長・幹事
- ※詳細は、年度初め7月にご案内

会員増強・退会防止委員会



- 目 標
- 2790地区 83クラブ全体
- 約300名の会員拡大
- ご清聴ありがとうございました。

広報・公共イメージ向上委員会

管理運営統括部会 広報・公共イメージ向上委員会

委員長 高橋 竜一

【次 第】

1. 委員長挨拶 (3分) 高橋 竜一 委員長
2. 地区ホームページ・FACEBOOK の紹介 (3分) 高橋 竜一 委員長
3. ホームページ作成支援内容の説明 (5分) 大塚 義仁 副委員長
4. ブランドリソースセンターの紹介 (3分) 高橋 竜一 委員長
5. ロータリーショーケースの紹介 (3分) 高橋 竜一 委員長
6. 広報事例紹介[浦安ロータリークラブ](5分) 大塚 義仁 副委員長

※本日のパワーポイント資料は後ほどダウンロードできるようにします。

1. 委員長 挨拶

高橋竜一

当委員会の役割は、地区内外のクラブや会員へ様々な情報の伝達およびロータリアンでない方へロータリーとはどのような活動をしているのかを伝えつつ、ロータリーのイメージブランドを作り上げていくことを地区として支援していくことであると考えます。

特に後者に対して「公共イメージと認知度の向上」は国際ロータリー（R I）戦略計画の優先項目の1つに挙げられております。

次年度は各クラブや各地区委員会との連携を図り、奉仕プロジェクト活動報告や事前スケジュールを当委員会が情報収集し、タイムリーな情報を地区ホームページ等を利用して発信していきます。地区や他クラブの活動状況、スケジュールを知ることにより各クラブの活動の一助になればと思います。

ただ、私たちは広報するためにロータリーをやっているわけではなく、何でもかんでも広報すればよいかと言えばそれは違うと思います。

何かロータリー活動したといっても、私たちが

どんな気持ちで活動したか、どのようなロータリーの心を持って行動したかが大事なのだと思いますし、

活動した内容が、ロータリーの活動として誇りを持って広報をするに値するかどうかを考えて頂きたいと思います。これはブランドイメージにもつながることだと思いますし、実際の活動実態の伴わない広報は返って逆効果にもなりえると考えます。

活動計画：

- 1) 現在ホームページを持っていないクラブがホームページを開設する計画がある場合は助言と支援を行います。

寺嶋 GE の方針におきまして、各クラブがホームページを持つことを推奨されております。ただ、HP を作るかどうかはクラブの方針によりますので、その計画がある場合に、要請があればご支援を行います。今年度の大塚委員長がある程度の道筋を立てて下さっておりますので、本日そのご支援内容をご説明いたします。

- 2) 地区ホームページに各クラブの基本情報（年度に依存しない情報：例会場、例会日、事務局所在地）を掲載した静的ページを作成します。

たとえ各クラブがホームページが無くてもWEBで検索したときに基本情報にたどり着けるように地区ホームページに静的なページを作成します。

- 3) 各クラブの行事予定、活動報告の情報収集をし、地区ホームページやFacebook、メーリングリスト等でお知らせします。

- 4) MyRotary の中にあるブランドリソースセンター、ロータリーショーケースの紹介、および浦安ロータリークラブさんで行われた活動の広報事例を本日ご紹介致します。

以上

2017-2018年 Rotary 国際ロータリー第2790地区 管理運営委員会 広報・公共イメージ向上委員会

委員長 高橋 竜一(松戸東ロータリークラブ)
副委員長 大塚 義仁(浦安ロータリークラブ)
委員 長嶋 利忠(千葉緑ロータリークラブ)
委員 藤本 俊哉(千葉東ロータリークラブ)
委員 渡邊 圭介(新千葉ロータリークラブ)

1

次 第

1. 委員長挨拶(3分)
2. 地区ホームページ・FACEBOOKの紹介(3分)
3. ホームページ作成支援内容の説明(5分)
4. ブランドリソースセンターの紹介(3分)
5. ロータリーショーケースの紹介(3分)
6. 広報事例紹介[浦安ロータリークラブ](5分)

※本日のパワーポイント資料は後ほどダウンロードできるようにします。

2

広報・公共イメージ向上委員会

- 地区内外のクラブや会員へ様々な情報の伝達
 - ロータリアンでない方へロータリーとはどのような活動をしているのかを伝える
 - ロータリーのイメージブランドを作り上げていくことを地区として支援
- 「公共イメージと認知度の向上」は国際ロータリー(RI)戦略計画の優先項目の1つ

3

活動計画

1. 現在ホームページを持っていないクラブがホームページを開設する計画がある場合は助言と支援を行う。
2. 地区ホームページに各クラブの基本情報(年度に依存しない情報:例会場、例会日、事務局所在地)を掲載した静的ページを作成する。
3. 各クラブの行事予定、活動報告の情報収集をし、地区ホームページやFacebook、メーリングリスト等でお知らせする。
4. 奉仕プロジェクト活動の広報の仕方、メディアに取り上げられた例などを挙げて各クラブにお知らせする。
MyRotaryの中にあるブランドリソースセンター、ロータリーショーケースの紹介。[地区研修・協議会]

4



5

2. 地区ホームページ・FACEBOOKの紹介

高橋竜一

地区ホームページ・Rotary FACEBOOKの紹介

2017-2018年
国際ロータリー第2790地区
広報・公共イメージ委員会



6

クラブ活動予定

地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定
地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定
地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定
地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定
地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定
地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定
地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定
地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定
地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定
地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定	地区内クラブ活動予定

Rotary

クラブ活動予定の入力

2016-2017 Governor
Aki Saito
Rotary International
District 2790

2016-2017年 登録ページメニュー

- 月報報告
- 記念事業・行事・活動予定
- 国際大会
- 日本人親善委員会
- 地区大会

Rotary

8

クラブ活動状況

2017年03月14日
第3分区分A親睦ボウリング大会
親睦ボウリング大会

2017年03月14日(日)

国際ロータリー第2790地区
第3分区分A
親睦ボウリング大会
Special Edition

2017年03月14日(日)

国際ロータリー第2790地区
第3分区分A
親睦ボウリング大会
Special Edition

Rotary

9

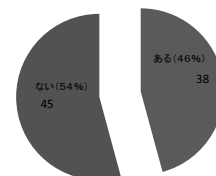
クラブ活動状況

- 記事と写真をガバナー事務所までお送りください。
- 17-18gov@rid2790.jp

Rotary

10

地区内クラブのホームページ所有率



ホームページのあるクラブの中で、更新がされていないと思われる数: 8

Rotary

11



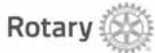
３．ホームページ作成支援内容の説明

大塚義仁

RID2790 クラブHP制作について



広報・公共イメージ向上委員会
副委員長 大塚 義仁(浦安ロータリークラブ)



1. HP関係費用見込み

- ・ HP開設費用…約3万～5万円
- ・ 毎年の経費 …1万円/年

※経費内訳

- ①ドメインの取得 (業者はお名前.comを推奨)
.jpドメイン⇒2840円/年(税抜)
- ②サーバー契約 (さくらインターネットを推奨)
初期費用1500+月額500円=年間7500円(税抜)

2. ホームページ導入時掲載内容検討資料

地区委員会推奨項目	必要な物	備考	更新頻度	データ有無	掲載可否
HPのトップページ	写真	・データサイズ(1226 x 445pic) ※上1/3はグラデーションで見えづらいので注意。			
①ロータリーとは	原稿	・ロータリー公式文章を採録			
②会長挨拶	原稿・写真	・年度方針を利用			
③組織図	原稿	・年度計画冊子内容の体裁整える程度			
④メンバー紹介	メンバー表、リ ンク	・個人情報の照会からも掲載を検討 ・掲載時はメンバー会員の同意が必要			
⑤クラブ概要	原稿				
⑥クラブの歴史	原稿	・周年冊子より採録			
⑦バーナーの由来	原稿・写真	・過去のバーナー紹介を掲載			
⑧例会案内	原稿・ 写真・地図	・例会日、例会会場紹介 ・プログラムの掲載を含め内容を検討			
⑨例会プログラム	原稿				
⑩会報	会報PDF	・PDFダウンロード表示を検討 ・更新頻度と担当者の決定			
⑪活動報告	原稿・写真	・掲載した方が活気が出るが担当委員負担も考慮 ・活動をおこなった委員会が掲載する仕組みも検討			
⑫入会案内	原稿				
⑬リンク	原稿	地区HPリンク部を参照?			





4. ブランドリソースセンターの紹介

高橋 竜一

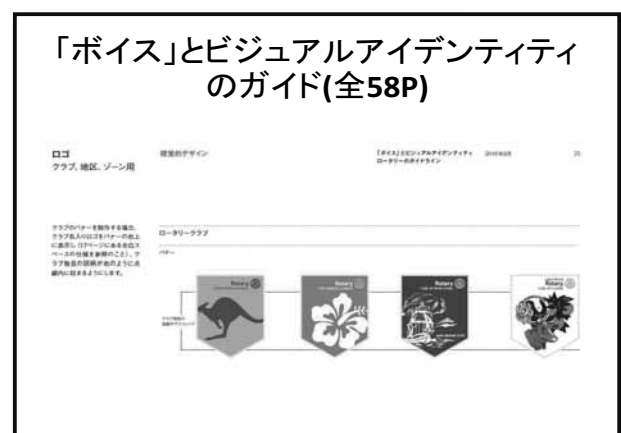
国際ロータリー第2790地区
2017-2018年
広報・公共イメージ向上委員会

ブランドリソースセンター

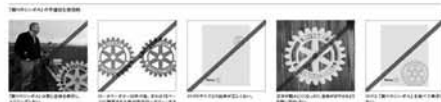
- 統一的なデザインについてのガイド
⇒「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイド
- クラブでつくるパンフレットやプレゼンテーションなどの印刷資料やデジタルコミュニケーションに新デザインを適用するための新しいツールが用意されている
- 画像・動画が用意されている(画像にはコピーライトを入れる必要がある)

ロータリーの「ボイス」とは

- ロータリーを全く知らない人にロータリーを理解して頂く時、次の4つのキーワードを使ってストーリーで語ろう、というもの。
 - ・賢明さ
 - ・思いやり
 - ・粘り強さ
 - ・行動を促す力



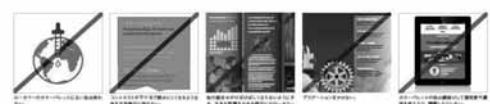
ロゴと「旗のシンボル」 不適切な使用例	建築デザイン	「ゼニス」のロゴと旗のデザインをミックス カラーの旗のデザイン	2019年4月
------------------------	--------	------------------------------------	---------

[illegible]

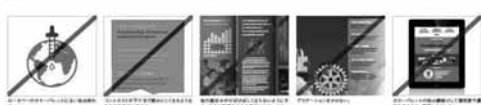
カラーバリエーション	建築のデザイン	『建築』2014年10月号増刊号「建築のデザイン」より （表紙・表紙裏・表紙裏裏表紙）	2014年10月	22
------------	---------	--	----------	----



カラーバレット 使用例	建築設計デザイン	『デザイン』と『グラフィックデザイン』の 統一カラーの使い方ガイド	2014年9月	20
----------------	----------	--------------------------------------	---------	----



カラーバリエーション	標準色5デザイン	「オールド」と「ジュニア」の2タイプと、 「オーナリー」の専用デザイン	2014年3月	20
------------	----------	--	---------	----



タイポグラフィ 和文フォント	横書きデザイン	「タイロ」を「タイロ」に変換する ローマ字変換機能	2019年10月	30
-------------------	---------	------------------------------	----------	----

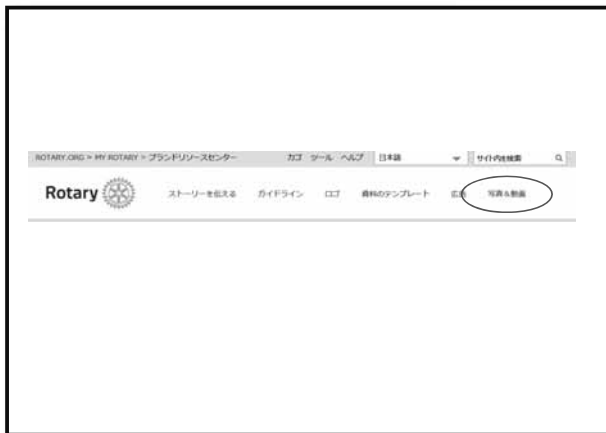


「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイド(全58P)



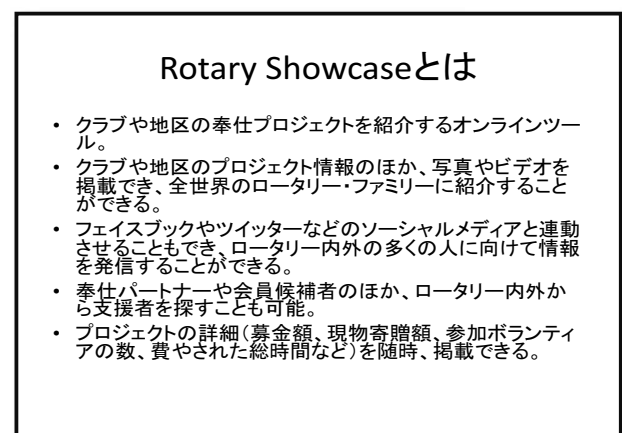
「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイド(全58P)





5. ロータリーショーケースの紹介

高橋竜一





プロジェクトの登録の仕方



既に登録されているか確認



クラブ・セントラルとの連動

- クラブ・セントラルで掲載したプロジェクトの一覧から[共有]ボタンを押せば、ショーケースでも掲載される
- 一覧が表示されない場合は新しく「プロジェクト追加」ボタンを押して登録する
- ただし、クラブ会長など権限のある人のみ追加が可能⇒クラブ会長にクラブセントラルを通して新プロジェクトの登録を依頼

プロジェクトが既に掲載されていますか

- ほかのオンラインシステムに掲載されているプロジェクトを「ショーケース」で紹介したい場合は「共有」をクリックしてください
- 既に掲載されているプロジェクトの情報を修正するには「編集」をクリックしてください
- 新しいプロジェクトを追加する場合、ページにある「プロジェクトを追加」をクリックしてください



チェックや担当者
など追加をする



写真をアップロード

ボランティア活動に費やした期間	ボランティアの人数	寄付金額	寄附物価目
5 時間	40 人	5200 USD	- USD

フェイスブックで共有しますか？

自費アクセスのアカウントとつなげることで、あなたのプロジェクトをフェイスブックで共有し、ロータリーの活動を多くの人々に紹介することが出来ます。

盲導犬普及支援プロジェクト

英語での表示(自動翻訳)

Guide dog spread support project

Not to just two horses only production in Matsudo city, not increasing in popularity of guide dogs. Therefore, at the same time and this club to the educational activities for street guide dogs spread below, will hold a charity event for the guide dog dissemination.

Contents: ceremony, experience and guide dog demonstration by Foundation Animals Association walking, free distribution of pork soup, fundraising (Warner-bettors junior high school brass band playing had been planned, was cancelled because of the rain.)

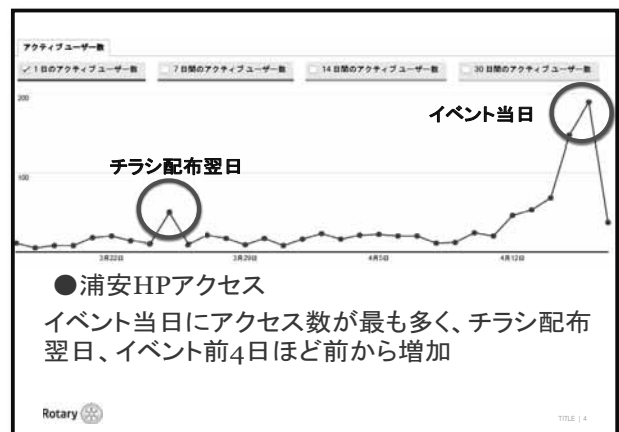
Mika applied to	Japan
Implementation date	Start: 2014/7/1 End: 2015/6/8 ✓ This project was completed.
Project category of	Feng Shui society, raised gold Activities
Tune up funds	Rotary Grants
Contact person for the project	Ryuzaki Takaguchi, Matsudo East Takeshi Onizuka, Matsudo East

6. 広報事例紹介〔浦安ロータリークラブ〕

大塚義仁



2. 広報活動			
大項目	中項目	対象	その他
印刷物	チラシ	全般	市内全小中学校、保育園、幼稚園71か所 21500名に配布。制作部数25000部
	ポスター	全般	市内全小中学校、保育園、幼稚園71か所、会員事務所等。制作部数200部
	広報 浦安	高齢者向	浦安市制作のコミュニティ・ペーパー、コンビニや希望者配布
	浦安新聞	子育て家庭向け	民間企業制作のコミュニティ・ペーパー、全世帯配布
	うらやす情報	子育て家庭向け	民間企業制作のコミュニティ・ペーパー
インターネット	HP掲載	全般	浦安RC HPに詳細内容を掲載
	浦安に住みたい！Web	子育て家庭向け	若い子育て世代のアクセスが高い、掲載料無料の情報サイト
	会員SNS	全般	会員の家族からの発信を目的として実施。例：FBやLINEにて、息子夫婦から友人に情報拡散
TV	JCOM	全般	



フェローシップ委員会の活動方針

管理運営統括部会 地区フェローシップ委員会

委員長 藤崎 泰裕（千葉西 RC）

次年度 地区フェローシップ委員会 委員長を
拝命いたしました千葉西ロータリークラブの藤崎
泰裕です

ロータリーにおける親睦とは

親睦と奉仕は、ロータリーの二本の柱といわれています。しかし、ロータリーは敢えて親睦と奉仕の解釈を、世間一般の人たちが考える解釈と異なる次元に置いています。この二つはロータリー独自の概念であり、これを正しく理解しない限り、ロータリー思想の原理に触れることは難しいと言われています。Fellowshipを「親睦」と訳したことにも問題があるのかも知れません。むしろ、「連帯感」とか「協調」と訳す方が理解し易いでしょう。「親睦」とはロータリークラブが、クラブとして存続していく上で欠かすことの出来ない必要条件となる、ロータリアン個人個人の心が結合した状態を表す概念なのです。言い換えれば、“Fellowship”はロータリーの引力とも言えます。

“入りて学び、出でて奉仕せよ”

ロータリー運動の実体を、見事に表した言葉として、「入りて学び、出でて奉仕せよ」“Enter to learn, Go forth to serve”という言葉があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一連の活動のことを「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです。

親睦活動 (Fellowship Activities)

ロータリークラブの会員の中に、親睦と親睦活動を混同する人が多いようです。親睦会やゴルフ会に参加することは親睦活動に参加することであって、親睦とは違った次元のものであることを

理解すべきでしょう。

親睦活動がクラブ奉仕の充分条件の範囲内で、親睦というロータリー本来の運動を高めるために補助的に活動することは大切なことです。しかし、親睦活動委員の任務を、親睦会の幹事や同好会の世話役に留めることは大きな誤りです。確かに会員が心を打ち解けあう手段の一つとして、親睦会やクラブ活動などのレクリエーションも必要です。しかし、親睦を深める最適の場所は、定例的に開催される例会であることを忘れてはなりません。例会において、いかに友情を深めるかを考え実行することと、いかにして真の親睦が保たれるような環境を整備することが最大の任務なのです。

新入会員には親睦委員会に所属していただくクラブが多いと思います。これは、新人だから下働きに使おうということではなく、親睦委員として毎例会、会員相互の親睦を深める活動に従事することによって、一日でも早く、古い会員と融和を図ることを期待しているからです。友情溢れる例会を通じて、ロータリアンがお互いに切磋琢磨し、自己改善に努めることで、ロータリーの説く親睦が一層深まり、奉仕の心が高まっていくことと思います。

当委員会では、地区内でロータリー親睦活動とロータリークラブとの連絡を促進し、親睦活動に参加する恩典を広めていきたいと思っております。どうぞ、一年間よろしくお願い申し上げます。



国際ロータリー第2790地区 2017-18年度フェローシップ委員会 地区内クラブアンケート調査報告



ロータリー：
変化をもたらす

■ 貴分区ならびに貴クラブのロータリー親睦活動（趣味の会）についてお教えてください
また 他のロータリアンやロータリーファミリーの参加可否についてもお願いいたします

●君津ロータリークラブ	4月	グランドゴルフ	登録料 / 回答なし	会員以外の参加 / 回答なし
	9月位	ゴルフ	登録料 / 回答なし	会員以外の参加 / 回答なし
●勝浦ロータリークラブ	10月	親睦旅行	登録料 / 10,000円	会員以外の参加 / 不可
	11月頃	利き面会	登録料 / 4,000円	会員以外の参加 / 不可
	12月	クリスマス	登録料 / 回答なし	会員以外の参加 / 可
	4月	たけの子会	登録料 / 4,000円	会員以外の参加 / 不可
●八日市場ロータリークラブ	6月	家族会	登録料 / 回答なし	会員以外の参加 / 可
	年4回	ゴルフ	登録料 / 10,000円	会員以外の参加 / 不可
●柏ロータリークラブ	8月	納涼家族例会	登録料 / 5,000円~10,000円	会員以外の参加 / 可
	1月	新年家族例会	登録料 / 5,000円~10,000円	会員以外の参加 / 可
●柏南ロータリークラブ	8月	納涼例会	登録料 / 3,000円	会員以外の参加 / 可
	4月	観桜例会	登録料 / 3,000円	会員以外の参加 / 可
●松戸中央ロータリークラブ	年3~4回	ゴルフ同好会（例会）	登録料 / 回答なし	会員以外の参加 / 不可
	年2回	ボウリング同好会（例会）	登録料 / 回答なし	会員以外の参加 / 不可

■ 地区もしくは分区に このようなロータリー親睦活動（趣味の会）があったらと思うものをご記入ください

●浦安ロータリークラブ	ゴルフ（ゴルフレッスン・ラウンドレッスンなど） 頒布会（自慢の品等を持ち寄る）
●千葉緑ロータリークラブ	ボウリング
●君津ロータリークラブ	釣り
●鴨川ロータリークラブ	フットサル
●柏西ロータリークラブ	グルメ（食べ歩きや名店深訪）

■ 現在当地区内で 野球リーグ・二輪走友会・女性会員交流会が活動していますがご存知ですか？

●野球リーグ	知っている5人	知らない4人
●二輪走友会	知っている6人	知らない3人
●女性会員交流会	知っている4人	知らない6人

■ 当地区のロータリー親睦活動（趣味の会）で参加してみたい団体はありますか？

- 野球リーグ 参加している 1 人 参加してみたい 1 人
- 二輪走友会 参加している 0 人 参加してみたい 0 人
- 女性会員交流会 参加している 1 人 参加してみたい 2 人

■ 国際ロータリーに登録されているロータリー親睦活動（趣味の会）をご存知でしたか？

また 参加してみたいですか？

- 知っていた 4 人 知らなかった 5 人
- 参加してみたい 2 人 参加したくない 3 人 どちらともいえない 2 人

■ 日本国内にロータリー親睦活動（趣味の会）をご存知でしたか？

また 参加して見たいですか？

- 知っていた 3 人 知らなかった 7 人
- 参加してみたい 4 人 参加したくない 3 人 どちらともいえない 2 人

■ フェローシップ委員会へのご意見ご要望がありましたらご記入ください

- 地区大会において 例年以上に「趣味の会」の発表をお願いします
- 幅広い親睦活動があることで 参加してみたいと思う選択技が増えると思なので もっと様々なジャンルがあるとよいと思う
私自身まだロータリーの知識や活動内容等を把握しきれていないので 積極的に関わり多くの方と親睦を図れたらと思う
会員増強の点からも 30 代（若者）向けの親睦活動が必要だと感じた

短時間の内にご回答をいただきました 10 クラブの皆さまには深く感謝申し上げます

地区フェローシップ委員会一同一年間努力いたしますので ご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます

ロータリー親睦活動

ロータリー親睦活動グループとは？

- 共通の趣味、関心事項、スポーツ、職業を持つロータリー会員の集まりです。
- 自分と同じ職業を持つ人々との交流を通じて、職業能力を向上させます。
- 世界中で新しい友人をつくり、奉仕の機会を探求することで、ロータリーでの経験をさらに充実したものとします。

ロータリー親睦活動グループのしくみ

- 各グループは、国際ロータリーとは独立して運営され、独自の規定、会費、管理体制を持ちます。
- ロータリアン行動グループのメンバーとなれるのは、ロータリアンとその家族、および、国際ロータリーまたはロータリー財団のプログラムの参加者／元参加者です。
- 国際的なグループとするため、少なくとも3カ国からメンバーが集まっていなければなりません。

ロータリー親睦活動グループ参加のメリット

親睦活動グループは…

- クラブ、地区、国を越えた末永い友情を築く機会を提供します。
- 世界理解と平和の推進に貢献します。
- 新しい会員を集めたり、現会員がロータリーで活動が続ける理由となります。



リーダーのネットワークへ www.rotary.org/fellowships

ロータリー親睦活動グループ

関心のあるグループが見つかったら、グループのウェブサイトを訪れて、担当者に連絡してみましょう。

4WD 車	http://rotary4x4.org.za	ラテン文化	http://www.rotarioslatinos.org/
アマチュア無線	www.ifroar.org	弁護士	www.rotarianlawyersfellowship.org
アンティーク自動車	www.achafr.eu	手品	www.rotarianmagician.org
作家と著者	www.linkedin.com/grp/home?gid=4860168	マグナグラエシア	www.fellowshipmagnagraecia.org
ビール	www.rotarybrew.org	マラソン	www.rotarianrun.org
バードウォッチング	www.ifbr.org	バイク	www.ifmr.org
カヌー	http://sites.google.com/site/canoeingrotarians	音楽	www.ifrm.org
キャラバン式旅行	www.rotarianscaravanning.org.uk	希少古本	www.rotaryoldbooks.org
チェス	www3.sympatico.ca/brian.clark	バストガバナー	www.pdgsfellowship.org
コンピューター	http://www.icufr.org/	写真	www.facebook.com/groups/IFRP1/
料理	www.rotariangourmet.com	警察	www.polepfr.org
大会参加者	www.conventiongoers.org	コロンブス到来以前の文明	jaime.jimenez.castro@gmail.com
企業の社会的責任 (CSR)	gaetano.papa4@virgilio.it	キルト・織物手芸	www.rotariansquilt.org
クリケット	www.rotarycricket.org	鉄道	www.ifrr.info
クルージング	www.facebook.com/groups/cruisingrotariansfellowship/	キャンピングカー	www.rvfrinternational.com/home.html
カーリング	www.curlingrotarians.com	ロータリー歴史	www.rghfhome.org
サイクリング	www.cycling2serve.org	ロータリー伝統	www.rhhif.org
医師	www.rotariandoctors.org	ビジネス	www.rotarymeansbusiness.com
人形	www.rotarydlf.org	ロータリー襟ピン	www.facebook.com/RotaryonPinsFellowship
E クラブ	http://rotarianseclubfellowship.org/	ロータリーの切手	www.rotaryonstamps.org
編集・出版	www.facebook.com/groups/IFREP/	ボート (ローイング)	http://www.iforr.org
教育者	www.rotarianeducators.org	スカウト	www.ifsr-net.org
環境	www.envirotarians.org	スキューバダイビング	www.ifrsd.org
エスペラント語	http://radesperanto.monsite-orange.fr/index.html	射撃スポーツ	www.shootingsportrotarians.org
釣り	www.facebook.com/groups/InternationalFellowshipofFishingRotarians/	シングルス	www.rsinternational.net
飛行	www.iffr.org	スキー	www.isfrski.org
碁	www.gpfr.jp	ソーシャルネットワーク	www.rosnf.net
ゴルフ	www.igfr-international.com	テニス	www.itfr.org
住まい交換	www.rotarianhomeexchange.com	品質管理	www.rotarytqm.it
名誉領事	kappenberger@gmail.com	旅行と歓待	www.ithf.org
乗馬	franz.gillieron@highspeed.ch	健康とフィットネス	kappenberger@gmail.com
インターネット	www.roti.org	ワイン	www.rotarywine.net
インターネット	https://www.linkedin.com/groups/6528431/profile	ヨット	www.iyfr.net
倫理に関する	consulsergiolevy@gmail.com	卓球愛好家	www.facebook.com/Table-Tennis-Fellowship-of-Rotarians-1130180430367736/
ジャズ	www.rotaryjazz.com	チェッカーゲ	boyebade@hotmail.com
ウィスキー	www.whiskeydram.org	ボーリング	http://www.rotariansbowling.org/
退役軍人	http://rotarianveterans.org/	系図学者	https://www.facebook.com/RIfellowship
ロシア文化	Germany.eckstein.artur@googlemail.com		

新しいグループを結成するには？

自分が関心を持つ趣味や職業の親睦活動グループが上のリストに存在しない場合は、新しいグループの結成方法について RI の担当職員にご連絡ください (Eメール: rotaryfellowships@rotary.org)。グループはすべて、RI 理事会の承認を受ける必要があります。

リソース

- ロータリー親睦活動グループ名簿 www.rotary.org/myrotary/en/document/885

お問い合わせ

rotaryfellowships@rotary.org

JA—(114)

■ 国際ロータリーに登録されているロータリー親睦活動（趣味の会）73 団体

- | | | |
|----------------|---------------|------------------|
| ・4WD 車 | ・エスペラント語 | ・キルト・織物手芸 |
| ・アマチュア無線 | ・釣り | ・鉄道 |
| ・アンティーク自動車 | ・飛行 | ・キャンピングカー |
| ・作家と著者 | ・婦人科医 | ・ロータリー史 |
| ・ビール | ・囲碁 | ・ロータリーの伝統 |
| ・バードウォッチング | ・ゴルフ | ・ビジネス |
| ・ボーリング | ・住まい交換 | ・ロータリーの切手 |
| ・カヌー | ・名誉領事 | ・ボート（ローイング） |
| ・キャラバン式旅行 | ・乗馬 | ・ロシア文化 |
| ・チェス | ・インターネット | ・スカウト |
| ・コンピューター | ・イタリア文化 | ・スキューバダイビング |
| ・料理 | ・ジャズ | ・シューティングスポーツ |
| ・企業の社会的責任（CSR） | ・ラテン文化 | ・シングルス |
| ・大会参加者 | ・弁護士 | ・スキー |
| ・クリケット | ・手品 | ・ソーシャルネットワーク |
| ・クルージング | ・マグナグラエシア | ・卓球 |
| ・カーリング | ・マラソン | ・テニス |
| ・サイクリング | ・退役軍人 | ・品質管理 |
| ・人形愛好家 | ・バイク | ・旅行、ホストとしてのおもてなし |
| ・チェッカー | ・音楽 | ・健康とフィットネス |
| ・医療関係者 | ・希少古本 | ・ウィスキー |
| ・E クラブ | ・パストガバナー | ・ワイン |
| ・編集・出版 | ・写真 | ・ヨット |
| ・教育者 | ・警察 | |
| ・環境 | ・コロンブス到来以前の文明 | |

■ 日本国内にあるロータリー親睦活動（趣味の会）

- ・ロータリーの歴史と伝統の会
RRHIF(Rotary History & Heritage International Fellowship)
連絡先：札幌南RC
〒060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル5F
TEL.011-231-1297 FAX.011-222-2744

- ・ゴルフ
JGFR(Japan Golf Fellowships Rotarians)
連絡先：東京新南RC(斉藤茂之)
〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-5-2 東放学園内
TEL.03-3378-7661 FAX.03-3378-7671

- ・スキー
ISFR(International Ski Fellowships Rotary)
連絡先：札幌RC(植田英隆)
〒060-0039 札幌市東区北9条東2丁目 (株)りんゆう観光内
TEL.011-742-4233 FAX.011-731-1456

・ジョギング

I R F F R (International Running & Fitness Fellowships Rotary)

連絡先：広島西RC

〒730-0011 広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

TEL.082-221-4894 FAX.082-221-4870

・アマチュア無線

ROAR-Japan

連絡先：東京新南RC(斉藤茂之)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-5-2 東放学園内

TEL.03-3378-7661 FAX.03-3378-7671

・ヨット

I Y F R (International Yachting Fellowship of Rotarians)

連絡先：第2680地区ガバナー事務所

〒650-0042 神戸市中央区波止場町2-1 ホテルオークラ神戸706号

TEL.078-392-2680 FAX.078-392-8181

・飛行

J R A S (Japan Rotarian Aviation Society)

連絡先：御坊RC(古久保恭一)

〒644-0002 和歌山県御坊市藺377

TEL.0738-22-6955 FAX.0738-22-6957 E-mail: ja3cht@jarl.com

・バードウォッチング

I F B R - J a p a n (International Fellowship of Birdwatching Rotarians Japan)

連絡先：横浜港南台RC(袖山英明)

〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町598ユーモアハットクラブ

TEL.045-862-3856 FAX.045-871-3104

・全日本RC野球

連絡先：全国RC野球大会事務局

〒523-8585 近江八幡市鷹飼町1481 ホテルニューオウミB1F びわ湖八幡RC

TEL.0748-32-7600 FAX.0748-32-7601

・全日本RC合唱

連絡先：京都西北RC

〒616-8385 京都市右京区嵯峨天竜寺芒ノ馬場町12 ホテル嵐亭内

TEL.075-871-2846 FAX.075-881-0031

・釣り

I F F R (International Fishing Fellowships Rotary)

*千葉に支部を置くよう努力中！

・旅行

I T H F (International Travel & Hosting Fellowships)

- ・全日本RC社交ダンス

- ・ロータリーの切手

Directors 2016-2018:

Emmanuel Serriere, PO Box 66, Inverness, CA 94937 USA

Kenichi Hamana, A-817, 2-7-33, Shinjuku, Chuou-Ku, Chiba 260-0021, Japan

<http://www.rotaryonstamps.org/ros-officers/>

- ・ロータリー囲碁同好会

連絡先：国際ロータリー第 2580 地区ガバナー事務所内

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館 1 階

TEL.03-3538-0211 FAX.03-3538-0212

<http://www.gpfr.jp/>

国際ロータリー第 2790 地区 2017-18 年度 フェローシップ委員会 委員長 藤崎泰裕 検索
(国際ロータリー日本事務局では情報を把握していません)

■ 国際ロータリー第 2790 地区にあるロータリー親睦活動（趣味の会）

- ・国際ロータリー第 2790 地区野球リーグ

連絡先：国際ロータリー第 2790 地区野球リーグ事務局 太田真理子

浦安ロータリークラブ事務局内

携帯 .090-3061-0666

TEL.047-399-1693 FAX.047-395-1000

規約有

登録人数約 190 人（毎年選手名簿発行）

約 25 年継続

- ・二輪走友会（RMCC2790）

連絡先：増谷信一 柏西ロータリークラブ

携帯 .090-3202-9879

TEL.04-7166-0638 FAX.04-7166-9398

規約有

登録人数約 33 人（会員名簿有）

約 2 年継続

- ・女性会員交流会

連絡先：山内尚美 柏ロータリークラブ

携帯 .090-3344-9303

TEL.04-7134-8544 FAX.04-7133-6332

規約？

登録人数約 18 人（会員名簿有）

約 1 年継続

研究・研修部会



◆研究・研修統括委員会

リーダー代行	次期・ロータリー研修副委員長	海寶 勘一
サブリーダー	次期・理念研究委員長	松田 泰長
サブリーダー	次期・R L I 推進委員長	金子 公久
アドバイザー	パストガバナー	土屋 亮平
アドバイザー	パストガバナー	山田 修平

2017-2018 年度研究・研修統括委員会	統括委員長	関口 徳雄	(浦安 RC)
理念研究委員会	委員長	松田 泰長	(成田 RC)
	副委員長	土屋 俊夫	(成田空港 RC)
	委員	山本 衛	(松戸西 RC)
	委員	深堀 信之	(成田 RC)
	委員	関口 徳雄	(浦安 RC)
ロータリー研修委員会	副委員長	海寶 勘一	(千葉西 RC)
	委員	宮内 龍雄	(銚子 RC)
	委員	大貫 明彦	(市川東 RC)
	委員	渡邊 勲	(館山 RC)
	委員	金子 公久	(成田コスモポリタン RC)
R L I 推進委員会	副委員長	今野 文明	(千葉西 RC)
	委員	齊藤三智夫	(成田 RC)
	委員	清田 浩義	(千葉 RC)
	委員	藤崎 一成	(銚子東 RC)

アドバイザー挨拶

土屋 亮平 PG (松戸RC)

ガバナーが終わって 30 年にもなり古い知識です。

理念研究という高尚なテーマで勉強をして頂くわけですが、山田パストガバナーは新進気鋭で専門的なこともご存知です。また研修リーダーは関口パストガバナーが担当です。

私が余計なことを申し上げて混乱してもいけませんので、この辺で御挨拶を終わらせていただきます。

アドバイザー挨拶

山田 修平 PG (木更津東RC)

山田でございます。どうぞ宜しくお願い致します。

ただ今、土屋パストガバナーが大変謙虚にお話をされましたが、松戸 RC では毎月一回、例会終了後、研修を行っています。皆さんがロータリークラブに入会された時は例会には必ず出席するように指導されたはずですが、徐々に薄れてきて今や出席率が落ちているのではないのでしょうか？本日出席された皆さんはクラブを立て直そうと決心をして頂きたいと思います。

私はいつも研修の重要性を訴えております。規定審議会で規定が緩和されている面はありますが、そうかといってクラブをいい加減に運営していいという訳ではありません。皆さんのクラブで物事をしっかり決めて運営していこうという趣旨だと思っています。

今の手続要覧は黄色いページだけになってしまいました。白いページはほんの僅かです。その組織規定を是非ともマスターして頂きたいのです。みなさんは既に会長を経験されておられるでしょうが、クラブ会長はクラブにおける定款細則を熟知していなければならないという条項があるので。その皆さんが今度は研修を実施する立場として先頭に立って活躍して頂きたいのです。その為には皆さん自身がロータリーのことを研究してそれをクラブの皆さんに伝えて頂きたいと思います。

午前中に関口パストガバナーが「日本のロータリーはガラパゴス化している」と言っておられましたが、そういうことにならない為にも、みなさんがクラブのリーダーとして頑張っていただきたいと思います。

統括部会委員長挨拶

関口 徳雄 (浦安RC)

地区研修委員会・理念研究委員会及び R L I 推進委員会を統括する委員会の委員長を委嘱されました。

寺嶋ガバナーエレクト（以下「GE」と略称）は櫻木年度に存在した理念研究委員会を復活させ、ロータリーの標榜する職業倫理と奉仕の理念を再考する機会とし、ロータリアンとしての誇りを涵養できるようにしたいとのことです。

研修委員会は、副委員長の高橋会員の協力を得ながら実施します。

我が地区の研修委員会は歴史が浅く（2015～16年に設置）、以前は研修委員会イコール研修リーダーでした。そのため、地区研修リーダー及びサブリーダーの位置付けとの絡みで、活動内容が若干不明確であったような気がします。

寺嶋年度の地区研修委員会は、ガバナー、GE がクラブと地区の指導者に研修を行い、地区の研修計画全般を監督する上で、これを支援する責務を負うものだとします。

従って、三大セミナーは、全て GE の責任において主催し、GE の指示監督の下に計画実施されるものとし、研修委員会は GE の要請があれば企画運営に参加協力し、GE を支援するものとします。

理念研究委員会については、GE が申すようにロータリーの核となる職業倫理・奉仕の理念、そしてロータリー哲学を勉強する機会を設け、一般の会員（特に経験の浅い会員）を啓蒙したいと考えております。

R L I 推進委員会としましては、私が地区の代表委員でもありますので、従来どおり支援し、地区ロータリアンの知識を啓発し、将来の指導者養成につなげたいと思っています。

地区研修・協議会 研究・研修統括部会 理念研究委員会活動方針発表

委員長 松田 泰長（成田RC）

地区研修・協議会 研究・研修統括部会 理念研究委員会活動方針発表

理念研究委員長 松田 泰長

2013年からObject of Rotaryの邦訳が「定款」から「ロータリーの目的」に変更になったことは皆さんご承知のところですが、それに伴い主文のThe Ideal of Serviceが「奉仕の理想を鼓吹し」から「奉仕の理念を推奨し」に変更になっています。また、手続要覧に於いても全ての表現が理念という表現になっています。

新しい手続要覧は既に目を通されていると思いますが、2013年度版と比べたとき白いページが極端に薄くなっています。この白いページは「方針や手続の説明」であり、皆さんが何か解らないことに直面した時の手引き書の役目をしてきました。130ページ程あったものが9ページになってしまいました。

この薄くなってしまったページには何が記されているのか、それは「基本理念」です。

ロータリーの理念は、決議23-34でService above selfとOne profits most who serves bestがあります、前者は人道主義に基づいたボランティア活動、社会奉仕と国際奉仕の奉仕活動の考えに、後者は利益の適正配分によって事業を繁栄させ職業倫理を大切にす職業奉仕の考えとして伝え継がれてきました。

最近のロータリーの方向性が変わってきたと耳にします、2015年10月のRI理事会でロータリアンの行動規範第5項目目が削除され、2016年からグローバルリワードプログラムがスタートしました。変えてはならないところまでが変わってきた感があります。110年前のまだ未成熟だった互恵団体に戻ってしまった感さえあります。

そして、運用については大幅にクラブに委ねられました、先輩方から引き継ぎ次の世代への引き渡しをしていかなければなりません。

理念研究委員会は、「ロータリーの理念」を解りやすく呈示する新しい方法を委員全員で検討中です。

また、統括委員会の枠の下3委員会は常に連携しながらロータリー理念に基づき行動します。

今年度同様に各分区毎の情報研修会へはRLI推進委員会と共に研修委員会をバックアップし、RLIセッションへは研修委員会と共にファシリテータースタッフとして参加をしていきます。

日本にロータリーが上陸して100年となります。この3委員会がいろいろな形でクラブとの接触を行うことで、これから次の100年がロータリーらしく続くことを目的（理念）として皆さんと共に進んで行きたいと思っています。

1 基本理念 (GUIDING PRINCIPLES)

職業人が一体となり、スキルと情熱をもって地域社会に変化をもたらしてきたロータリーの100年以上の実績は、世界中のロータリアンの誇りを高めてきた。ロータリークラブと地区は、ロータリーの使命を遂行し、ロータリーが受け継いできた職業人精神と奉仕の歴史を理解するために、ロータリーのガバナンス（組織統治）に関する資料に加え、ロータリーの基本理念と価値声明に精通すべきである。以下は、ロータリアンおよびロータリークラブがロータリーへの関与と参加の意欲を高めるために用いる、価値声明と理念である。これに加え、ロータリーウェブサイトの組織規程のページから、補足となるリソースガイドをダウンロードできる。このガイドは、その他のリソースおよび参考資料を提示している。

社会奉仕に関する1923年の声明（1923 STATEMENT ON COMMUNITY SERVICE）

次の声明は1923年国際大会で採択され、以後の国際大会で改正されたものである。これは、その歴史的価値から手続要覧に含まれている（ロータ

リー章典 (8, 040, 2.)。

ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである。

この奉仕の理念の適用を実行することについては、多くのクラブが会員による奉仕にその機会を与えるものとして、さまざまな社会奉仕活動を進めてきている。以下に掲げる諸原則は、ロータリアンおよびロータリークラブの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すものとして適切であり、また管理に役立つものであることを認め、これを採用するものである。

1) ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

2) 本来ロータリークラブは、事業およびその専門職務に携わる人の代表として、ロータリーの奉仕の哲学を受け入れ、次の四つのことを実行することを目指している人々の集まりである。

まず第1に、奉仕の理論が職業および人生における成功と幸福の真の基礎であることを団体で学ぶこと。第2に、自分たちのあいだにおいても、また地域社会に対しても、その実例を団体で示すこと、第3に、各人が個人としてこの理論をそれぞれの職業および日常生活において実践に移すこと。そして第4に、個人として、また団体としても大いにこの教えを説き、その実例を示すことによって、ロータリアンだけでなく、ロータリアン以外のすべての人々が、理論的にも実践的にも、これを受け入れるように励ますことである。

3) RI は次の目的のために存在する団体である。

- a) ロータリーの奉仕の理念の擁護、育成および全世界への普及。
- b) ロータリークラブの設立、激励、援助および運営の管理。
- c) 一種の情報交換所として、各クラブの問題を研究し、また、強制でなく有益な助言を与えることによって各クラブの運営方法の標準化を図り、社会奉仕活動についても、既に広く多くのクラブによってその価値が実証されており、RI 定款に掲げられているロータリーの目的の趣旨にかない、これを乱すような恐れのない社会奉仕活動に

よってのみ、その標準化を図ること。

- 4) 奉仕するものは行動しなければならない。従って、ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表されなければならない。そこで、ロータリークラブの団体行動は次のような条件の下に行うように勧められている。いずれのロータリークラブも、毎年度、何か一つの主だった社会奉仕活動を、それになるべく毎年度異なっていて、できればその会計年度内に完了できるようなものを、後援することが望ましい。この奉仕活動は、地域社会が本当に必要としているものに基づいたものであり、かつ、クラブ会員の一致した協力を必要とするものでなければならない。これは、クラブ会員の地域社会における個々の奉仕奨励するためにクラブが継続的に実施しているプログラムとは別に行われるべきものとする。
- 5) 各ロータリークラブは、クラブとして関心があり、またその地域社会に適した社会奉仕活動を自主的に選ぶことについて絶対的な権利をもっている。しかし、いかなるクラブもロータリーの目的を無視したり、ロータリークラブ結成の本来の目的を危うくするような社会奉仕活動を行ってはならない。そしてRI は、一般的な奉仕活動を研究し、標準化し、推進し、これに関する有益な示唆を与えることはあっても、どんなクラブのどんな社会奉仕活動にせよ、それを命じたり禁じたりすることは絶対にしてはならないものとする。
- 6) 個々のロータリークラブの社会奉仕活動の選択を律する規定は別に設けられていないが、これに関する指針として以下の準則が推奨されている。
 - a) ロータリーの会員の数には限りがあるので、ロータリークラブは、市民団体の積極的な支援なくしては成功しえないような広範囲の社会奉仕活動には、他に地域社会に全体のために発言し、行動する適切な市民団体などの存在しない土地の場合に限り、これを行なうこととすべきであり、商工会議所のある土地では、ロータリークラブはその仕事の邪魔をしたり、横取りをしたりすることのないようにしなければならない。しかし、ロータリアンとしては、奉仕を誓い、その理念の教えを受けた個人として、その土地の商工会議所の会員となって活動すべきであり、また、その土地の市民として、他の善良な市民と一緒に、広くすべての社会奉仕活動に関与し、その能力の許す限り、

金銭や仕事の上でその分を果たすべきである。

- b) 一般的に言って、ロータリークラブは、どんな立派な事業であっても、クラブがその遂行に対する責任の全部または一部を負う用意と意思のない限り、その応援をしてはならない。
- c) ロータリークラブが奉仕活動を選ぶ場合に宣伝をその主たる目標としてはならないが、ロータリーの影響力を拡大する一つの方法として、クラブが立派に遂行した有益な事業については正しい広報が行われるべきである。
- d) ロータリークラブは、仕事の重複を避けるようにする必要がある、総じて、他に機関があり、それによって既に立派に行われている事業に乗り出すようなことをしてはならない。
- e) ロータリークラブの奉仕活動は、なるべく現存の機関に協力する形で行うことが望ましいが、現存機関の設備や能力が目的の遂行に不十分である場合には、必要に応じ、新たに機関を設けることにしても差し支えない。ロータリークラブとしては、新たに重複した機関をつくるよりも、現存の機関を活用することのほうが望ましい。
- f) ロータリークラブはそのすべての活動において、宣伝者として優れた働きをし、多大の成功を収めている。ロータリークラブは地域社会に存在する問題を見つけ出すことはしても、それがその地域社会全体の責任にかかわるものである場合には、単独でそれに手を下すようなことはしないで、他の人々にその解決の必要性を悟らせる努力をし、地域社会全体にその責任を自覚させて、この仕事がロータリーだけの責任にならないで、本来その責任のある地域社会全体の仕事になるようにしている。また、ロータリーは、事業を始めたり、指導したりするが、一方、当然それに関心をもっていると考えられるほかのすべての団体の協力を得るように努力すべきであり、そして、当然ロータリークラブに帰すべき功績であっても、それに対する自分のほうの力を最小限度に評価して、そのすべてを協力者の手柄にするようにしなければならない。
- g) クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広くすべてのロータリアンの個々の力を動員するものの方がロータリーの精神によりかなっていると言える。それは、ロータリークラブでの

社会奉仕活動は、ロータリークラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてみこれを見るべきであるからである（ロータリー章典 8.040.1、23-34、26-6、36-15、51- 9、66-49）。

社会奉仕に関する声明（STATEMENT ON COMMUNITY SERVICE）

1992年規定審議会は、社会奉仕に関する次の声明を採択した。

ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである。

この奉仕の理念の適用を実行するについては、各ロータリークラブが多彩な社会奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動の輝かしい機会を与えてきた。ロータリアンの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すために、その原則は次のようにまとめられる。

社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。

この精神に立脚して、各クラブに対し次のように勧奨する。

- 1) 地域社会における奉仕の機会を定期的に調査し、各クラブ会員に地域のニーズを検証させること。
- 2) 社会奉仕プロジェクトを実施するに当たっては、会員の得意とする職業上の能力や趣味の力を生かすこと。
- 3) どのようにささやかであっても、あらゆる社会奉仕活動が重要であると認識した上で、地域のニーズを汲み、地域内のクラブの立場や力量を考慮してプロジェクトを始めること。
- 4) 各種社会奉仕活動を秩序立てるために、ロータリークラブが提唱するインタークトクラブ、ロータリー地域社会共同隊、そのほかのグループと緊密に協力すること。
- 5) 国際レベルのロータリープログラムと活動を通じて社会奉仕プロジェクトを強化する機会を確認すること。
- 6) 社会奉仕プロジェクトの実行に当たっては、望ましく、また、実現可能な限り、必要とされる資金や人材の提供までも含めて、地域社会に参加を求めること。
- 7) 社会奉仕の目標を達成するために、R Iの方針

に沿ってほかの団体と協力すること。

- 8) 社会奉仕プロジェクトが一般社会の人々に十分認められるようにすること。
- 9) 社会奉仕活動においてほかの団体の共同参加を推進する触媒としての役割を果たすこと。
- 10) もしそれが適当であるならば、公共組織、奉仕団体、そのほかの諸団体に、継続中のプロジェクトを委譲すること。そうすれば、ロータリークラブは新プロジェクトに携わることが可能となる。

R I は、ロータリークラブの連合体として、社会奉仕のニーズや活動を伝え、広め、かつロータリーの目的を推奨し、参加を望むロータリアンやロータリークラブ、地域の力を結集すれば役立つと思われるプログラムやプロジェクトを適宜、提案する責務を負っている (92-286)。

(2016年 手続要覧)

研究・研修統括部会 ロータリー研修委員会活動方針発表

ロータリー研修副委員長 海寶 勘一

「研修の場を通してロータリアンの高潔さを身につけよう」

寺嶋哲生ガバナー年度の「地区ロータリー研修委員会」ですが、委員長の関口徳雄パストガバナーが地区研修リーダーと地区研究・研修統括委員長並びに、ロータリー研修委員長の重責を兼務しているために、副委員長である私が特命を受けてロータリー研修委員会活動を専任することになりました。

次年度の委員会活動指針ですが、各クラブの研修リーダー皆様と密になって情報交流を図り、共同研修の場を構築させます。併せて各分区が開催する「ロータリー情報研修会」の企画と運営を実践いたします。そのためにはクラブ研修リーダーの皆様が主体になって頂くことは勿論ですが、地区理念研究委員会及び地区RLI推進委員会と協調し、三位一体の活動が必然になります。ロータリーの研修とはただ知識や情報を求めるのではなく、ロータリー理念をしっかりと解釈し、思いやり深い人間性豊かなロータリー精神の気概を磨き上げることであり、常に謙虚な平常心をもち切磋琢磨することが大切になります。まさしく例会や地区委員会行事は人生修行を心掛ける道場であり、高潔なロータリアンを育成できる尊い研修の場です。

今年地区ロータリー研修委員会が各分区で活動した、「ロータリー情報研修会」の成果と反響が大きくあり、ロータリーの基本理念や基本情報を学び合えるロータリー情報研修会を、継続開催してほしいとの強い要望がありました。今年度の開催価値をしっかりと受けとめた寺嶋哲生ガバナーエレクトは、引き続き分区単位で「ロータリー情報研修会」を開催するように、強く次年度ガバナー補佐の皆さんに推奨されました。私達地区ロータリー研修委員会としましては、各分区ガバナー補佐さんのご理解とご協力を仰ぎながら、開催する為に企画運営の準備を始めているところです。

地区ロータリー研修委員会としては、ほとんどの分区ガバナー補佐の皆さんが、ロータリー研修委員会に企画運営を任せてくれたことを重く受けとめ、

その責任の大きさを強く感じ取っているところで。寺嶋年度は各クラブの研修委員長さんや研修リーダーの皆さんと手を取り合って、一緒にロータリー情報研修会活動ができることを主眼に提案をさせていただきます。

クラブの研修に携わっていく次年度クラブ研修リーダーや委員長の皆様と地区委員会が一体になって、真のロータリアンを心掛ける学びができるように、お互いが自己研鑽できることを願っております。ロータリー研修からは必然的にクラブの活性や強化に役立つ活動効果が期待できます。まずは会員一人一人の意識向上を念頭に入れて、企画や活動を目指していきますが、ロータリアンの基本的特徴である中核的価値観を常に高く意識できるようにしたいものです。品格あるロータリアンとして、より一層社会のために貢献できるためにも、自己修練に励むことはとても有意義であると、中核的価値観の重要性を唱えていきます。

毎回の例会を通して意識を高めていける素晴らしいロータリーライフに気づいてもらうためにも、クラブ研修リーダーや研修委員長とご一緒に学び合う喜びを味わってみたいものです。知識を深める以上に人間性を高めるロータリー研修からの成果として、精神的な成長ができることの充足感を享受できるように願っています。

各分区ガバナー補佐さんが誠心誠意準備される、「ロータリー情報研修会」の尊い学びの場を通してロータリアンの高潔さを身につけるためにも、各クラブの研修リーダーや研修委員長さんの深いご理解とご協力を一層強くお願い申し上げ、皆様のご活躍を期待しております。

分区ごとに開催の「ロータリー情報研修会」日程案

分区順

敬称略

	分区	分区ガバナー補佐 (所属クラブ)	分区単位情報研究会 開催希望日程案	開催時間	開催会場 備考
1	第 1	増田 定男 (市川)	2017年9月30日(土)	14時～17時	
2	第 2	国分 裕二 (船橋みなと)	2017年9月19日(火)		(ロータリー財団関係)
3	第 3 A	宮本 和夫 (幕張)	2017年9月15日(金)		東京ベイ幕張 (本田克己氏講演会)
4	第 3 B	小池 清二 (市原)	2017年9月13日(水)		
5	第 4	内田 稔 (木更津東)	2017年10月28日(土)		
6	第 5	西川 佳璋 (勝浦)	2017年11月25日(土)		
7	第 6	志田 延子 (茂原中央)	2017年10月17日(火)		茂原市民室
8	第 7	中村 亮太 (旭)	2017年11月19日(日)		旭商工会館
9	第 8	高岡 正人 (小見川)	2017年10月21日(土)		(自主開催)
10	第 9	諸岡 靖彦 (成田)	2017年11月18日(土)		成田ビューホテル
11	第 10	大内 啓 (柏南)	2017年9月19日(火)		
12	第 11	杉山 芳夫 (習志野)	2017年11月11日(土)		
13	第 12	安蒜 俊雄 (松戸東)	2017年10月20日(金)		
14	第 13	山崎 巖 (野田東)	2017年10月21日(土)	13時30分～	野田商工会議所

2017 年 4 月 15 日現在

研究・研修統括部会 RLI 推進委員会活動方針発表

RLI 推進委員長 金子 公久

◎委員会活動計画

- ・ R L I プログラム基本活動（パートⅠ～Ⅲ・卒業コース・ファシリテーター養成講座）
- ・ ファシリテーター・ブラッシュアップ研修会の定期的な開催
- ・ R L I 支援体制の確立と組織の固定化促進
- ・ 研究・研修統括委員会の3委員会相互協調を図り、ロータリー研修委員会の各分区分ごとのロータリー情報研修会の開催に協力

《本年度当委員会は寺嶋ガバナー、ガバナー補佐の皆様とクラブ研修リーダーの皆様方のご理解とご支援を受けながら、RLI 推進に努めます》

（1）RLI とは

ロータリークラブの潜在的なリーダーのためのリーダーシップ開発プログラムを実施する多地区の「草の根連合組織」です。The Rotary Leadership Institute の頭文字を並べて R L I と呼称します。

邦訳はロータリー・リーダーシップ研究会と表記します。RLI は小グループによるファシリテーション手法を用いた対話を通して、ロータリアンを引き込み、ロータリアン一人一人の自己啓発が指導力の向上と共にクラブを強化する目的で開発されたプログラムです。

（2）第 2790 地区 RLI 活動の経緯

2010 年当初に参加した地区内の先達たちは、全てに自費で東京や埼玉で開催していた RLI に参加していました。その時に得た昂ぶる感動を是非とも第 2790 地区内のロータリアンにも広めようと、草の根運動的な忍耐と努力の積み重ねが粛々とあって、今日の地区 RLI 委員会活動に結びつけることができている。寺嶋ガバナー年度では、地区委員会としての確実な継続活動ができる環境が整った年度になってきました。

（3）RLI の目的

RLI の理念に従ってリーダーシップの研修を通じて、ロータリーの活性化と発展を願い一人一人のロータリアンのロータリーへの理解とモチベーションを高め、リーダーシップを涵養することです。日本の全地域の参加によって、ロータリアンの自主性と卓越した指導力を涵養し、クラブの刷新と柔軟性を育み、一層ロータリーが活性化されることを期待しています。日本では 2008 年 6 月に導入されました。

現在、日本の 14 地区が参加し年々広まっており、世界では 369 地区が参加しています。

（4）RLI のプログラム

RLI は基本的な国際統一形式の各パート毎に 1 日に 6 セッションを 3 日の合計 18 カリキュラムからなっています。パートⅠは「私たちロータリアンが一人一人が学ぶべき課題」であり、パートⅡは「私たちのクラブがより効果的に成長できる課題」であり、パートⅢは「より幅広く奥深いロータリーの世界を学ぶ、私のロータリーの旅」として、セッションテーマが連携し、展開してゆきます。

このように各セッションが進む過程から次第に三つのステップアップ（螺旋的展開）の柱があります。

一つ目がリーダーシップ Leadership、二つ目が奉仕 Service、三つ目が会員組織強化 Membership です。セッションに参加する毎に気付けば、自己研鑽のスキルアップができ、様々な興味や情報が得られるようにスパイラルの内容が良く理解できるようにプログラムが組まれています。

（5）RLI の効果

少人数対話による意見交流が参加した仲間の意識向上と自身の研鑽を深め、ロータリーの素晴らしさに惚れ直すことができます。自主的に参加する者同士がお互いを理解し切磋琢磨するなかでロータリー精神を身に付け成長させてくれます。参加し合った各クラブの方々と忌憚のない意見交流を通して、セッションテーマに基づき、様々な

考え方を謙虚になって話し合うことができます。また、同じセッション仲間からは対話の大切さを学び取ることができます。RLI 仲間との対話からロータリーの奥深さを知り、人を思いやり尊敬しあう価値を享受しながら、ロータリー精神や情報の勉強の場を構築することができ大変喜ばれています。殊の外、クラブ全体としてロータリアンの自主性と卓越した指導力を涵養しクラブの刷新性と柔軟性を育み、一層ロータリーが活性化されクラブ強化が図れる効果が派生します。

(6) ファシリテーター・ブラッシュアップ研修会の定期的な開催

RLI の要はスタッフのファシリテーション手法のスキルを磨く、自分磨きの定期的な研修が重要です。目的は、各セッションのどんな場面でも自信を持ってファシリテーションに臨めるようにスキルを磨くことです。参加者に一方的に教えることではなく、学ぼうとする意欲を手助けすること、すなわち学習を促進する進行役に重用することです。お互いが研修を通して人間性を高め合うことは、セッションごとのテーマのメッセージを伝える人間自身が、そのメッセージと同じくらい重要な役割を務めるスキル向上を目指します。RLI の成否は常にこの様なファシリテーターのスキルアップから醸成される寛容な心に影響されます。RLI に参加されるロータリアンに質の高いリーダーシップ研修の機会を提供するには、常にファシリテーターは自己研鑽の定期的な学び合いの場への参加が求められます。スキルアップ研鑽の積み重ねは、RLI の参加者が対話を通して学び取る自己研鑽への意欲の手助けに繋がり、RLI から得られる喜びや感動からの満足感を享受できる体験を醸成することがより一層高められる効果を促進します。

私たちは、常に謙虚になり、RLI の魅力を高めて行く研鑽を怠りません。

(7) RLI 支援体制の確立と組織の固定化促進

当地区の RLI は 8 年目を迎えます。これまで多くの先達や RLI を受講された多くのロータリアンの深いご理解と暖かいご支援をいただき、地区の環境も整い地区組織内の委員会として育ってきました。

さて、RLI は毎年同じ事業の繰り返しではと単純に思われます。しかし、RLI 運営の要はマンパワーの支援体制の確立です。実際にパートごとの開催は、ファシリテーターと本部運営に 50 名程のスタッフ確保、教室に個室 6 部屋と大部屋 1 部屋の会場予約や諸事準備を要し、同様に、受講者の RLI 修了履歴事務処理と情報管理にも労力を費

やします。現状は毎年 RLI 実行委員会組織を設けて支援を戴いていますが、寺嶋年度は RLI の支援体制の充実を図り、制度の確立が整うことを願うと共に、多くの経験を知恵に変える工夫が必要な多々課題があります。委員会は一つ一つ課題を解決し、RLI の充実に取組みます。即ち、支援体制の確立とは実は次世代に運営組織の事業継承が恙無く移行できる礎の充実です。今後の RLI が着実に地区に根ざし継続的な拡大につながります。その礎には、ファシリテーター養成講座を修了された方々の経験を是非、RLI で生かしてくださる支援をお願いする次第です。

(8) 第 2790 地区 R L I 開催日程のご案内

2017-2018 寺嶋ガバナー年度 R L I 開催日程

【登録費制度】

- ・パート I 2018年2月12日(月) 10時開講
千葉市民会館 3 階・4 階
- ・パート II 2018年3月26日(月) 10時開講
千葉市民会館 3 階・4 階
- ・パート III 2018年4月14日(土) 10時開講
千葉市民会館 3 階・4 階
- ・卒後コース 2018年5月頃 開催予定
- ・ファシリテーター養成講座
2018年6月頃 開催予定

《第2790地区区分ごと・クラブごとRLI参加者数状況》

14 分区	クラブ数 83RC	参加クラブ数 67RC	参加人数 259 名	ファシリテーター 75 名	2017/4/17
他地区		参加クラブ数 13RC	参加人数 18 名	ファシリテーター 3 名	現 在
地区内外総数		80RC	277 名	78 名	

2017/2/1 現在

第2790地区内修了者詳細内容				退会者6名他地区3名を含む	2790地区会員数 2,829名
パートⅠ修了者	240名	卒後コース修了者	102名		
パートⅡ修了者	210名	ファシリテーター養成講座修了者	84名		
パートⅢ修了者	162名				反映基本数字

第1分区	クラブ数 6RC	参加クラブ順&数 4RC	参加人数 8名	ファシリテーター 6名	会員数 193名
市川	1RC	2RC	5名	3名	38名
市川東	2RC	3RC	1名	1名	45名
市川南	3RC	1RC	1名	1名	19名
浦安	4RC	4RC	1名	1名	44名
市川シビック	5RC		0名	0名	35名
浦安ベイ	6RC		0名	0名	12名

第2分区	クラブ数 6RC	参加クラブ順&数 6RC	参加人数 14名	ファシリテーター 4名	会員数 169名
船橋	1RC	1RC	3名	1名	28名
船橋西	2RC	2RC	2名	0名	40名
鎌ヶ谷	3RC	3RC	2名	1名	32名
船橋東	4RC	4RC	2名	0名	32名
船橋南	5RC	5RC	4名	2名	16名
船橋みなと	6RC	6RC	1名	0名	21名

第3分区A	クラブ数 7RC	参加クラブ順&数 7RC	参加人数 34名	ファシリテーター 13名	会員数 317名
千葉	1RC	4RC	14名	7名	83名
新千葉	2RC	2RC	3名	2名	47名
千葉西	3RC	1RC	9名	3名	51名
千葉中央	4RC	7RC	1名	0名	34名
千葉幕張	5RC	3RC	2名	1名	37名
千葉東	6RC	6RC	2名	0名	34名
千葉若潮	7RC	5RC	3名	0名	31名

第3分区B	クラブ数 6RC	参加クラブ順&数 5RC	参加人数 28名	ファシリテーター 10名	会員数 221名
千葉南	1RC	5RC	6名	2名	51名
市原	2RC	1RC	10名	5名	40名
千葉港	3RC		0名	0名	24名
市原中央	4RC	3RC	7名	1名	50名
千葉北	5RC	2RC	4名	2名	28名
千葉緑	6RC	4RC	1名	0名	28名
第4分区	クラブ数 7RC	参加クラブ順&数 6RC	参加人数 16名	ファシリテーター 4名	会員数 216名
木更津	1RC	1RC	3名	1名	27名
上総	2RC	3RC	2名	1名	15名
富津					
富津中央	4RC	5RC	1名	0名	31名
木更津東	5RC	2RC	3名	1名	45名
君津	6RC	4RC	6名	1名	55名
袖ヶ浦	7RC		0名	0名	27名
富津シティ	8RC	7RC	1名	0名	16名
第5分区	クラブ数 6RC	参加クラブ順&数 3RC	参加人数 16名	ファシリテーター 2名	会員数 170名
館山	1RC	2RC	2名	1名	52名
鴨川	2RC	3RC	2名	0名	32名
勝浦	3RC	1RC	12名	1名	38名
千倉	4RC		0名	0名	10名
鋸南	5RC		0名	0名	14名
館山ベイ	6RC		0名	0名	24名
第6分区	クラブ数 9RC	参加クラブ順&数 7RC	参加人数 25名	ファシリテーター 6名	会員数 222名
茂原	1RC	2RC	10名	4名	64名
東金	2RC	7RC	1名	0名	17名
大原	3RC	3RC	3名	0名	9名
大多喜	4RC	4RC	1名	0名	6名
成田空港南	5RC	1RC	7名	2名	35名
茂原東	6RC	5RC	2名	0名	21名
茂原中央	7RC		0名	0名	20名
大網	8RC	6RC	1名	0名	30名
東金ビュー	9RC		0名	0名	20名

第7分区	クラブ数 4RC	参加クラブ順&数 3RC	参加人数 7名	ファシリテーター 3名	会員数 160名
銚子	1RC	1RC	4名	2名	41名
旭	2RC		0名	0名	44名
八日市場	3RC	3RC	1名	0名	41名
銚子東	4RC	2RC	2名	1名	34名
第8分区	クラブ数 4RC	参加クラブ順&数 3RC	参加人数 4名	ファシリテーター 1名	会員数 113名
佐原	1RC	1RC	2名	1名	50名
多古	2RC	2RC	1名	0名	15名
小見川	3RC		0名	0名	23名
佐原香取	4RC	3RC	1名	0名	25名
第9分区	クラブ数 6RC	参加クラブ順&数 5RC	参加人数 30名	ファシリテーター 12名	会員数 243名
成田	1RC	1RC	15名	8名	72名
八街	2RC	3RC	2名	1名	33名
印西	3RC	4RC	2名	0名	24名
白井	4RC	5RC	3名	0名	16名
富里	5RC		0名	0名	29名
成田コスモポリタン	6RC	2RC	8名	3名	69名
第10分区	クラブ数 5RC	参加クラブ順&数 4RC	参加人数 33名	ファシリテーター 7名	会員数 214名
柏	1RC	3RC	8名	1名	58名
我孫子	2RC		0名	0名	27名
柏西	3RC	2RC	9名	3名	62名
柏東	4RC	1RC	7名	2名	35名
柏南	5RC	4RC	9名	1名	32名
第11分区	クラブ数 7RC	参加クラブ順&数 5RC	参加人数 25名	ファシリテーター 4名	会員数 233名
習志野	1RC	5RC	1名	0名	26名
八千代	2RC	1RC	8名	1名	50名
佐倉	3RC		0名	0名	30名
八千代中央	4RC		0名	0名	28名
四街道	5RC	2RC	10名	1名	28名
習志野中央	6RC	3RC	3名	2名	50名
佐倉中央	7RC	4RC	3名	0名	21名

第12 分区	クラブ数 5RC	参加クラブ順&数 4RC	参加人数 13 名	ファシリテーター 2 名	会員数 213 名
松戸	1RC		0 名	0 名	57 名
松戸東	2RC	2RC	1 名	0 名	45 名
松戸北	3RC	1RC	4 名	0 名	38 名
松戸中央	4RC	4RC	4 名	0 名	44 名
松戸西	5RC	3RC	4 名	2 名	29 名
第13 分区	クラブ数 5RC	参加クラブ順&数 5RC	参加人数 6 名	ファシリテーター 1 名	会員数 145 名
野田	1RC	1RC	1 名	0 名	60 名
流山	2RC	2RC	2 名	1 名	15 名
野田東	3RC	5RC	1 名	0 名	22 名
流山中央	4RC	4RC	1 名	0 名	23 名
野田セントラル	5RC	3RC	1 名	0 名	25 名
他地区	クラブ数	参加クラブ数 13RC	参加人数 18 名	ファシリテーター 3 名	
2750 地区		6RC	7 名	3 名	
2580 地区		6RC	9 名		
2770 地区		1RC	1 名		

意見・情報交流会（質疑応答）

・総合司会 RLI推進委員会

副委員長 今野 文明

・理念研究委員会

委員長 松田 泰長

・ロータリー研修委員会

副委員長 海寶 勘一

・RLI推進委員会

委員長 金子 公久

・研究・研修統括部会アドバイザー

PG 土屋 亮平

・研究・研修統括部会アドバイザー

PG 山田 修平

司 会 今野 文明 RLI 推進副委員長

只今から意見・情報交流と云うことで、皆様からの活発な発言をいただきと思います。

委員会の活動方針に対して、質問やご意見のある方は、挙手をお願いいたします。

なお、発言の最初にお名前と所属クラブ名を名乗ってからお話しください。

◎ 理念研究委員会

質疑応答

Q 茂原 RC 山田 則彰 会員

決議 23-34 は既に決議としての効力を失っていると思うのですが、この点はどのようにお考えでしょうか？

A 松田理念研究委員長

決議 23-34 は何度も外されようとした歴史があります。しかし過去、日本の R I 理事の働きによって再度掲載されるようになりました。決議 23-34 は 1923 年の決議で古いものですがロータリーの基本だと考えています。

A PG山田アドバイザー

決議 23-34 は「決議」であって「組織規定」ではありません。定款・細則・標準ロータリークラブ定款、この 3 つを「組織規定」といいますが、この組織規定に違反した場合、R I はクラブを除名することもできます。

それに対して「決議」というものは、全世界のロータリアンが指針として掲げるものです。例えば地区大会における「R I 会長に感謝する件」などがありますが、決議は拘束力、強制力を持っていません。つまり、全世界のロータリアンが「指針としてまもろうではないか」と決めたのが決議 23-34 なのです。

Q 茂原 RC 山田 則彰 会員

なぜ決議 23-34 を外そうとする声が上がったのでしょうか？

A 松田理念研究委員長

日本と違ってアメリカは現実主義です。その文化の違いがこの動きにつながっていると思います。例えば、今までロータリーでは会員同士の特別な利益の提供を禁止していましたが、一昨年の R I の理事会によってその条文は消されました。このことによってロータリーの会員であることによって様々な割引、ポイント付与などが受けられるようになりました。このあたりが日本のロータリアンとの考え方の違いが現れていると思います。

アメリカでは「付度」という言葉が存在しません。これは文化の違いです。日本のロータリーがここまで発展してきた歴史を紐解けば、日本古来の道徳とロータリーの理念が合致して広まっていった面があります。日本古来の文化から比べたらアメリカのロータリーの理念は浅いと思います。ゆえに日本では大事とされている決議 23-34 を外すような動きが RI から出たのではないのでしょうか。

Q 習志野 RC 椎名 博信 会員

白いページでカットされた部分に関しては、否定されたと捉えるべきでしょうか？過去の手続要覧を見ても良いのでしょうか？

A 松田理念研究委員長

ロータリーの基本理念が分かっているならば、白いページが無くても間違った行動はしないと思います。この白いページを補完するものがロータリー章典です。

WEB サイト上にありますのでご参照ください。

A PG 山田アドバイザー

手続要覧の参考文献についてというところに注意事項という箇所があります。ここを要約すると「手続要覧として印刷物に残すが、R I の理事会は年に何回か開かれ、その度、決定事項が変更になることがある。よって印刷物として書いてあったとしても、常に最新のものが優先されるゆえ、そちらを基準にしてほしい」と言っているのです。

私共のクラブでは決議案として「手続要覧の白いページを復活させてほしい」と要望を出しておりますので、地区からその旨の通知が届いた時には、賛成の方に投票してほしいと思います。

◎ ロータリー研修委員会

— 質問者なし —

◎ RLI 推進委員会

質疑応答

Q 柏 RC 根本 孝英 会員

私は RLI に参加して有意義だと感じましたが、埼玉や東京など近隣の地区では辞めてしまったようです。その辺りの状況を教えてください。

A 金子 RLI 推進委員長

RLI 日本支部の HP をご参照ください。

日本全国の RLI の活動計画が掲載されております。近隣で開催されていなかったとしても日本全国どちらでも参加頂けます。次回も是非、ご参加ください。

日本人的な感覚では対話というよりも、あうんの呼吸で相手の胸中を慮るという物腰になっていますが、これに対し欧米では古代ギリシャやローマの時代からみんなで集まって意見交換をしながら自由を語るとか、或いは政治を語るなど積極的な対話が成される土壌がありました。人間は一人で生きていくことはできません。支え合って生きていかなければならないので、お互いを知ることが大切です。その為には語り合っていくことが必要です。そうすれば相手の思想や人間性が分かってきます。

ロータリーにおいても同じです。知らない人同士が集い対話をする、最初は垣根がありますが語り合っていく中に、自然と溶け合ってきて相手の人間性などがわかるようになります。

RLI は自己研鑽をしながらロータリーへの理解も深まる相乗効果があります。これは体験してみないとわかりません。是非、経験され肌で感じてください。

Q 八街 RC 原 弘行 会員

クラブの中で RLI への参加を呼びかけていますが、参加が難しい状況です。当地区 83 クラブのうち 16 クラブが参加しておらず、参加しないクラブはずっと参加しないのではないのでしょうか？日程や時間を半日にするなどやり方を考えなおすべきではないのでしょうか？

A 金子 RLI 推進委員長

日程に関しては様々なご意見を頂いておりますが、プログラムの関係上、7 つの部屋を一つの会場で確保しなければなりません。この条件に当てはめると使用できる施設は相当限定的になり、日程の自由が効かせにくい現状があります。ホテルで開催すれば日程的な自由は効く反面、費用の面で困難となります。

また、地区の行事にぶつからないように配慮しますと、この日程にならざるをえない状況です。皆様のご理解を賜りたいと思います。また「参加しないクラブはずっと参加しないのではないか」

というご質問ですが、周りのクラブでは既に参加された方もおられるでしょうし、その方々が「参加してよかった」と感じてくれれば、口コミも起こると思います。参加した方が満足をして頂けるように委員会としても努力して参りますので、ご理解とご協力をお願いします。

◎ 三委員会への総合質疑応

PG土屋アドバイザー

理念研究委員会、ロータリー研修委員会、RLI推進委員会、大変立派なお話で皆さん十二分に理解されたと思います。

ただ、一言申し上げますと、ロータリーの基本である友情や信頼というロータリーの根本原理が抜けているのではないのでしょうか？

私はロータリーの根本原理は、友情をもって四人の先達が集ったことの延長線上に私達の活動があると考えています。

友情をもって委員長さん方が語りかけていくなれば、みなさんがもっと共感をもって、参加してくれるのではないのでしょうか。そして委員長さん方が大変熱心にご活躍しておられるので、それに対して「誠」「誠実さ」に報いようということも必要ではないかと感じました。

それと決議 23-34 について、私は 10 年程前に解説した本を出しました。

決議 23-34 については、全体奉仕、個人奉仕という分け方をしているだけと捉えている人が多いように感じ、もう一度本文をよく読んでみました。すると決議 23-34 はロータリーを定義していることがわかりました。では、なぜこの決議 23-34 を消そうという案が出たのか？

それは 1988 年、時の R I 会長がポリオ撲滅の障害になっているとしてこの決議 23-34 を抹殺しようとして提案したのです。それに対して日本、韓国、台湾などアジア圏の人々が決議 23-34 の存続の運動をしました。その時に日本の RI 理事もだいぶ活躍しまして、最終的には決議 23-34 の前に「歴史的」という言葉を冠して存続させるという決議がなされました。その後タイのビチャイ・ラタクルさんという元 R I 会長が「歴史的」という文言が決議 23-34 を存続する上で障害になるとして削除するように提案しました。それで歴史的という標題は現在ではなくなりました。今回の規定審議会ではどうなるかと気にしていましたが、立派に残されました。2 ページにわたって存続できたこと「守るべきものは守った」と感じております。是非、正確に理解していただきたいと思います。

ロータリーは勉強をする会ではありません。各々

が自分の気持ちを浄化させる、そしてそれを社会に還元するというのが、ロータリーの使命です。今日参加された方々は自クラブに戻られましたら、会員の皆さんにこういう話をして頂ければクラブの活性化にもなりますし、また会員増強にもつながるのではないのでしょうか？

質疑応答

Q 成田 RC 石川 憲弘 会員

ロータリー情報研究会を今年度も R L I 形式でまた行うのでしょうか？

A 海寶ロータリー研修副委員長

分区のガバナー補佐の方々がどのようなお考えをお持ちなのかによっても、私達の出来るお手伝いは変わります。よって各ガバナー補佐にアンケートをお配りしてあります。その回答を見ながら具体的な活動を決めていきたいと思っています。当委員会としては、参加された方々が忌憚なく語りあうことが大事だと考えており、テーブルディスカッションの形式を取り入れて欲しいと思っております。その旨、各ガバナー補佐をお願いするつもりです。

先程、土屋パストガバナーより貴重なお話がありました。私達は人間としての生き方を含め、品格あるロータリアンを目指すべきである、ということを変更して研修会の場で確認しあいたいと考えております。

Q 千葉北 RC 石井 七郎 会員

私はクラブで研修リーダーをやっており若い会員を月一回集めて勉強会をやっておりますが、その中で自分が迷っていることは地区の組織図についてです。「なぜロータリーの根幹であるはずの職業奉仕が奉仕プロジェクトの中に入っているのか、これはおかしいように感じる」と会員から聞かれると返答に窮してしまいます。どうしたらいいのでしょうか？

A PG山田アドバイザー

昔の手続要覧には「推奨ロータリークラブ細則」というものがありました。ポール・ハリスがロータリーを創設したころには委員会というものは無かったようですが、その後、五つの奉仕部門に対して委員会を作ろうではないか、ということになりました。よって推奨ロータリークラブ細則では五大奉仕の組織構成になっています。ただ、これはあくまで推奨であってクラブは必ずしもこれに従わなければならない訳ではありません。クラブ独自で決めていいのです。その中、皆さんのクラブの人数が少なくなってきた、運営するのが大変だろうということで CLP が打ち出されたのです。

CLP を導入するということは、委員会構成を

変えることだけではないのです。

C L Pの根本はクラブの3年、5年、10年という長期計画、戦略計画の策定です。会長が変わる度に目標が変わるのではなくて、クラブが5年後、10年後の目標を定めてそれに向けて戦略計画を立ていくのがC L Pです。そこには継続性が求められるようになります。ですから、石井さんの質問に答えますと「皆さんで話合って皆さんのクラブに合った新しいクラブ細則を作ってほしい」ということになります。

当地区の理念研究委員会、ロータリー研修委員会、R L I 推進委員会には素晴らしいメンバーが揃っていますので、例会に呼んで卓話をしてもらってはいかがでしょうか。現在、千葉北クラブと松戸クラブでは月一回、研修をやっていると伺っていますが素晴らしいことです。研修も会員増強もR Iの為ではありません。皆さんのクラブの発展のためです。会員増強と研修、これらは極めて大事だと思います。

Q 茂原 RC 山田 則彰 会員

日本ではロータリーの根幹は職業奉仕だと言われておりますが、世界では職業奉仕はあくまで五大奉仕のうちの一つに過ぎない、と位置づけられております。この点はどうお考えでしょうか？

A PG山田アドバイザー

午前中に関口パストガバナーがロータリーの友の1月号に掲載されていた、本田さんの「職業奉仕はロータリーの根幹か？」という論文を取り上げておられましたがこれを読むとなるほど思います。

私自身は職業奉仕がロータリーの根幹だとは思っていません。五大奉仕の中の一つだと考えております。ただし、これはあくまで私のロータリー観であって、職業奉仕が根幹であるという考えを否定する訳ではありません。ロータリー観は人それぞれであっていいのです。本田さんは全世界のロータリーでは職業奉仕が根幹だとは思われていない、その中で日本だけがガラバゴス化しているのではないか、と論じているのです。

A PG土屋アドバイザー

ロータリーには「綱領」があります。今は「目的」と言われておりますが、綱領という言葉には深遠なる意味が込められているので、あえて綱領と呼ばせて頂きますが「ロータリーの綱領」の中には「有益なる事業の基礎として奉仕の理想を適用する」と規定されております。と、いうことはロータリーの基本は奉仕の理想を適用することにあるということです。これは相手に対して思いやりの心をもつことです。ロータリアンは職業に従事する姿勢として相手に思いやりの心をもって尽くしなさい、

ということです。これがロータリーの目的です。

ロータリーには職業奉仕の他に、クラブ奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕、の部門がありますが、私は「有益なる事業の基礎として」と謳われるロータリーの綱領が変わらない限りには、ご自分の糧を得る職業奉仕こそが最も大切だと思います。自分の職業を世の中のために活かそう、と考えるのがロータリーの原点です。

職業奉仕というのは決して理論的なこと、精神的なことを言っている訳ではありません。実践しなければいけません。実践して社会に認められたかどうかは皆さん自身の職業の成果を見ればわかります。成果が良ければそれは社会から認められたということ。すなわち、自分の職業奉仕の考え方が間違っていなかったということです。

これはあくまで私の意見であって山田パストガバナーの意見に反対している訳ではありません。

Q 多古 RC 萩原 承平 会員

世の人々からロータリーをボランティア団体と言われることがあります。私は「奉仕団体です。ロータリーでは職業奉仕という考え方を持った団体です」と答えております。ところがRIはロータリーをボランティア団体と言っており、違和感があります。どうしたらいいのでしょうか？

A 松田理念研究委員長

日本と世界では文化の違いがあり、その差がロータリー観にも映し出されているように思います。私達は自信をもって奉仕団体と名乗っていきたいと思います。

A PG土屋アドバイザー

私の考え方を述べます。強制はしません。

ロータリーをボランティア団体と捉える人もいるだろうし、職業奉仕の団体を捉える人もいます。ロータリーは100人いれば100通りの答えがあってもよいと思います。ロータリーは学問ではありません。自分の主張だけを相手にぶつけるのではなく、違う意見の人を容認して受け入れることもロータリーの実践ではないでしょうか。私は自分の主張を誇示することはないし、押し付けることもしません。

ロータリーの友の6ページにロータリーとは？という小論文があります。これが非常に含蓄ある良い文章です。これを読めばロータリーの良さ、あるべき姿、ロータリーの未来像も見えてくると思います。

A PG山田アドバイザー

RIの記事を見ますと背広を着ている姿よりも、ジャンパーを来て活動しているような写真が多くなっています。これはなぜかという、アメリカ

ではロータリーに入会することの動機の第一位が「ロータリーに入って奉仕活動をしたい」となっています。日本とは違う風潮です。

今、土屋パストガバナーが言われたとおり、ロータリー観はそれぞれで良い、様々な解釈があって良いのです。ただ、組織規定だけは決まっているものであって違う解釈があってははいけません。

Q 八千代 RC 小村 昌三 会員

40年程前に青年会議所からロータリーに入会しました。その後、数年間、ロータリーはどんな団体なんだろう？という疑問を持ちながら活動しました。そのあたりをわかりやすくご説明いただけますか？

A PG山田アドバイザー

次年度のRI会長は「ロータリー変化をもたらす」をテーマに掲げられていますが、今までも皆さんの小さなことの積み重ねでポリオは撲滅の寸前まで来ています。これはロータリーが世界に変化をもたらして来た証拠です。これからもロータリーが起爆剤となってよりよい世界にしていきたいと思っています。

Q 八街 RC 原 弘行 会員

広報公共イメージ委員会の説明に困るのですが、どのように説明したら良いのでしょうか？

A PG山田アドバイザー

ロータリーは素晴らしいことをしているのに世間の人にはあまり知られておりません。ロータリーとはどんな団体かと問われた時に答えられるようにするために広報をする委員会ということになります。

Q 松田理念研究委員長

千葉北RCの石井さんが本日表彰されましたがその研修について教えてください。

A 千葉北 RC 石井 七郎 会員

私達のクラブでは毎月一回、例会終了後、新入会員を集めて研修をしています。内容はロータリーの基礎的なことを教えています。新入会員が楽しくロータリーを学べるようにテーマを設定しています。資料をガバナー事務所に提出してありますので希望があればどうぞご覧ください。

◎ 委員会からのお願い

金子RLI推進委員長

地区から、皆さんのクラブにロータリー情報に関係するご案内がクラブオール等で届くと思います。

その際には、これらの情報を例会で必ず周知し

ていただきたいと思います。中にはクラブの実情に照らして必要ないと思われる通知もあるかと思いますが、まずはクラブの皆さんにロータリー情報をオープンに伝えることを次年度は是非実施してください。

また、これは当委員会に限ったことではありませんが、地区の研修会等に出席された委員は、研修内容を逐一クラブ例会で報告していただきたい。地区ロータリー情報を会員の皆さんに行き渡らせてください。これもクラブの活性化、柔軟性、ロータリーに興味を持つことの入口になると思います。こうした情報の提供は、ロータリーについて語り合えるような土壌ができると思います。これにはお金もかかりません。

皆さんの心遣いや知恵を活用することでホットな情報は、ロータリーからのプレゼンになると思いますので、ご理解とご支援をお願いいたします。

奉仕プロジェクト部会



◆会長部会

リーダー	次期・奉仕プロジェクト統括委員長	石井 弘
サブリーダー	次期・職業奉仕委員会 委員長	中村 俊人
サブリーダー	次期・社会奉仕委員会 委員長	向後 勝弘
サブリーダー	次期・国際奉仕委員会 委員長	鈴木 荘一
アドバイザー	パストガバナー	白鳥 政孝
アドバイザー	パストガバナー	櫻木 英一郎

2017-18 年度奉仕プロジェクト統括委員会

職業奉仕委員会

統括委員長 石井 弘 (松戸西 RC)

委員長 中村 俊人 (柏東 RC)

副委員長 山下 清俊 (市川東 RC)

委員 廣田 二郎 (君津 RC)

委員 猫田 岳治 (柏南 RC)

委員 仲尾 卓史 (千葉北 RC)

委員 出井 清 (千葉南 RC)

社会奉仕委員会

委員長 向後 勝弘 (千葉 RC)

副委員長 高木 浩一 (銚子 RC)

委員 鈴木 勝也 (八日市場 RC)

委員 川崎 鉄男 (千葉 RC)

委員 中澤 裕隆 (柏 RC)

国際奉仕委員会

委員長 鈴木 荘一 (君津 RC)

副委員長 金坂 一郎 (茂原 RC)

委員 丹野 昭一 (八日市場 RC)

委員 武本 浩基 (船橋西 RC)

委員 浅野 肇 (柏西 RC)



夢を語り、夢を実現させるために一歩踏み出そう！ 一歩踏み出すと、クラブに感動と活力が湧き！ クラブに変化をもたらします！

奉仕プロジェクト統括委員会
委員長 石井 弘（松戸西RC）

奉仕プロジェクト委員会は、第2790地区83ロータリークラブの奉仕活動が、更に活発化し、活躍の場を広げて頂けるようにサポートしてまいります。

本年度の奉仕プロジェクトのスローガンは
「夢を語り、夢を実現させるために 一歩踏み出そう！

一歩踏み出すと、クラブに感動と活力が湧き！
クラブに変化をもたらします！」です。

ロータリーの夢を、各クラブの会員全員で語って頂き、その話の中から新たな一歩を踏み出すヒントや、思わぬ発見を得る事が出来るはずです。

それがクラブに新しい変化をもたらし、良い循環を生みクラブの発展に繋がるものと思います。

主役はあくまでも各クラブの皆さんです。

地区奉仕プロジェクトは、全力で各クラブの皆さんが奉仕活動に一歩踏み出せるように、今すで
に実施している事業をさらに大きく発展させることが出来るように、サポートしてまいります。

各クラブの皆様のご協力をお願い致します。

委員会活動計画

1) 情報研究会でのPR活動

職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕活動の啓蒙活動
寺嶋年度 年次寄付啓蒙活動

橋岡年度 地区補助金の周知と有効活用の推進

2) 世界大会のPR活動

3) 8月5日奉仕プロジェクトセミナーの開催

4) 卓話随時受付実施



ロータリアンの皆様、 職業奉仕をもっとやさしく身近に 考えてみませんか！

職業奉仕委員会
委員長 中村俊人（柏東RC）

地区職業奉仕委員会はどのようにして2790地区内に於いて、各クラブ会員の皆様に職業奉仕を解かりやすく伝達出来るかを考え、委員会内で検討し活動していきたいと考えています。

今年度の奉仕プロジェクトのスローガンの中にもありますが、一歩踏み出してクラブに感動と活力を沸かすためにロータリアンとしての職業奉仕

をご理解頂き、各自の職場に於いて、またご自身の生業の中での誇りと愛情を持って地域への奉仕に結び付きできるか考えて見ましょう。

忘れてはならないロータリアンの皆さんが気薄になりがちな「職業奉仕」をもう一度考えてみてみませんか。 会員各自がその職業に関係する全ての人々の立場に立ち、高い倫理観をもって職業

奉仕活動を行なうことです。

私達ロータリーのように、はっきりと自身の職業を通じて奉仕することを掲げて活動しているものは無いと思います。

「ロータリーでいう職業奉仕」とは、自分の職業に「誇り」と「愛情」と「高潔性」を持って最大級の努力をする事だと思います。

ロータリーは「他の人の立場に立って、他の人に寄与する事＝service」を絆とする人たちの集まりですね。その一つの方法が自分の仕事上で他の人に寄与する事、それが職業奉仕という考え方ではないかと思っています。ですから、何よりも会員各自がその職業に関係する全ての人々の立場に立ち、高い倫理観をもって職業活動を行なうことが大事だと思います。この考え方はロータリアンばかりではなくとも、ご自身の生業に於いて皆様それぞれが持つべき職業に対する姿勢ではないかと思っています。ロータリアンの皆さんはそれぞれが事業主の方が多いですから、利益を追求する事はもちろんですが、単なる金儲けではなく、自分の仕事や商売をロータリーで言う service の精神で地域や社会生活にどれだけ寄与できるか？だと考えています。それがロータリアンの「誇り」にも繋がると思います。

「最も良く奉仕するもの 最も多く報いられる」

「最も良くサービスするもの 最も得るものが多い」

Service の日本語訳の「奉仕」、その奉仕には無報酬の行為という概念がありますが、職業奉仕は自分の職業を通じたサービスであり、それには無論報酬が伴いますが、大切な顧客の皆様への職業サービスを行うことによって、企業の繁栄にも繋がりが、結果的にはその行為が信頼信用に繋がると考えられます。また、現在の職業奉仕は、奉仕プロジェクト委員会のチームの一委員会として活動し、その中で社会奉仕委員会との結びつきもあり切り離す事は出来ません。

小さな活動が信頼を生み、ロータリアン自身の信用に繋がり、また仕事へと影響をしていきます。その上で、職業奉仕を難しく考えずにわかり易く伝えていく事、また奉仕を通じて

「信用・信頼を得る大切さ」を皆さんにお伝えし、今年度も職業奉仕委員会としては「クラブ訪問をしての卓話」を重点活動としたいと考えていますのでどうぞ一年間 宜しくお願い申し上げます。

自分の職業に於いての身近な職業奉仕の例を挙げてみます。

※ 寒村に運ぶ食料の移動販売

青森の過疎の寒村では車が無いと生きていけないような集落が多々あり、

ある食品会社のオーナーさんは 70 過ぎのご夫婦で毎日冬の雪の中、

朝 5 時に起きて 2 t トラックで食料品を市場に往復 3 時間掛けて仕入れに行き、待っている集落へと運んでいく。

もう長い年を過ぎようとしている。店は若い人たちに預け、待っている寒村の集落の元に車を走らせる。この寒村の高齢者の皆さんは車も運転できず、一日一往復のバスか又は 3 台足らずしかないタクシー会社のタクシーを使うか、方法が無い住民の方々に日用品や食料の移動販売している。

そこでのふれあいで皆さんとの交流を持ち、高齢者の健康状況の様子もわかる。また、住民の皆さんとのコミュニケーションを図り、信頼関係を繋ぐ大切な役割も担っている。住民の方々にもそこで生まれる安心感とこのご夫婦への信頼と絆がしっかりと出来ている。

このご夫婦はご自身の仕事によって何が出来るかを考えて日々を過ごしている。

ロータリーの職業奉仕とは

自分の職業に誇りを持つ事、自分の職業に責任を持つ事がとても大切だと思います。威張ってばかりでは困ります。誇りには責任を持たないとなりませんね。

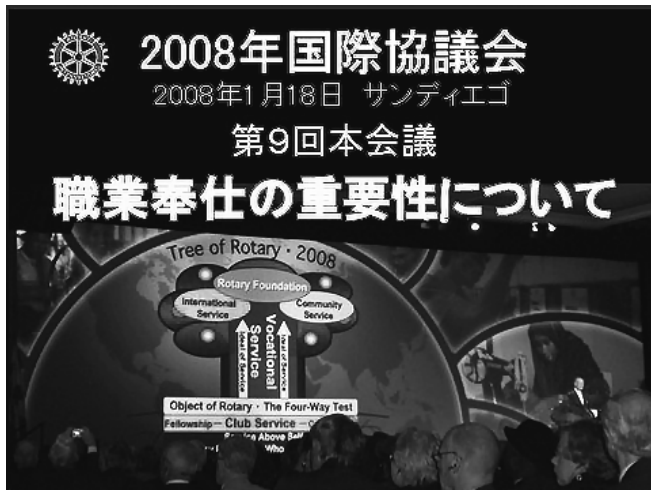
でも、誇りや責任ばかりでは 事業を営む上では発展はしません。

また 発展だけを考えるので良いのでしょうか。

そこに「事業経営の努力」が必要だという事は言うまでもありませんが、

しかし、ロータリアンの職業奉仕は、「ロータリアンは、職業を通じて社会へ貢献しなければならない」という事です。

是非 職業奉仕の基本をご自身で問いかけて見ましょう。





社会奉仕活動・変化に挑戦

社会奉仕委員会
委員長 向後勝弘（千葉RC）

国際ロータリー 2017～18 年度会長のイアン H. S ライズリー氏は、自身の経験から、奉仕活動を行うことの重要性を訴えています。彼の、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことができるという信念から「ロータリー：変化をもたらす」という 2017～18 年度のテーマが生まれました。

私たちロータリアンにとって一番身近な奉仕活動は、クラブの社会奉仕委員会で計画されたプログラムを実行することです。是非、社会奉仕活動を活発に行ってみませんか。そのお手伝いをさせていただきます。

2017～18 年度の地区社会奉仕委員会は、クラブの皆様へ地区補助金を使って、少しでも多くの社会奉仕活動をしていただくための P R 活動と、社会奉仕活動を行うための支援を行っていきたいと考えています。

継続的に社会奉仕活動を行っているクラブも多いことと思いますが、今一度事業の内容を考えてみてください。継続事業ゆえ、事業を惰性的に行っていないでしょうか。やる事が決まっていたただ参加しているだけではありませんか。

2016 年規定審議委員会において、クラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定がなされました。この決定によって、私たちロータリアンはより柔軟にクラブの例会や活動の方針を決定することができるようになりました。これを機会に事業の革新に取り組んで見てはいかがでしょうか。思い切って新しい奉仕活動を立ち上げてみませんか。その奉仕活動に地区補助金を是非使ってください。

地区補助金は継続事業にも使えます。奉仕活動に多くの人を巻き込んだり、活動の幅を広げたり、活動内容を多くの人に知ってもらう等々、継続事業をブラッシュアップするために地区補助金を利用するのも一つの手法です。

地区補助金は 3 年前に私たちが行った年次寄付等の半額がロータリー財団から支給され、この補助金の原資となっているため、たいへん使い勝手のいい補助金です。皆さんのクラブで行なおうとする社会奉仕活動のほとんどが対象となるはずです。

2017～18 年度地区社会奉仕委員会の具体的な活動としては、分区で開催されるロータリー情報研究会のなかで時間をいただき、クラブの皆さんに地区補助金を使った奉仕活動を推進していくための具体的な情報提供をさせていただきます。また、卓話をはじめとし、奉仕活動全般に対するアドバイスや、疑問に答えるなど、社会奉仕支援活動を行ってまいります。是非地区社会奉仕委員会とともに、あなたの地域社会を元気づけてまいりましょう。

最後に、先ほどもふれましたが、地区補助金は 3 年前に私たちが行った年次寄付が原資となっています。3 年後の奉仕活動の活性化はこの補助金にかかっているといってもよいでしょう。是非、年次寄付のご協力もお願いします。

社会奉仕活動 事例紹介

今回の事例紹介は、2016～17 年度社会奉仕活動優秀クラブに選ばれました、千葉ロータリークラブの社会奉仕活動を紹介させていただきます。本日まで参加いただきました皆様のこれからの活動の参考になれば幸いです。

国際ロータリー 第 2790 地区 2016～17

＜社会奉仕活動優秀クラブ＞

千葉ロータリークラブ

「千葉市少年少女ミニバスケットチームとプロバスケットチームとのふれあい教室」

市内小学生ミニバスケットチームとプロバスケットチーム「千葉ジェッツ」の選手とのふれあい教室を開催し、千葉ジェッツの選手から、参加した青少年に技術指導をしてもらうとともに、スポーツ交流やサイン会を行って交流し、青少年の地元意識醸成をはかった。

当日模様は千葉テレビで紹介され、ロータリークラブの広報にもつながった。

地区補助金活用事例紹介

発表者 千葉ロータリークラブ 山谷 恒樹 会員

事業名： 千葉市少年少女ミニバスケットチームとプロバスケットチームとのふれあい教室

1. 事業概要

事業名： 千葉市少年少女ミニバスケットチームとプロバスケットチームとのふれあい教室

開催日時： 2016年8月28日（日） 1回目 10:00～12:00 / 2回目 13:00～15:00

開催場所： 淑徳大学千葉キャンパス 体育館
参加対象： 地域青少年（ミニバスケットボールチーム）

事業内容： 市内小学生ミニバスケットボールチームとプロバスケット選手とのふれあい教室を開催。

会場を午前の部と午後の部に分け、プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」の選手を招聘し参加青少年に技術指導をしてもらった。またスポーツ交流やサイン会を行って交流し青少年の地元意識醸成を図った。

参加人数： 一般16チーム120名（男子28名／女子67名／引率者25名）会員18名

協力団体： 千葉市（スポーツ振興課）／千葉市バスケットボール協会／千葉ジェッツ／淑徳大学

2. 事業に至る背景

私たちの地域である千葉は、この数十年で大きく様変わりしました。遠浅の海岸線は埋め立てられ大きなビルが立ち並び、街中には縫うようにモノレール走る近代的な政令指定都市に変貌しております。そのような中、少子高齢化に伴い核家族化が進み子供たちを取り巻く教育環境にも変化が起きてきています。子供たちは学校と家庭以外での大人との接触が希薄になっており、大人に対するあこがれや希望はおろか恐れや畏怖の念もあまり持てないのが現状です。学校と家庭以外の大人に接する経験不足から犯罪被害に巻き込まれたり、不確かなソーシャルネットワーク情報などを

鵜呑みにすることによる予期せぬ行動や事故に遭うことも珍しい事ではなくなってきています。

このような社会のひずみを一番に受けやすい青少年教育の現状で、我々ロータリアンとしても地域でできること、やれることを実践していくべきではないかとの考えが事業に至る背景です。

現在の千葉という街には豊かな心をはぐくむことができる環境が多く用意されていると感じます。では何が子供たちに必要かといえば、「夢」を見ることではないでしょうか。夢をかなえるために努力すること、困難に立ち向かうこと、小さな成功体験を積み上げること、そしてあきらめずに夢をかなえる機会を待ち続けること。このような機会と経験を地域の子供たちに用意することを目的として本事業を企画し、ひいては千葉の子供たちに向上心とやる気を持ってほしいと考えました。また子供たちを応援している、見守っている地域の団体や大人がいるということや、地域のコミュニティが存在することに気付いて欲しい、将来的にはそのコミュニティの一員になって欲しいという思いも併せて本事業に織り込みました。

3. 事業の内容に関する報告

2016年8月28日に淑徳大学千葉キャンパスの体育館をお借りして青少年健全育成事業「千葉市少年少女ミニバスケットチームとプロバスケットチームとのふれあい教室」を開催しました。

千葉市内の小学生ミニバスケットボールチームに声掛けをし、プロのバスケットボール選手と一緒に練習をし、スポーツを通して目標に向かって努力することの大切さや実際の試合での体裁き、ボールの扱い方などを学びました。

当日はチーム数と会場の都合により午前と午後の二部構成で設営をしました。午前と午後の事業開始20分前より受付を行いました。設営にかかわったロータリアンや参加チーム引率者の協力もあり特に混乱することはありませんでした。

ふれあい教室では、千葉ジェッツのプロバスケットボール選手が指導をし、ボールの扱い方や体の裁き方、普段の練習のコツなどを分かりやすく参加少年たちに教えながら、ミニゲームを挟むなどして実際に体を動かしながら和気あいあいと事業を行いました。

また、会場ではサイン会やグッズ販売も行い、参加少年たちとの交流を深めました。

4. 報告者所見

事前の打ち合わせではメンバーのネットワークを活用させていただき、協力団体千葉ジェッツ様

との交渉もスムーズに進みました。また当日はロータリ안의慣れた設営もあり、受付時からほぼ混乱なく設営ができたと感じます。

参加した子供たちの様子としては、プロ選手の技を身近で見ることによりスポーツに対する意識が変化していく様と、一緒に汗をかくことによる一体感が感じられました。子供たちだけでなく、指導に当たったプロバスケットボール選手たちも笑顔がこぼれ、引率の指導者や見学に来た親御さんたちにも有意義な時間だったと感じた事業でした。

また、サイン会やグッズの販売を通して地元意識の醸成にも寄与できたと実感しています。個人的には選手が参加少年たちに次の試合の勝利と会場での再開を約束していたのが印象的でした。

参加した子供たちはプロの選手にあこがれを持ち、夢を追い続けていればいつかは叶うという希望とやる気を持ってもらえたと感じます。またこのようなプロチームがいる地域として千葉の良さや地域の団体の見守りを改めて感じ取ってもらえたらなお良いと感じます。我々としても地元ロータリーとして地域に奉仕するためにこのような機会をまた設営していきたいと思います。

5. 事業風景等



○受付の様子

当日の受付は準備時間が少ないにも関わらず、メンバーの慣れた対応により混乱なく進みました。

○練習風景

簡単な自己紹介とウォームアップ後にドリブルやボールの扱いなどを指導しました。また、後半では実際にミニゲームを行いプロの技を目の前で披露しました。



○サイン会

当日は千葉ジェッツ様のご厚意により無償で選手を派遣していただきましたので、サイン会と共にグッズ販売をお手伝いしチームに貢献をしています。



「試合に必ず応援に行きます！」

子供たちも選手も笑顔が絶えないひと時です。

○全体集合写真

プロバスケットボール選手と子供たち
そして千葉ロータリアンの面々



6. 参加会員名一覧（順不同／敬称略）

田中昌夫 佐々木高治 林雅之 山谷恒樹 川崎鉄男 梶原等 向後勝弘 関根洋一 櫻井真人
鈴木定徳 國吉晃甲 大野雅章 木内一晴 岩田丈 土田鋼太郎 上田誠也 下河浩 清田浩義
藤澤武彦（救護） 事務局／日暮

以上（文責：山谷恒樹）



夢を架けよう！！「夢の懸け橋」 ～多くの「夢の懸け橋」で地域に存在感のある ロータリークラブへ～

国際奉仕委員会

委員長 鈴木 荘一（君津 R C）

国際奉仕というとは何か遠い、ちょっと手の出しにくい奉仕事業のように思われますが、海外ネットワークを生かす点からもロータリアンであることを実感する奉仕ではないでしょうか？山武市がスリランカ国のオリンピック選手の事前キャンプ地として誘致を実現させた陰に大網 RC と米山学友生のご助力があった事例は記憶に新しいところです。オリンピックという一大イベントで「地域」を「夢」を結び付ける、これはまさしく「地域に存在感をもたらす」「人々に変化をもたらす」事業なのではないでしょうか。我々の 2790 地区は空の玄関口である成田を擁し、海と自然に囲まれ東京に隣接した地域です。こうした「地の利」を生かし、海外との『夢の懸け橋』を地区内で多く架けて頂くきっかけを作れるよう、国際奉仕に躊躇されているクラブ構想を温めているクラブへの立案、実施に向けサポートして参ります。

昨年度実施したアンケート結果によると「補助金制度のハードル高い」、「事業内容をクラブ内で企画検討できない」というクラブが全体の 60% になりました、そうしたクラブには現地にまで足を運ばなくても、目や手の届く身近な地区補助金を活用した事例をご紹介します。

国際奉仕に取り組むきっかけとして姉妹クラブ・米山奨学生が挙げられます。姉妹クラブや米山奨学生に地域のニーズを聞き、応えていくということで国際奉仕活動を促進し、クラブ内の活性化へつなげる事も当委員会の重要な役目と感じます。

最後に、本年度カナダトロントで行われる世界大会に多くの地区内の会員皆様に参加して頂けます様周知して参ります。地区内の国際理解・親善・平和を推進し、「地域に存在感のあるロータリー」をめざし今年一年活動して参りますのでよろしくお願いします

地区補助金 活用報告事例紹介 「モンゴル・ゲル地区の子供たちに きれいな水を！！」

発表者 松戸西ロータリークラブ 山本 衛 会員

松戸西クラブでは、創立 30 周年を記念して、以下の事業を行った。

1. 名勝指定の庭園へ、ベンチ寄贈
(平成 28 年 4 月 26 日)
2. モンゴルの子供たちへ布団を寄贈
(平成 28 年 6 月 2 日)
3. モンゴルモンゴル・ゲル地区の子供たちに井戸を寄贈 (平成 28 年 9 月 5 日) 参照 [1], 参照 [2], 参照 [3]

ここでは反響の大きかった、「モンゴルモンゴル・ゲル地区の子供たちに井戸を寄贈」の様子を振り返ってみたい。

松戸西 R.C. では、地区補助金を活用して、過去には、スリランカの学校に楽器を寄贈したり、参照 [4], 参照 [5] 日本の障害者施設へ音響設備を寄贈する参照 [6] など、主に、子供たちに対する支援を中心に活動して参りました。そして今回、「モンゴル・ゲル地区の子供たちに井戸を寄贈」するプロジェクトを、「モンゴル・ゲル地区の子供たちにきれいな水を！！」と、プロジェクト名にしました。

余談になりますが、

地区補助金を申請した際、地区の財団補助金管理・奉仕プロジェクト合同セミナー (2016 年 1 月 31 日) において、次年度クラブ、会長、財団、社会奉仕、国際奉仕委員長、約 200 名の前で、補助金申請を公開にて行なった。これは、各クラブが地区に対して、地区補助金をより多く申請して

いただけるよう、解説、説明するためであり、補助金の申請までの道のりを公開することで、わかりやすく、簡単であることを、アピールしたかった。効果、影響があったかは定かではないのだが、数字だけ見ると、前年度31件の地区補助金に対し、今年度の申請は42件であった。参照[7]

まず、モンゴルの位置ですが、日本から見ると、ロシアと中国の間に位置します。そして面積は日本の約4倍くらいの大きさです。人口は、約300万人くらいです。これは、日本国に例えると、茨城県くらいの人口にあたります。そして国民の約半分が、首都ウランバートルに住んでいます。平均的な所得は、日本の月給に換算すると、約6万円といわれております。しかし、ゲル地区に住んでいる人たちの月給は1～2万円程度です。仏教は主にチベット仏教が多いようです。

モンゴルはロシアと中国に挟まれており、直接海に面していないため、輸出入コンテナは両国の港と鉄道を使用しなければなりません。ですから、様々な点で、ロシア、中国の影響を受けております。

1989年末にソ連・東欧情報に触発されて、モンゴルでも民主化運動が起き、1992年に国名をモンゴル国とし、社会主義を完全に放棄し、民主化されました。

2011年 経済成長率は 17.8% であり、近年、急激に経済発展しております。主な産業として(主な輸出品) 鉱工業では、銅・石炭・金・レアアースがあり、畜産として代表的なものは、カシミヤがあります。

さて、このプロジェクトのきっかけは、モンゴルとの交流から始まりました。モンゴル ウランバートル・ピースアベニューロータリークラブそしてタミルクラブへ、当クラブの会員がメークアップしました。写真は、タミルクラブ、ウランバートル ピースアベニューロータリークラブにメークアップした様子です。



モンゴルとの交流のおかげで、様々なことがわかりました。この写真はモンゴルへ視察に行ったときの写真です。夏は過ごしやすいのですが、冬

はマイナス30度の世界で、極寒の天候です。

モンゴルのウランバートル地区では約60%の人々がゲル地区で生活しております。しかも、近年の深刻な移民事情により、過去10年間で、ウランバートルの人口は50万人から100万人に倍増し、ゲル地区が拡大を続けている。そうした中、ゲル地区は水が深刻な問題になりつつあります。ゲル地区には568個の井戸しかありません。水の大変困っています。



かできると判断しました。

視察に行った保育所では、上水道、下水道がともになく、水が1週間に一度配給されるだけであった。子供たちはおよそ20分の道のりを歩いて運搬する。冬はマイナス20度の凍結した道のりを運搬するため、大変危険な作業であった。夏は、ねずみ・昆虫・バクテリア等の微生物の温床もあり、飲料水による健康被害が問題となっている。そうしたなか、当クラブでは、バヤンズレブ6地区にある保育施設に井戸を掘り、施設の子供達と近隣の住民が利用できるような水源を創ることを目指した。約80名の生徒、近隣住民300人から500人くらいの人たちが自由に水を使えるようになり、危険な水の運搬から開放され、健康問題も解決される。

井戸の寄贈式では、当クラブから、保育園へおもちゃを寄贈した。

子供たちへは、井戸水の運搬から解放されるといふ精神的な支援と、物的な支援併せて行うことにより、より効果的な奉仕になることを目指した。

寄贈式の様子は、地元のマスコミが取材に来て、テレビ放映、あるいは、地元の新聞に掲載された。

[1] (参照「ロータリーの友」2017年2月号 P16)

[2] (参照「ガバナー月信」2017年2月号 P5)

[3] 2017年4月22日地区協議会にて 優秀ロータリアン表彰 (予定)

(本日の地区協議会にて表彰予定)

[4] (参照「ロータリーの友」2015年6月号 P32)

[5] (参照「ロータリーの友 英語版」2015-16 P29)

[6] (参照「ロータリーの友」2016年2月号 P9)

[7] 第2790地区 財団補助金管理・奉仕プロジェクト合同セミナー (2016年1月31日)



総評

アドバイザー・パストガバナー 白鳥政孝

私は総評というより皆様へアドバイスという観点から話をさせて頂きます。

奉仕プロジェクト委員会はロータリーの実践活動の要であり、各自がその重要さを自覚して任に当たり、その任を楽しんで頂きたいと思います。

奉仕プロジェクト委員会は、ロータリーが目的とする4項目の奉仕のうち3項目を担います。これほど楽しいことはありません。人生においてもこの機会恵まれたことは素晴らしいことであります。学んだことはロータリーのためだけでなく、自分自身のために、家庭や職場や地域社会のために活かすことができるからです。

これはロータリアンであることの特典であります。

〔職業奉仕委員会〕

ロータリーの思想、哲学、理念を学ぶ委員会であり、一言でいうならば職業奉仕の説くところは「職業倫理」であるといえます。個人によって理解度や実践活動は濃淡様々であります。職業奉仕に親しんでいると自然に身についてくるものであります。20年前からロータリアンの職業を活かして出前教室や就職活動の指導が行われていますが、利益の有無によって職業奉仕とか社会奉仕とかの区別することに汲々としていますが、いちいち区別する必要はないと思います。

〔社会奉仕委員会〕

ロータリーが発足して間もなくドナルド・カーターが（社会奉仕の父と云われている）「自分たちの利益を追求する会は閉鎖的で発展性がない。もっと人のために役立つことをしなければならい」と述べ、ポールハリスはそれを受け入れて社会奉仕の目的ができました。社会奉仕活動には継続事業が多々ありますが、そのまま引き継ぐのではなく、根本から見直すことが肝心であります。その事業がよりよく進化してまいります。ぜひ見直しと改善をするようにしてみてください。ロータリーの活動をより一段と世間にアピールすることになります。また、事業の内容を広く会員から募ることも大切になります。

協賛金とか賛助金については、クラブ会員は関与している場合は無理に断ることもないが、なるべく醸金は避けるべきだと思います。汗を流す活動が望ましいです。

「公共イメージの向上とは」ロータリーに対する世間の評判をよくすることにあるので、日常のロータリアンの行動如何にかかっているということを念頭においてください。

広報はクラブの活動を地域社会にアピールするから始まります。そのためにタスキ、ジャン

パー、キャップ、幟などを活用してください。そして地域社会の人との関係を大切にしてください。

今日、不思議に思うのですが、次年度RI会長が提案している世界のロータリアンが1本の木を植えようではないかと呼びかけているのに誰も言及していないことです。一人1本の植樹をぜひやろうではありませんか。継続事業にしていけばさらに効果的な事業となるのではないかと思います。

〔国際奉仕委員会〕

他国との交流は国によって風俗習慣が違います。他国のクラブと姉妹関係を結ぶときは5年ごとあるいは10年ごとに締結条項を見直す項目を入れておいた方が良いでしょう。国際奉仕事業は貴重な体験ができますし、いろんな矛盾も感じます。格差社会があり、不条理を実感できます。その体験がその人の知識となり、教養となるのであります。これは貴重な経験であり、やがて正しい判断のもとになります。人のためになると同時に自分のためにもなるのです。

〔各委員会共通事項〕

ロータリーでいろいろな体験を積み重ねることから、より良い判断力が身につき、より高い人間力と洞察力が醸し出されます。「財の道」か「徳の道」を選択する時に、ロータリーで養われた心がすべてに影響してまいります。

情報源として「ロータリーの友」を活用することをお奨めします。良いヒントが得られます。

与えられた委員会の仕事を一生懸命にやっけて欲しいです。ただし自分の仕事を放り投げては本末転倒です。その場合その仕事を他に人に任せるところをしていくことです。任せて良かったという思わぬ副産物を得ることがあります。

いろいろと活動していくなかで問題点が出てきます。そこで大切なのが報告・連絡・相談であります。

クラブでの報連相は欠かさず行ってください。

CLPを実施しているクラブが多いと思いますが、大別した委員会に小委員会を設けることはなるべく避けた方が良いでしょう。統括する大きな委員会が皆で行うことが肝心であります。統括委員長は座長としてみんなの意見を引き出して纏めることが大きな役目の一つであります。少数のメンバーで決めることはしない方が良いでしょう。

最後ですが、これだけは肝に銘じてください。クラブ内外ともに、すべて目線は同じ目線で接することです。上から見る目線で接することを決してなさらないようにお願いします。

皆様のご健闘をお祈りいたします。

総評

アドバイザー パストガバナー 櫻木英一郎

奉仕プロジェクト部会で良かったのは、ロータリー財団のことを取り入れていた点。申請書の説明までであった。ロータリー財団と奉仕プロジェクトは切っても切れない関係にある。ロータリー財団だから何をする、奉仕プロジェクトだから何をするではない。

奉仕プロジェクトの活動をするには、活動のコンセプト、ヒトに加え、財源が必要。この財源を日本のロータリークラブでは会費の中から出す場合が多いが、世界的には寄付金で賄うことが多い。これが不足する場合、財団の地区財団活動資金（DDF）や、国際財団活動資金（WF）を使っているというのが、ロータリー財団の「未来の夢計画」の根本である。そういう意味でロータリー財団と奉仕プロジェクトは密接な関係にある。

本日は2つのことを話す。一つは、「奉仕プロジェクト委員会の中に職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕が何で入っているか」ということ。もう一つは、「五大奉仕並立論」である。つまり「職業奉仕が特別ではない。」ということ。

＜奉仕プロジェクト委員会の中に何で職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕が入っているか＞

資料の事例Aは何奉仕か？

これは、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕いずれともとれる。大工さんがやったこと（事業）の中にいろいろな要素がある。委員会の壁はいらないのではない。例えば、この事業をクラブでやる場合、それぞれの奉仕部門が自分の部門の視点で新たな要素を組み入れてひとつの事業を作り上げることが大事である。定款第6条では、五大奉仕部門の概念が書かれているが、具体的活動までは書かれていない。これは5つの奉仕部門を総合的に考えて活動をしていくということを述べているのである。奉仕プロジェクト委員会の皆さんはそういう中でいろいろな要素を考え、1つの事業の中にいろいろな要素を入れ込んでいってほしい。奉仕プロジェクト委員会はロータリーの活動の中核をなしているという認識を持ってほしい。

＜職業奉仕について、五大奉仕並立論＞

職業奉仕はこれまで日本のロータリーの金看板だったが、私はそういう考えには全面的には賛成できない、むしろ五大奉仕並立であると考えている。日本のロータリークラブは職業奉仕を重視しすぎであり、だからガラパゴス化と言われる。

ロータリーの樹は2008年にR Iの中で職業奉仕第一論があまりにも理解されないために、それを説明するために作ったものである。これは職業奉仕が金看板であるから、職業奉仕が幹になってい

る。

当地区でもモンゴルプロジェクト等いろいろな活動がなされているが、その活動の中に職業奉仕が含まれているだろうか？私は含まれていないと考える。

すべての活動の根本は、人様のお役に立つという心ではないだろうか？つまり、ロータリーの活動の根本は「人のためになることをする心」であり、「ロータリーの樹」の幹に「ひとのためになること」という文言を持ってくるとよい。

ロータリーではその意味で「SERVICE」という言葉が使われたが、日本のロータリーは、戦中英語を使えない状況の中で、この言葉を「奉仕」に替えて使った。日本語の「奉仕」には「無償」というニュアンスが入ってしまう。日本のロータリーは昭和15年に国際ロータリーを脱退、昭和24年に復帰するが、その後もこの言葉を使い続けたため、世界のロータリーとのかい離があるのではない。

ロータリーの根本は職業奉仕ではない。職業奉仕は五大奉仕の中のひとつ。

では、その職業奉仕で何をするのか。自分の仕事、商売の中で人のためになることを考えればよい。つまりお客様のことを大事にすること、従業員のことを考えること、自分の業界のことを考えること、CSRなど企業の社会的責任を考えること。

定款第6条（資料B）の中で、奉仕の第二部門ある職業奉仕について書かれている。最初の三行で、職業に携わる中で奉仕（SERVICE）の理念を実践していくのが職業奉仕と定義されている。その後の三行の中で会員の役割を書いており、それは自分の職業倫理を高めることと自分の技術を社会に生かすことである。社会奉仕、国際奉仕も同様に定義されており、これからも五大奉仕は並立であると言える。

職業奉仕はロータリーのみだろうか？

資料Cにおいて、職業奉仕のことが書かれている。これはライオンズクラブのホームページからの抜粋である。つまりライオンズクラブも職業奉仕の考えを持っている。職業奉仕をロータリーの金看板とする考えがあってもいいが、一方で職業奉仕はロータリーだけではないという考えがあってもいいのではない？五大奉仕並立論がこれからどんどん市民権を得、皆さんがその中で選択できる雰囲気になっていくことが大事である。

資料「職業奉仕について」

A. 事例 これは五大奉仕の内の何奉仕でしょうか？

ロータリアンでもあるオーストラリアの大工さんが自分の有給休暇を使ってパプアニューギニアに行き、倒れ掛かった病院を無料奉仕で立派に立て直したんです。

椰子（ヤシ）の木陰の病院ですから、大した作業ではなかったかもしれませんが、立派に立て直しました。

出典：「ロータリーの森を歩く」佐古亮尊（大村北 RC）2005 年

B. 第 6 条 五大奉仕部門

奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。

会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

C. - 1

- ・職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。
- ・事業を成功させて、適正な報酬や利益を受けるべきであるが、(略)自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- ・(略)・・・顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- ・また、商業、工業、専門職業、公共事業及び個人事業の能率化を図り、道徳的水準を更に高める。
- ・会員になるには、特別の地位や肩書が必要なのではなく、まず、自分の職業に対する不断の努力と、自分の職業の尊さを確信する人であり、・・・(略)
- ・一つの職業で一人か二人しか入会を認められず、・・・(略)・・・これはできるだけ広い範囲で会員を集め、片寄った方向に進まないように配慮されているからです。

青少年奉仕部会



◆青少年奉仕部会

リーダー	次期・青少年奉仕統括委員会	統括委員長	津留 起夫
サブリーダー	次期・インターアクト委員会	委員長	須藤 郁雄
サブリーダー	次期・ローターアクト委員会	委員長	丸山 泰典
サブリーダー	次期・青少年交換委員会	委員長	三神 秀樹
サブリーダー	次期・RYLA 委員会	委員長	阿部 昭広
アドバイザー	次期・ロータリー学友委員会	委員長	酒井 秀光
アドバイザー	次期・地区危機管理委員会	委員長	鈴木 雅博
アドバイザー	次期・地区危機管理委員会	委員	杉木 禧夫
アドバイザー	次期・地区危機管理委員会	委員	伊藤 愛彦

2017-18 年度青少年奉仕統括委員会 インターアクト委員会

統括委員長 委員長

津留 起夫	(市原 RC)
須藤 郁雄	(千葉西 RC)
長谷川治夫	(鴨川 RC)

ローターアクト委員会

委員長

大矢 仁	(市原中央 RC)
上野 聡	(市原 RC)
庄司 義則	(千倉 RC)

青少年交換委員会

委員長

丸山 泰典	(銚子 RC)
佐藤 康弘	(千葉 RC)
古志 智宏	(浦安 RC)

委員

小林 昭弘	(銚子 RC)
小林 宏子	(茂原中央 RC)
三神 秀樹	(千葉南 RC)

委員

諸佐 博	(小見川 RC)
小菅 和彦	(習志野中央 RC)
渡邊 昌俊	(勝浦 RC)

委員

山崎 由美	(習志野中央 RC)
佐藤 孝彦	(浦安 RC)
岡村美智子	(佐倉 RC)

RYLA 委員会

アドバイザー

阿部 昭広	(君津 RC)
栗原 洋一	(千葉北 RC)
箕輪 貴之	(市原 RC)

委員長

大里 光夫	(木更津東 RC)
田中 孝治	(千葉 RC)
酒井 秀光	(茂原 RC)

副委員長

飯島 栄	(成田コスモポリタン RC)
依田 勇	(我孫子 RC)

委員

ロータリー学友委員会

委員

委員長

委員

委員

アドバイザーあいさつ

①鈴木PDG（危機管理委員長）

ご苦労様です。市原中央RCの鈴木雅博と申します。2790地区の危機管理委員長の立場ですので青少年問題についていろいろと皆様にアドバイスしていきたいと思います。危機管理につきましては最後に伊藤委員から説明がございまして、私の方からは青少年奉仕に対する市原中央RCの過去の成功例をお話したいと思います。市原中央RCは過去に於いて青少年交換を熱心に行っていました。その中で、千葉の女子高の田村さんという生徒ですが、交換でメキシコに派遣をしました。そこで熱心に勉強をして帰国後東京女子大に入学し、R財団の奨学生としてスペインの大学に入って活躍をしてその後日本企業に入社しスペインの出張所に勤務してロータリアンになったとメール連絡が来ております。このような素晴らしい成功例がありますので、青少年プログラムのIA、RA、RYLA、RYEにご協力をお願いしたいと思います。もう一つの例ですが、男子高校生ですが、不登校でしたが、これをまたメキシコに派遣しました。現地で勉学に目覚めて帰国後、東海大学に入学、それから法律スクールに入り、現在弁護士として活躍をしています。地域の青少年の育成にこの青少年プログラムを活用していただきますようお願いいたします。

②危機管理委員会伊藤愛彦

私は千葉幕張RC所属の伊藤です。弁護士をしています。青少年プログラムと危機管理委員会がどのような関わりがあるのかよく浸透していない部分があるようです。本日は、「危機」とは何かをお話します。一般的には危険な事とお思いますが、ロータリーやロータリアンにとって好ましくない事すべてをいいます。特に青少年プログラムでは、RIの「青少年と接する際の行動規範に関する声明」にもとづき、活動の中で事故、事件、災害が発生する可能性（リスク）の減少に努めていただきたくお願いをします。

例えば宿泊を伴う活動では、ハラスメントが起りやすい環境となり、RYLAやRYEでは、リスクの管理を十分行ってください。また、そのような事件事故等がありましたら、好ましい事柄に対応するのが危機管理委員会ですので、ガバナーに連絡を入れていただきますようお願いいたします。

③質問

松戸RC平松 徹

「危機管理委員会は大変重要であると思います。いま、松戸近辺でも問題になっています。特に伺いたいのは、首都直下地震に対する対策です。70%30年以内にあると言われています。これが第1点。次にテロです。これらに対して危機管理委員会としてどのように考えているのか」

危機管理委員会伊藤委員

「まだ、具体的には考えておりません。自分の子供と同じような対処の仕方をお願いするわけですが」

松戸RC平松 徹

「企業には、BCPと言う取り組みがあります。それをロータリーとしてどのように取り入れるのかということです」

BCP（事業継続計画）とは、企業が自然災害、大震災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。（中小企業庁HPより）

津留統括委員長

「自然災害については、活動中に被災した場合にどのようにするのかということは、各委員会があらかじめ対策を立てる必要があります。ハラスメントに対しては、RIから出された「青少年保護の手引き」が各クラブに配信されております。次年度中に当地区でもこの手引きに基づいた方針指針を策定する予定です。

④講評：杉木禧夫PDG

皆さん、長時間にわたりまして研修協議会に参加いただきましてありがとうございます。お疲れのことと存じます。ロータリーは将来ある青少年にことのほか期待をしているのであります。将来の社会の重要な構成員となる訳で、健全に成長していくことが我々にとって大変意義のあることだと思います。皆様の日頃からの支援指導が意味合いを持ってくるわけで、ただ今、地区内の現状報告がありました。これをクラブに持ち帰っていただき検討していただく事が大切であるとおもいます。

RIは世界理解と平和を求めており、皆様の奉仕活動はまさにそのためにあると言っても過言ではありません。青少年奉仕は、第5の奉仕部門です。7月1日より新たな年度になります。皆様のご活躍が大いに期待される訳ですが、青少年プログラ

ムの現状を見ますと低調気味であること、将来に向けて勢いがなくなっているというのが実態であります。

このあたりを皆さんのクラブがどのような形で支援をしていただけるか、あたらしい組織づくりに力を貸してあげられるか、これが大事なことであると思います。それには、現在の組織などを踏襲することも大切ですが、その改善や新しい活動の開発をしていただきますようお願いいたします。

インターアクト委員会

インターアクト委員会

- ・ インターアクトクラブ
 - － 12歳から18歳まで
 - － 14校(1校休会)のインターアクトクラブ
 - ・ 茂原樟陽 茂原RC
 - ・ 木更津総合 木更津東RC
 - ・ 市原中央 市原RC
 - ・ 安房拓心 千倉RC
 - ・ 千葉商業 千葉西RC
 - ・ 大原 大原RC
 - ・ 千葉黎明 八街RC

インターアクト委員会

- ・ インターアクトクラブ
 - － 15のインターアクトクラブ
 - ・ 文理開成 鴨川RC
 - ・ 聖徳大付属女子 松戸RC
 - ・ 千葉経済大付属 新千葉RC
 - ・ 館山総合 館山RC
 - ・ 東海大付属望洋 市原中央
 - ・ 成田 成田RC
 - ・ 愛国学園大四街道 四街道RC

インターアクト委員会

- ・ 年間行事
 - － 8月 年次大会
 - ・ 市原中央高校IAC
 - ・ 市原RC
 - － 11月 国外研修
 - ・ 台湾
 - － 5月 指導者講習会



インターアクト委員会

- ・ 組織の構造





ローターアクト委員会

ローターアクト委員長 丸山 泰典

ローターアクトクラブ（RAC）は、イメージ的にはロータリークラブの縮小版で、ミニロータリークラブと言うことができます。年齢18歳から30歳までの青年男女により構成されています。月2回の例会を各RACで行っており、その他、年6回のアクトーズミーティング（ACTM）や、年6回の地区行事を行っております。ACTMとは各

RACの代表者が集まり、自クラブの活動報告を行ったり、RA地区行事の打ち合わせをしたりする会合です。

2790地区には、現在、館山、習志野中央、茂原、千葉科学大学、市原中央の5クラブがあります。会員総数は約30名です。1997-98年度には、14クラブ、会員総数165名でしたが、残念ながら年々

減少の一途をたどってきています。

次に RAC とロータリークラブの関係についてご説明いたします。RAC は単体で存在するのではなく、提唱ロータリークラブのサポートのもとにクラブが存在します。それが、館山、習志野中央、茂原、千葉科学大学、市原中央の 5 つの RAC です。各 RAC の中から地区役員を選出してもらいます。ロータリアンとしての地区委員会はローターアクト地区役員と連携をはかり、あくまでもローターアクターが主導で行事を取り仕切り、盛り上げられるよう、物心両面からサポートする立場であると考えております。

次年度の方針は、まず足元を固めること、これを最優先に考えています。

ACTM に重点を置き、提唱 RAC との連携を密にして少なくとも 1 名は RAC より出席するようにします。そして、RA 地区代表や地区 RA 委員が RAC の例会に出席し単体クラブの活動が活発化する事を支援します。

ここで提唱ロータリークラブの青少年奉仕のロータリアン様にお願いがございます。

1 つめは、各 RAC で月 2 回開催されます例会へご参加です。例会の日時、場所につきましては、直接アクターのメンバーと情報のやり取りをお願いいたします。

2 つめは、地区行事であります ACTM への参加です。私も地区ローターアクト委員会より各提唱ロータリークラブへ前もってご案内を差し上げますのでご参加の程どうぞ宜しくお願い致します。

まずは単体クラブでの活動の活発化が大切だと考えております。それぞれのクラブの活動を活発にすれば会員数の減少が食い止められ、さらに良い影響は他のクラブに波及する事でしょう。単体クラブの活動が RAC 全体の活発化を支援すると信じております。

クラブ数がこれ以上減少することは絶対に食い止めなければいけません。現在活動中の 5 クラブへの重点的な支援が再生への第一歩となると考えております。

RA 地区代表挨拶

RA 代表挨拶（柴崎友里奈さん）

皆さんこんにちは、先ほど紹介をいただきました地区代表エレクトで市原中央 RAC の会長を務めております柴崎です。宜しくお願いします。皆様には日頃よりご支援をいただきありがとうございます。RA として皆様に活動の報告をする場面がない事や、そのほかご心配のお声をいただいておりますが、次年度は活動の幅を広げて、「RA はこんなことをしています」と伝えることが出来ま

す様に活動を行います。

本日本幕張メッセ国際会議場 105 会議室で、14:00 から RA 年次大会を行い、16:00 より活動報告会がありますので、お時間の許す範囲でご参加いただけますようお願いいたします。また、18:30 より懇親会を行いますので、こちらもどうかよろしくお願いいたします。

学友委員会は分かりづらいとのことですが、簡単に説明するとインターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) のプログラム終了生とロータリー青少年交換の学友会 ROTEX、ロータリー平和フェローシップ、IR 財団の学友、米山奨学生学友とクラブを結びつけ、末永い関係を築くための支援をするのが地区学友委員会の役割です。また、地区内の学友会の監督にもあたります。

学友委員会は、大変新しい委員会ですので、多くの手さぐりで活動をしなくてはなりません。しかし、プログラム参加経験者を集めてロータリーの中で活動をしていくという目標がありますので、いずれはロータリアンとして活躍を期待してのことです。

櫻木 PDG は、ローターアクターでしたので、現実味のない話ではない訳です。

そこで、学友が中心となる WEB ロータリークラブを設立するという目標があります。しかし、いろいろと条件をクリアしていかなければならないのですが、現在活動をしている WEB クラブもありますので、実現に向けて歩んでまいります。

次年度の活動は、ロータリファミリー同窓会の開催と WEB ロータリークラブの設立です。



青少年交換委員会

委員長 三神秀樹（千葉南RC）

1927年にフランスのニース・ロータリークラブから始まったロータリー青少年交換は、最も人気のあるプログラムのひとつで、生涯にわたる友情を育むものです。

1974年よりRIのプログラムとして実施されてきた青少年交換は、国際理解と親善を推進するため、すべてのロータリー・クラブに大いに推奨されている活動です。

当地区の場合、高校生を対象に長期交換の1年間と短期交換の1ヶ月コースがあります。派遣候補生並びにインバウンド交換学生、保護者、ホストファミリー、スポンサークラブ等関係者と共に毎月オリエンテーションを行っております。内容は、渡航前の語学や日本の文化・習慣等の研修、派遣前準備や滞在中の心得・禁止事項或いは危機管理といった事柄です。

今年度の申し込みは、9月9日（土）まで、選考試験は9月18日（月）敬老の日に行います。

交換留学先については長期短期共に交換留学先は、北米（アメリカ、カナダ）や欧州（スイス、イタリア、ドイツ）ですが、地区によっては、東南アジア、中南米等もあり、当地区でも可能性を模索している段階です。

たくさんの応募をお待ちしております。

また、2018年5月には千葉市の幕張メッセで第23回日本青少年交換研究会・千葉会議を開催いたします。全国から多くのロータリー交換学生やROTEX達が集い、学び、そして交流できる場ですので、是非とも多くのロータリアンの方々のご登録並びにご参加の程、宜しくお願い申し上げます。

2017-18RY 地区研修/協議会

奉仕部門別協議会
青少年交換委員会
2017.4.22



青少年交換委員会 委員長挨拶

世界中のロータリー親善大使が集い、学び、そして交流できる「日本青少年交換研究会・千葉大会」を皆で成功させよう！

2017-18年度委員長 三神 秀樹（千葉南RC）

当委員会では、平成30年5月に開催が予定されている「第23回日本青少年交換研究会・千葉会議」を成功させるべく、RIJYEC（国際ロータリー日本青少年交換委員会）関係者各位並びにROTEX（青少年交換プログラムを終了した者による組織）関係者、スポンサークラブ、ホストファミリー、インバウンド留学生、派遣候補生と委員会メンバーが一丸となって取り組んで参ります。

本研究会は、富士、東京、米子という様に毎年開催地が変わるため、千葉での会議は34年に一度の可能性もあります。是非とも34地区の中でも一歩有意義で心に残る会議に「千葉会議」が成る様に準備したいと考えております。

本年度当地区からは、イタリア、スイス、アメリカ等への長期派遣候補生が5名、アメリカへの短期派遣

候補生が3名、計8名の交換留学を実施いたします。また来年度以降に向け、更に長期交換学生の増員を期待しておりますので、渡航前、毎月一回のオリエンテーションやスプリングキャンプ実施はもとより、派遣生やホストファミリー、そして夫々のロータリアンに対しても危機管理の概念を今まで以上に研修する場を設けるように致します。

我が地区における青少年交換事業に於いても、2017-18年度RYテーマである「ロータリー：変化をもたらす」(英文「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE」)が全うできるよう誠心誠意努力する所存ですので、どうか皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

短期生ウエルカムオリエンテーション
(7月)



長期生ウエルカムオリエンテーション
(8月)



選抜試験(9月)



帰国報告会(10月)



クリスマス交流会
(12月)



青少年の集い(2月)



スプリングキャンプ(4月)



RIJYEC日本青少年交換研究会 (5月)



認証書 授与式 (6月)



青少年交換留学生募集リーフレット



青少年交換委員会

ご清聴ありがとうございます



皆さんこんにちは。ただ今ご紹介に預かりました 2790 地区 R O T E X 会長の齋藤麻利奈です。よろしくお願ひします。本日は私が交換学生として派遣していただきました米国ユタ州での経験をお話させていただきたいと思ひます。

私は 2012-13 の 1 年間、勝浦 R C より交換学生として派遣されました。出発するまでの 1 年間は、毎月のオリエンテーションでロータリアンの方や先輩 R O T E X からアドバイスやサポートをしていただき、不安なく出発する事が出来ました。いざ派遣先に着きますと、H F が私の名前を書いたプラカードを持って待っているのを見てホッとしたのを覚えています。

私は、海外で生活したことがありません。現地の公立高校に通っていましたが、やはり言葉の問題で大変苦勞をしました。でも何事も経験と前向きに取り組みチャレンジしたことが自分の成長につながったと思ひます。ロータリアン主催のアクティビティが毎月あり、ユタに派遣された世界中からの交換学生と数日間一緒に過ごしました。アジアやヨーロッパからの学生と一緒に行動し、コミュニケーションを取ることで、今まで持っていたその国に対する偏見や思い込みがなくなり、毎月のアクティビティに参加する事によって互いの絆が深まっていきました。

ユタでは 2 つのホスト家族でしたが、私生活で何かトラブルがあった時は、ホスト両親やカウンセラーが親身になって相談に乗ってくれました。帰国する 1 ヶ月前には、派遣生 40 名程と約 1 ヶ月のトレントツアーに参加しました。このツアーでアメリカ各地を回ったことが、1 年間の留学の中で一番楽しい思い出です。でも、ツアーが終わればすぐ帰国です。友人やホスト家族、お世話になったロータリアンとの別れが一番悲しい瞬間でした。

しかし、彼等や日本で支えていただきましたロータリアンの皆様、家族のサポートのおかげで、ホームシックにならずに帰国出来ました。私はたくさんの人に支えられ、1 年間で数えきれないほどの素晴らしい経験をする事が出来ました。大変感謝しています。私と同じような素晴らしい経験が出来る人が一人でも多くなるように願っています。その為にも R O T E X として少しでも交換学生をサポートしたいと思ひます。

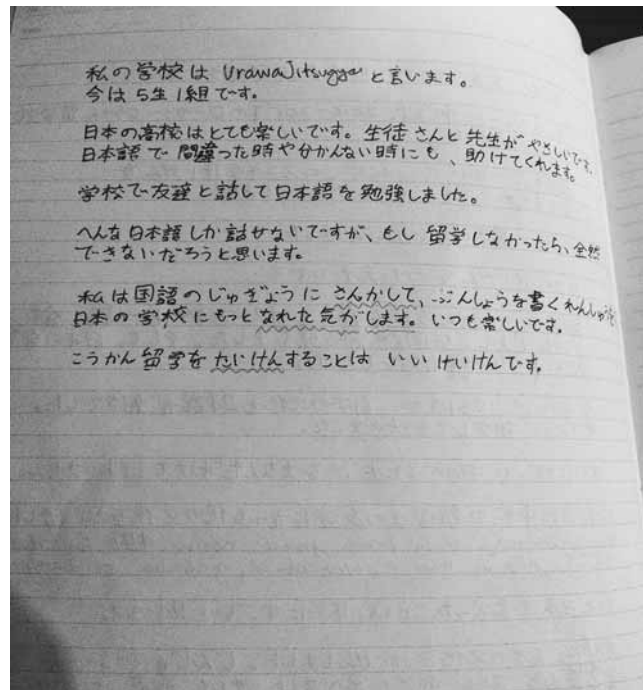
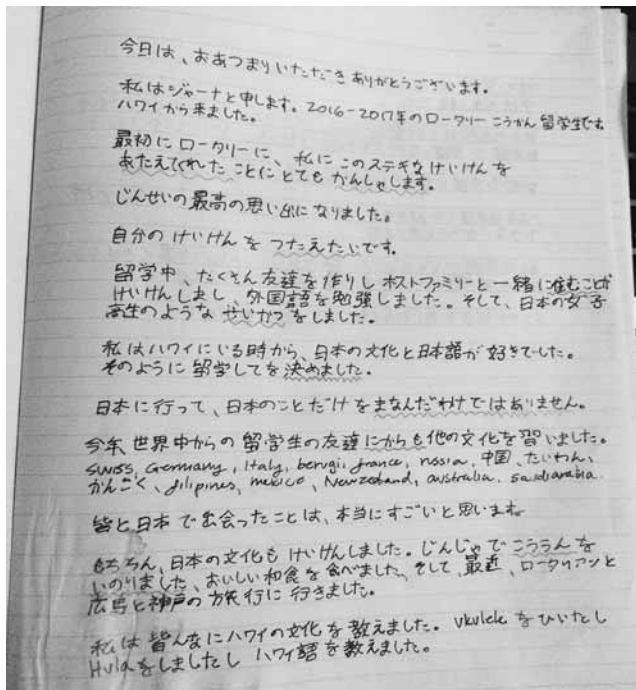
では、次に来日学生のジャナさんを紹介しします。ハワイのカウアイ島からの交換学生です。

今日お集まりいただきましてありがとうございます。私はジャナ・オルグと申します。2016-17 年のロータリー交換留学生です。ハワイから来ました。最初にロータリーに、この素敵な経験を与えてくれたことに感謝します。人生の思い出になりました。自分の経験を伝えたいです。留学中に沢山友達をつくりホスト家族と過ごす経験をし外国語を勉強しました。日本の女子高校の生活をしました。私はハワイにいた時から日本の文化と日本語が好きでした。それで日本への留学を決めました。でも日本にきて日本の事だけを学んだわけではありません。

世界中から留学で来ている友達から他の文化を学びました。スイス、ドイツ、イタリア、ベルギー、フランス、ロシア、中国、台湾、韓国、フィリピン、ニュージーランド、オーストラリア、サウジアラビアなどですが、日本で出会う事が出来たのは、本当に素晴らしい事だと思ひました。勿論日本の文化も経験しています。神社で幸運を祈りをしました。おいしい和食を食べました。ロータリアンと広島へ楽しい旅行へ行きました。

私は、ハワイの文化を教えました。ウクレレ演奏、フラを踊りました。私の学校は浦和実業と言ひます。生徒と先生は優しいです。日本語で間違ったときや分からない時も助けてくれます。学校で友達と話して日本語を勉強しました。変な日本語ですが留学していなかったら全然できなかったと思ひます。

私は、国語の授業に参加して文章を書く練習をして日本の学校に慣れた気がしします。交換留学を体験することはいい経験です。以上です。ありがとうございました。



2016-17 年 青少年交換留学 Jana さんのノート日本語をととても上手に使いこなしていますね。

RYLA 委員会



RYLA 委員会 委員長 阿部昭広

地区 RYLA 委員会では、毎年地区内各ロータリークラブから推薦を受けた 14 歳～30 歳の若者を対象に RYLA セミナーを開催しています。RYLA とは「ロータリー青少年指導者養成プログラム (Rotary Youth Leadership Awards)」のことで、その頭文字から RYLA と呼ばれています。1959 年にオーストラリアで初めて実施された RYLA は、1971 年に国際ロータリーの正式プログラムとして採用されて、日本では 1976 年から実施されました。

第 2790 地区では 1978 年 11 月に第 1 回 RYLA が開催されて、2017-18 年度で第 41 回目を迎えます。

RYLA は、地域社会の若者がリーダーや良き市民としての資質を養い、人間として成長することを助けることを目的としております。RYLA で実施される具体的なプログラムの内容は、それぞれの地域によって様々な形式で行われています。第 2790 地区では、ここ数年間は「歩行ラリー」を教材にして RYLA が実施されています。この「歩行ラリー」において、若者とロータリアンは同じ参加者とし

て、寝食を共にしながら、共に「考え」「行動し」「議論し」「検証し」問題解決を目指します。その一連の過程において、参加青少年には、様々な職業人であるロータリアン達と語り合うことで人間としての幅を広げることができると思いますし、そこで得られたものは人生において必ず活かすことができるものであると信じています。あくまで、若者向けのプログラムですが、参加ロータリアンにとっても、若者の持つ感受性・行動力などから刺激を受けるなどの効果が期待できることは、これまでの参加者の声からも実証されていると思います。

2017-18 年度においても、この「歩行ラリー」を教材にした RYLA を実施してみようと考えております。具体的な日程・場所が決まりましたら、参加募集のご案内をさせていただきたいと思いますので、地区内各ロータリークラブから多くの若者・ロータリアンのご参加をお待ちしております。

ロータリー財団部会



◆ロータリー財団部会

リーダー代行	次期・ロータリー財団委員会 副委員長	平野 弘和
サブリーダー	次期・財団資金・推進管理委員会 委員長	水野 晋治
サブリーダー	次期・グローバルプロジェクト委員会 委員長	時田 清次
サブリーダー	次期・地区補助金プロジェクト委員会 委員長	清水 隆
サブリーダー	次期・奨学生・学友委員会 委員長	山本美代子
サブリーダー	次期・ロータリーポリオ・プラス委員会 委員長	中沢由岐子
サブリーダー	次期・ロータリー平和フェロースhip委員会 委員長	織田 信幸
サブリーダー	次期・希望の風推進委員会 委員長	宮本 和夫
アドバイザー	パストガバナー	崎山 征雄
アドバイザー	パストガバナー	中村 博亘
オブザーバー	次期・ロータリー平和センター・ホストエリアアドバイザー	山崎 敬生

2017-18 年度 ロータリー財団統括委員会	統括委員長	宇佐見 透	(千葉幕張 RC)
	副委員長	平野 弘和	(木更津 RC)
財団資金・推進管理委員会	委員長	水野 晋治	(柏西 RC)
	委員	大野 雅章	(千葉 RC)
	委員	稲垣 典子	(柏 RC)
グローバルプロジェクト委員会	委員長	時田 清次	(市原中央 RC)
	委員	森島 弘道	(新千葉 RC)
地区補助金プロジェクト委員会	委員長	清水 隆	(千葉若潮 RC)
	委員	大谷 京子	(千葉北 RC)
奨学生・学友委員会	委員長	山本美代子	(習志野中央 RC)
	委員	鈴木 定徳	(千葉 RC)
ロータリーポリオ・プラス委員会	委員長	中沢由岐子	(柏 RC)
	委員	鈴木 桂三	(柏西 RC)
	委員	沢田 克洋	(成田コスモポリタン RC)
ロータリー平和フェロースhip委員会	委員長	織田 信幸	(松戸 RC)
	委員	佐藤 孝彦	(浦安 RC)
	委員	実川 喜夫	(松戸中央 RC)
希望の風推進委員会	委員長	宮本 和夫	(千葉幕張 RC)
	委員	吉田 朋令	(千葉東 RC)
	委員	相川 敬	(千葉中央 RC)

R I 2 7 9 0 地区ロータリー財団委員会

2 0 1 7 - 2 0 1 8 年度部門別研修協議会

プログラム

1 3 : 0 0	開 会	R財団委員会副委員長	平野 弘和
1 3 : 0 5	ご挨拶	アドバイザー P G	中村 博恒
1 3 : 1 0	地区ロータリー活動について	R財団委員長	宇佐見 透
1 3 : 2 0	ロータリー財団への寄付	財団資金・推進管理委員長	水野 晋治
1 3 : 4 0	グローバル補助金の概要	グローバルプロジェクト委員長	時田 清次
1 4 : 0 0	地区補助金を活用して地域社会とロータリーの発展を	地区補助金プロジェクト委員会	清水 隆
1 4 : 2 0	奨学生奨学金の流れ	奨学生・学友委員長	山本美代子
1 4 : 3 0	ポリオプラス活動のご理解とご協力	Rポリオプラス委員長	中沢友岐子
1 4 : 4 0	世界平和、紛争予防推進の人材育成	R平和フェロシップ委員長	織田 信幸
1 4 : 5 0	希望の風奨学金の現状	希望の風推進委員長	宮本 和夫
1 5 : 0 0	質疑応答		
1 5 : 1 0	講 評	アドバイザー P G	崎山 征雄
1 5 : 2 0	閉 会	R財団委員会副委員長	平野 弘和

1 3 : 0 0 開会 司会進行 平野 弘和
改めまして皆さんこんにちは、只今よりR財団部会を開会いたします。本日司会進行を仰せつかっております。地区R財団委員会副委員長の平野と申します。

よろしくお願いいたします。

開会に先立ちまして本日財団部会のアドバイザーとして、中村P G、崎山P G、お二人にお付き合いをして頂くことになっております。初めに開会のご挨拶を中村P Gよりお願いいたします。

1 3 : 0 5 ご挨拶 中村P G

皆さんこんにちは、柏西R Cの中村でございます。本日はR財団部会のアドバイザーということで挨拶をお願いされていますので、一言R財団について簡単にお話をさせていただきます。

皆さんも次年度のクラブの委員長としてR財団の勉強はすでになさっていると思います。R財団というのは1917年アーチャー・C・クランプが

「Doing good in the world 世界の為に良い事をしよう」と唱え、皆で基金を作ろうじゃないかという提案から始まっております。1928年に正式にロータリー財団という名前が付けられております。1931年に信託組織になり、1983年から非営利財団法人となりました。ロータリー財団の本格的な活躍は1947年にポール・ハリスの逝去を発端として多くの寄付が集められ、それを素に国際親善奨学生がスタートした訳です。この時は8名か10名の奨学生を出しております。

日本は戦時中のため約9年間国際ロータリーから離れており日本が1949年から復帰して最初の国際親善奨学生は皆さんご存知の緒方貞子さんです。これ以降は国際親善奨学生が盛んに出される様になり、我が地区でも毎年十数名の親善奨学生を出しておりました。我が地区からも皆さんがご存知の女性宇宙飛行士の山崎さんが出ております。ホストクラブは松戸西ロータリークラブとなっております。ロータリー財団が人道的奉仕団体として始めたのは1965年にWCSプログラムが

作られ、世界社会奉仕が始まります。この時にR財団のマッチンググランドという補助金が出来、人道的奉仕が盛んに行われるようになりました。

1978年からR財団が3-Hプログラムを実施します。ここからが国際ロータリープログラムとして始まります。

ポリオは、初の3-Hプロジェクトで補助金が授与されたプログラムとして1985年からポリオ・プラス・プログラムが始まっております。

1987年にG P P I ポリオ撲滅推進機構が立ち上げられました。ここにロータリー、WHO、CBC、ユニセフが加わってポリオ撲滅機構として始まっております。日本でも1960年初めに東北地方中心に流行しました。ですが日本にはワクチンが有りませんでした、そこでロシア、カナダよりワクチンを入手して流行を抑えたのが現実であります。WHOの報告によりますと昨年は99%のポリオ撲滅まで来ています。あと1%です。全世界同時進行によるポリオ撲滅の為に皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

ロータリー財団は、ロータリーが新しい世紀を生き残る為にどうしたら良いかと、2007年に「未来の夢計画」を打ち出しました。

今年は、ロータリー財団が始まって100周年になります。この100周年までに、世界の10本の指に入る財団にするのが目標でありました。

NPOの財団法人だけではなく、NGOにならなければいけないと言っております。その為には会員1人1入がボランティアリーダーとして活躍をしていかなければなりません。ロータリー財団の寄付がどの様に使われて、どの様な貢献をされているのかを理解して頂き各委員会のお話をクラブに持ち帰ってロータリー財団の必要性和重要性をクラブ会員の皆さんに伝えて頂き、次年度は全てのクラブから寄付0クラブを目指して頂き、全てのクラブから年次基金寄付をよろしくお願いしたいと思っております。

次年度のご協力と皆様の活躍を記念して挨拶と代えさせていただきます。

質疑応答 質問1件

千葉幕張RC所属の新倉と申します。

グローバル補助金奨学生の手続きの場合、実施日がすでに確定している場合があると思いますが、それに対して申請はグローバル補助金という基本的には常時受け付けという事になっていますが、実施年度に対してその年の9月に入学が決まっている場合は、それよりどの位前までに受け付けを行えばよいのでしょうか？ あとグローバル補助金、平和フェローの申請者から直接クラブに連絡があると言いましたが、クラブとしては枠が決

まっていたり、事情が解らなかつたりすることもありますので、申請書を書かせて連絡が来たとしても無駄になるケースもあると思うので、出来れば地区で先にアドバイスをして申請書の対応をして頂いたほうが良いのではないのでしょうか。

《時田》

グローバル補助金奨学生については、申し込み期限は3月31日になっています。アメリカでの留学を想定していますので、入学が9月となっておりますので、その3ヶ月前に承認が下りなければなりません。ですから5月の末までに承認をとる為には3月の末までの締め切りとなっております。

フェロー奨学生は5月が締め切りとなっておりますのでこちらも同様に3月末の締め切りとしています。

15:00 講評 本日R財団部会アドバイザーを務めて頂きました崎山 征雄 PDG に御講評を頂きます。崎山パストガバナーよろしくお願い致します。

只今紹介頂いた崎山です。財団に関する色々なお話を聞かせて頂きました。本日お集まりの皆様は、財団委員長として既に責務を果たすべく研鑽を重ねられておると思いますので説明頂いた内容について更なる理解を深められクラブに戻られロータリーの素晴らしい活動内容を会員の方々に充分説明して頂きたいと思っております。その結果が財団への寄付として帰って来るという循環になってほしいと願うからです。今年度のジョン・ジャーム RI 会長のテーマは「人類に奉仕する：Rotary Serving Humanity」であり、会員増強と財団100周年メモリアルから、ポリオ撲滅などの人道的奉仕活動や補助金を使った国際奉仕活動など、地区内におけるリーダーシップの行使と多くのロータリーモニュメントが発表されました。ところが今年の1月に開かれた寺嶋年度の国際協議会では、会員増強のセッションは無くなり、ロータリー財団とロータリーのインパクト、或はロータリーの未来像に関するものが中心で開催されました。これは昨年開かれた規定審議会で、ロータリーが柔軟性を非常に大切にしている方向性に変ったからだと思われます。イアン・ライズリー RI 会長もテーマを「Rotary: Making A Difference」と掲げておられ、ロータリーがもたらす変化が人類の幸福に繋がることを示唆しておられます。

今、ロータリーの中では様々な事が起こっていますが1963年に就任されたカール・ミラー会長は、提唱の中で財団とRIがコラボレートした結果、ロータリーは国際的な大規模奉仕活動団体へと大きく変化したと述べられました。RIが掲げる世界

戦略の中で、ロータリーは世界一の慈善団体となり今日世界のランク付けでロータリー財団はCNBCで第3位、チャリティーナビゲーターで第4位に入っています。CNBCは毎年恒例でトップ10を選んでおりますが、その3位に入っている理由は、疾病予防や水の衛生に対するプロジェクトが評価されており、特にポリオ撲滅は非常に高く評価されています。このポリオという病気は絶対に無くさないといけませんが絶対に世界で無くならないとも言われています。ロータリーは31年間ぶれずにポリオ撲滅に取り組んできました。皆さんにはロータリーが世界中で非常に高く評価されている事を自覚して頂きたいと思います。そのロータリーに対しての最大の貢献は、財団に対しての寄付ではありません。財団への寄付を支える元は職業奉仕だと思います。以前、機関誌「友」で医師の無料診療活動や弁護士の無料法律相談、出前教室などを職業奉仕と書いてありましたがあやまりです。皆さんは阪急電鉄や宝塚歌劇の創設者で、おおさかRCのチャーターメンバーである小林一三氏（後でネットでお調べ下さい）を御存知でしょうか。小林翁によれば「人間の本性は欲だ」と述べられています。夢や希望という我欲は活力の泉であり、息子、娘を学校に通わせたい、或は社会に認められたいとの思いで頑張って働けば働くほど豊かになり、希望は活力の源だと思えます。理想の国家とは、皆が全員で働く事が出来る国を云います。夢を描いて知恵をしぼり、努力をする事で、周りに笑顔になる人が増え、対価として報酬も付いてくる、これが職業奉仕ではないかと思えますし更に努力は絶対に報われなければなりません。努力が報われることで、他の誰かに奉仕しようとする、これこそ職業奉仕の本質だと私は考えています。

最後になりますが、ここで2つほどクレームを言わせて頂きます。「希望の風奨学金」ですが、やるならばもっときちんとやって頂きたい。いつ財団に入ったのか、その説明もなく、経過がきちんと書かれていません。故織田PDGが考えられスタートされた主旨はロータリー精神に満ち溢れた素晴らしい事業もので、すぐに皆さんから多額の資金が集まり、その資金が無くなったら止めるというお話でした。途中から様々な意見が交わされ、それが変ってゆき、且つその後の活動にも問題があったため日本全国34地区のうち7地区しか賛同を得られず当地区でも地区大会で承認されたのは数年前です。ただこの事業をけなしているのではなく素晴らしい事をやっているのだから続けてほしい、続けていくのに協力は惜しみませんが冊子などには正確に記すことが重要で、経過や事実はいい加減にしないでほしいと思うのです。東北大震災で

も、すぐに日本中のローリアンから多額の義捐金が集り、集まった義捐金は当時のロータリー日本財団理事長の小沢一彦RI理事が目的用途を慎重に精査され、ロータリーとしての救済に乗り出されました。その第一弾が被災地に公衆便所を作るなど即座に使われたりしました。「希望の風奨学金」はその後、様々な議論を重ねた結果、多地区合同プログラムにはなりませんでした。その辺は私も理解していません。ただ行なうのであればきちんとやって欲しい。そうでないと亡き織田PDGへの冒瀆になりかねません。ロータリーではそのところを正確にやって頂きたいと願います。

もう1点ロータリーカードですが、過去にはセキュリティに甘さがあり。現に私は被害者になってしまいました。カードのスタートと同時に作り、アメリカで使用したのですが2年後に再び請求が来ました。7、8万で3回程ありました。ですから今は良くなったと思いますが、十分に気を付けて使用して下さいとお願いしなければ逆効果になります。ロータリー財団委員会は念には念を入れて、特にお金のことをお願いするときは、慎重にやって頂くことが重要だと思います。そうすればロータリーはもっと伸びるはずです。

13:00 閉会 司会進行 平野 弘和
ありがとうございました。

1時から始まり3時を少し過ぎました。2時間の長い間ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。
閉会いたします。

米山記念奨学部会



◆米山記念奨学会部会

リーダー	次期・米山記念奨学委員会	委員長	富	一美
アドバイザー	パストガバナー		得	居 仁

2017-18 年度 米山記念奨学委員会

委員長	富	一美	(成田空港南 RC)
副委員長	石田	善一	(市川南 RC)
委員	小川	一	(松戸 RC)
委員	山内	みどり	(茂原 RC)
委員	古市	一雄	(鴨川 RC)
委員	川名	光俊	(館山 RC)
委員	生形	健一	(八街 RC)
委員	佐藤	廣子	(大網 RC)

アドバイザーご挨拶

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員

バストガバナー得居 仁

財団法人米山記念奨学会評議員としてご挨拶申し上げます。

ここにご出席のクラブ委員長さんには、米山記念奨学会を理解し、共感を得て頂き、またそれぞれのクラブの一人でも多くの会員が米山記念奨学会制度を理解し、共感し、納得して頂くよう力を尽くしていただきますようお願いいたします。

昭和15年日本のロータリークラブはRIから脱退せざるを得ませんでした。

昭和24年にRIに復帰が叶いましたが、昭和21年に亡くなった米山梅吉はそれを知りません。

昭和27年4月に調印されたサンフランシスコ平和条約が11月に発効し、我が国は連合国軍による占領から解放され、独立国となることができました。

このように、我が国が、他国の占領から解放され、独立国、平和国家として歩み始め、世界の国々の仲間入りを果たすこと出来るようになったことがきっかけでありましょう、RIに復帰出来ていた日本のロータリアンの中から、日本のロータリーの父米山梅吉の功績を永遠に偲ぶことができるような、何か有益な事業をやろうではないかという声が上がってきました。

そのような状況の中で、東京RCの古沢丈作会長が「米山基金」の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。

米山梅吉死去昭和21年、国際ロータリー復帰昭和24年、サンフランシスコ平和条約・連合国による占領からの独立昭和27年11月、米山基金構想発表同年12月という時代背景に思いを巡らせてみて下さい。

「今後、日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか。」

日本のロータリアンの夢であり、希望でした。一日も早く国際社会に復帰し、独立国家、平和国家のロータリークラブとして活動して行きたいとするその当時の、ロータリアンの願い、希望に思いをめぐらすと胸が熱くなります。

こうして、東京RCが始めた「米山基金」は、わずか5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業として継承され、今日に到っています。

米山記念奨学金制度の立ち上げに託した先人

ロータリアンの願いに思いを馳せて頂けば、必ずや多くのロータリアンが米山記念奨学会制度を理解し、共感し、納得して寄付をして下さると確信しています。

どうぞよろしくお願いいたします。

2016-17 ロータリー米山記念奨学会

事業全般的説明

委員長 富 一美

クラブ米山委員長並びに代理出席の皆様、部会出席ご苦労様でございます。

改めまして、次年度、地区米山記念奨学委員長を仰せつかりました成田空港南ロータリークラブの富と申します。

どうぞ、1年間宜しくお願い申し上げます。

本日のこの部会別協議会のご登録は、地区内68クラブの米山委員長並びに代理出席の皆様にご登録をいただいております。

この中には米山奨学事業に関しては、経験豊富ですべてに精通しておられる方から、今回米山委員長を機に、米山奨学事業に対して本格的に取り組んでみよう、とお考えに成っていらっしゃる委員長さんもおられると思います。

ベテランの諸先輩方には大変申し訳ございませんが、本日はプログラム全体を通して、米山奨学事業をおさらいする形で進めさせていただきますので、ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

●ロータリー米山記念奨学事業についてご説明をさせていただきます。

この事業は、日本のロータリーが作った独自の事業でございまして、34地区、全地区が推進する合同プロジェクトでございます。

事業のはじまりから一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を対象としています。

「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団でございまして、財源は一部を除きすべて会員のみなさんからのご寄付で成り立っています。

この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。

銀行振込が多い他の奨学金とは違って、米山奨学金ではロータリー活動に共に参加してもらい、交流することを大切にしています。

世話クラブの皆様には、経済的支援だけにとどまらない 世話クラブ・カウンセラー制度の素晴らしさを 奨学生に体験してもらい、絆を深めることの必要性を念頭に置きながら 接していただければ幸いです。

特に、この奨学事業の評価は“どんな奨学生を採用し、彼らがどう育っていったか”にかかって

いること、そして、巣立った後も関わりを持ち、奨学事業の成果を「育くみ続ける」ことの重要性をご理解いただきたいと思います。

文部科学省のような奨学金を支給するだけの救貧型の奨学金ではございません。

この奨学金は、ロータリアンが寄付をして資金面を支え、相応しい留学生をロータリアン自ら選考し、物心両面から支援する知的国際貢献型奨学金であることをご承知おきいただきたいと思います。

●米山奨学金は、日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉氏が亡くなったあと、その功績を永遠に偲ぶことができる事業をやろうと、1952年、東京RCがはじめたものです。

アジアから優秀な学生を招いて、研究させようというもので、当時は「米山基金」という名前でした。

この背景は戦後「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい」。人と人との交流、民間交流こそが、平和な世界の基礎を作るという考えから生まれました。

●米山奨学事業の使命は、一言で言いますと「将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること」にあります。

つまり、人づくりです。

これはまさに、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものでございます。

そして、この事業の根幹をなすのが、カウンセラーの皆様になるわけです。

●さて、事業規模についてですが、米山奨学会では2017学年度は年間795人、2017年4月現在の累計で、世界125の国と地域から19,808人を支援しています。

これは、外国人留学生を対象とする民間奨学金としては最大で、今後、海外からより多くの留学生を受け入れようとする日本の政策にも大きく貢献しています。

国別で言いますと、採用数の多い順で、中国、韓国、台湾、マレーシア、ベトナム、インドネシア、バングラデシュ、タイ、その他の中にはヨーロッパでドイツ、イタリア、イランなどの国も含まれます。

2017年度卒業予定者が卒業しますと、2万人台に突入します。

ただ問題は、「奨学期間が終わったら、連絡が取れなくなった」と嘆く声も多く聞きます。

どうか、カウンセラー・世話クラブの皆さんにおかれましては、奨学期間の間に強い絆を結ぶような交流をお願い致します。

●地区米山記念奨学委員会の主な活動内容についてご説明いたします。

地区米山記念奨学委員会が1年間を通じ課せられ

た活動の主な内容は大きく分けて三つございます。一つは米山記念奨学事業への理解促進と寄付増進があります。

二つには地区の奨学生採用方針の決定・選考・採用と世話クラブの選定作業があります。

三つには採用された奨学生や学友のフォローと地区学友会のサポートがあります。

●奨学生を育てるシステムについてご説明いたします。

その中で特に各クラブに直接かかわって来るもの、そして、一年間を通じてクラブの米山委員長様に重点的に行動していただきたい事が、一つ目の米山奨学事業の理解促進と寄付増進でございます。

地区内ロータリアンが、もれなく米山奨学事業を理解していただく為には、奨学事業の直接の成果を、ロータリアンお一人お一人に満遍なく知っていただく事が、一番の早道だと考えます。

その為には、地区委員や奨学生が、出来る限り多くのクラブに訪問する卓話の機会を設けていただき、奨学事業の意義と直接の成果を、間近で感じとってもらう事が、大切ではないのかなと考えております。

後ほど寄付・卓話担当の委員からお願いがあると思いますが、10月の米山月間に捉われることなく、是非とも例会のプログラムに米山奨学生のクラブ卓話を組み入れていただき、米山記念奨学事業の理解促進に取り組んでいただきたいと思います。

皆さんにお配りした、クラブ米山委員長の手引きの2ページに、「委員長の役割」として、さらに具体的に掲載されておりますので、後ほど読んでいただきたいと思います。

●世話クラブ、特にカウンセラーは「国際奉仕の最前線」です。

留学先の国で、経済を支える第一線で働くロータリアンと交流できることは、留学生にとっても大変貴重な体験となりますが、私達ロータリアンにとっても、彼らのこと、あるいは彼らの国のことに興味を持って、国際交流を楽しむチャンスです。

ある会長に伺いましたところ、米山奨学生を預かるようになってから、クラブの雰囲気も良い方向に変わり、国際理解と推進に会員の意識が確実に変わったと思う。とのことでした。

地区米山委員会としましては、一つでも多くのクラブにこの有意義な体験をしていただきたいと思います。

その為の当地区への採用数割合については、他地区より寄付が多ければ多いほど、より多くの奨学生を採用できます。

ここで、ご寄付のお願いについてですが、一つでも多くのクラブにこの有意義な体験をしていただく為にも寄付の増進にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

因みに、本地区目標額につきましては、寺嶋ガバナリーエレクトから、皆様へお願いとして、普通寄付と特別寄付を併せまして、お一人当たり15000円以上をお願いしたいと受け承っております。

どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

●地区米山記念奨学委員会の主な重点課題について、ご説明いたします。

1. 大学奨学金担当者・指導教員へのロータリー活動と米山記念奨学会の目的趣旨の周知に努めてまいります。
2. 米山奨学生へのロータリー活動と米山記念奨学金制度の目的趣旨の周知に努めてまいります。
3. 米山奨学生と世話クラブ・学友会との継続的関わりの育成に努めてまいります。

このことにつきましては、カウンセラーと奨学生の関わり、世話クラブと奨学生の関わり方について

の具体的な方策について意見交換をする意味から、地区委員で分担して25の世話クラブを訪問したいと考えております。

又、9月以降実施予定の米山奨学生卓話も積極的に受け付けてまいります。

4. 「将来の懸け橋」「国際親善」「国際平和」「ロータリーファミリー」という米山奨学事業の大きな目

的に対して、醸成された思いを持つ学友会の皆さんに、米山奨学事業のプログラムや活動の場での更なる協力を求め、参加を促してまいります。

以上が次年度の重点課題でございます。

●続いて、次年度の活動計画について触れさせていただきます。

活動計画につきましては、配布資料の中に入っております。

【2017学年度】

2017年

4月15日(土) 奨学生必須 奨学生・カウンセラー・指導教員オリエンテーション

4月22日(土) 地区研修・協議会

4月23日(日) 地区学友会合同同窓会

5月20日(土) 奨学生研修会

6月10日(土)～6月14日(日) 国際大会
アメリカアトランタ

6月24日(土) 奨学生研修会

7月14日(金) 学校説明会(指定校大学説明会)

7月22日(土) 奨学生・カウンセラーセミナー

8月26日(土) クラブ米山委員長セミナー
ご予約下さい。

【9月以降⇒各クラブ依頼の卓話訪問】

9月2日(土) 米山学友会主催ロータリー全学友バーベキュー大会

10月15日(日)～16日(月) 米山梅吉記念館探訪研修旅行

12月上旬 米山学友会主催忘年会

2018年

1月13日(土) 新規奨学生筆記面接試験実施

1月14日(日) 判定会

1月14日(日) 奨学生必須 奨学生・カウンセラー・学友会新年会

2月24日(土)～25(日) 地区大会 米山の集い・ホームカミング

3月10日(土) 奨学生必須 終了式・歓送会

じつは、この活動計画は既に4月15日に行いました奨学生・カウンセラー、指導教員オリエンテーションの際に、奨学生、カウンセラー、指導教員の皆様には配布済みでございます。

時間も押しておりますので、大事なところだけお知らせいたしますが、クラブ米山委員長さんには、本日の地区研修・協議会の後は、8月26日(土)クラブ米山委員長セミナーを予定しておりますので、ご予約の方宜しくお願い申し上げます。

時期が来ましたら、改めて事前にご案内の通知を送らせていただきます。

以上を持ちまして、ロータリー米山記念奨学事業の全般的説明を終わらせていただきます。

●ここで新しい企画として、「米山梅吉翁の生涯」としてその足跡をたどる映画を皆さんにご覧いただこうと思います。

米山梅吉翁は、ご本人ではなく役者さんが演じておりまして、映写時間は46分間です。

◎米山梅吉翁とはどんな人物であったのか？そして、どんな人生を送ったのか？また、東京ロータリークラブの皆さんが、戦後、ロータリーが日本に復帰したのち、米山梅吉翁亡きあとその意思を継いで「米山基金」ができ、そして「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」と発展したその背景には何があったのか？その辺のところをこの映画から、是非、感じ取っていただけたら幸いです。

◎皆さん、この映画から米山梅吉翁の人物像を十分感じ取って頂けましたでしょうか？

戦後の昭和24年の日本ロータリー国際復帰の報は、米山先生は天国で知らされたわけです。

生前多くの、特にアジアの留学生や国内の苦学

生に、無名で多額の援助を惜しまなかった先生の遺徳を偲んで、今、RIでも注目している「ロータリー米山記念奨学会」が生まれ、現在に至っております。

今後とも、平和への人づくりであります、ロータリー米山記念奨学会に、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

なお、ご希望があれば、DVDを焼き増しして差し上げますのでお申し出下さい。

米山奨学生卓話について

寄付・卓話担当委員 山内 みどり

次年度、米山記念奨学委員会・卓話担当を仰せつかっております茂原ロータリークラブの山内みどりと申します。宜しくお願い申し上げます。

皆様に米山奨学生に対しご理解を頂く為にも、10月の米山月間を中心にクラブでの米山奨学生卓話訪問を是非プログラムへ計画をしていただきたいと思います。

本日お渡ししました、配布資料の中に「卓話依頼書」を同封してございます。

この依頼書の一回目の締切は7月末となっております。

締め切り後、奨学生と調整し8月20日過ぎまでに、ご依頼クラブへ訪問日のご連絡させていただきます。尚卓話日は9月以降の日程でお申込みくださいませ。

その後も随時で受け付けますので、出来るだけ多くのクラブからの卓話依頼をお願いします。

ロータリー米山記念奨学生の受け入れは、既に4月15日のオリエンテーションからスタートしております。

今年度は、継続奨学生6名・新規採用奨学生19名の合計25名です。

彼らが、何故日本に留学をする決意をしたか、また学業の研究をし将来どの様な希望を抱き毎日過ごして居るのかなど、本人の言葉で皆様に直接お話をして頂く機会が米山奨学生の卓話でございます。

奨学生は夢を実現する為に、学費と生活費の捻出に日夜苦勞を重ねております。

米山奨学生に採用されたことにより、学業に専念出来ることと思います。

その奨学生の言葉を直接クラブでお聞きになる事が出来ますので、是非とも月間を中心にご依頼をお願い致します。

米山奨学事業の使命であります母国と日本の架け橋になる為にも、彼らの卓話のお申込みを是非とも宜しくお願い致します。

尚、卓話のご希望日が他クラブと重なりご希望日に添えない場合は、スケジュール調整をさせていただきますので、予めご了承くださいませ。

申込みは私山内が窓口となっております。依頼書にメールアドレス及び、携帯とFAX番号を記載してございますので、そちらへお申込み下さいませ。より多くのクラブからのお申込みをお待ち申し上げます。

米山奨学事業への寄付について

寄付・卓話担当委員 古市一雄

ご寄付の詳細につきましては、お手元に配布されております、豆辞典の9ページから14ページにかけて掲載されております。

又、配布資料の中に前年度の寄付金納入明細総合表と2790地区クラブ別寄付金明細表を入れておきましたので併せてご覧ください。

ロータリー米山記念奨学事業は、全国のロータリアンのご理解の元運営されております。

この事業の財源は言うまでもなく、ロータリアンの寄付でまかなわれて折り、ガバナーは毎年地区研修協議会で目標を掲げております。

寄付には、普通寄付・特別寄付がございますが、合わせてお一人15000円をお願いしております。

今年度3月末までの地区内の目標に対して達成率84%で御座いますが、特別寄付0クラブが22クラブ・18クラブは10,000円以下両方合わせて40クラブ有ります。

今年度も残り2ヶ月ありますので何卒、今一度クラブへ戻りまして会員の方々にご理解をお願いして頂きたいと思っております。

目標が低くなりますと、3年後の当地区での奨学生の全国の割り振りが少なくなります。

全国には、会員数が当地区より少ない地区でも、米山記念事業に対して、多くのご理解で奨学生の受入数が多い地区もございます。

もう一つは、会員に対しての事業の理解度で御座います。当地区は長年会員の寄付パーセントが30%代でございます。

多くの方々が理解を示して会員パーセントを少しでも上げ40%を目標に考えております。

米山記念奨学会より毎年事業に対しての、豆辞典が会員の皆様に配布されております。

クラブ米山記念委員長様が、例会時に時間をとっていただき、豆辞典の内容を会員の皆様に説明させて頂きたいと思っております。

又、大きな特典としまして、米山へのご寄付は、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。

「税額控除」と「所得控除」、どちらか有利な方を選択することができます。

「税額控除」は、寄付額の約40%を、所得税額から直接控除することができるもので、「所得控除」よりも控除額が大きくなることが多いです。

例えば、課税所得が750万円の方が、10万円寄

付した場合、税額控除の場合は3万9,200円も所得税が還付されます。

特別寄付金だけでなく、普通寄付金も、申請をすれば領収書が出ます。

すべての領収証を合算して、年間2,000円以上の寄付でメリットがあります。

法人の特別寄付についても、法人税が軽減されます。

同じ寄付をするなら、所得税や法人税が軽くなる米山へ、ぜひ、ご支援をお願いいたします。

奨学生・学友会について

奨学生・学友担当委員 小川 一

みなさまこんにちは、奨学生並びに学友会を担当させていただきます、松戸ロータリークラブの小川一でございます、どうぞよろしくお願い致します。

はじめに奨学生についてお話をさせていただきます。当2790地区に於いて、今年度採用した奨学生の数は、25名です。

●プロジェクター（奨学生及び世話クラブの一覧表）

それぞれの奨学生の世話クラブの一覧はご覧の通りでございます。

昨年度は26名でしたが、人数は3年前の皆様方からのご寄付の実績に応じて決まります、今後も継続しての御支援をよろしくお願い致します。

25名の内、昨年度からの継続奨学生が6名、下の黄色い枠の6名です。

従いまして、今年度は新規で19名の奨学生を採用いたしました。

ご覧のように、中国と韓国の奨学生が多いのですが、スリランカ、ネパール、カンボジア等の学生もおります、昨年はイランやトルコ、ドイツ、イタリアと幅広い地域から奨学生を採用しています。

先ほど、富委員長からもご説明がありましたが、米山記念奨学事業の神髄とも言えるものが、「世話クラブ・カウンセラー制度」です。

今年度は25のクラブに世話クラブをお引き受け頂きましたが、世話クラブとなったクラブ委員長さんに於かれましては、ぜひカウンセラーと同じ視点に立って、また我が子に対する様な愛情を持って奨学生に接して頂きたいと思ひます、よろしくお願い致します。

奨学生に対しては、去る4月15日にカウンセラーと指導教員も交えたオリエンテーションを行いました、その中で「ロータリーとは。」「米山記念奨学事業とは。」「奨学生としての心得。」等のテーマで研修を行いました、皆さんとても優秀な学生達ですが、なかなか一回の研修で全てを理解することは難しいです。

5月以降はそれぞれの世話クラブの例会に於いて、奨学生に対してロータリーの心を伝えてあげて下さい。

●プロジェクター（スライド17 米山記念奨学委員会の重点課題）

そして、地区の委員会の重点課題である、「米山奨学生へのロータリー活動と米山記念奨学金制度の目的趣旨の周知。」「米山奨学生と世話クラブ・学友会との継続的係わりの育成。」につなげていて頂きたいと思ひます。

それぞれの奨学生にとっては、世話クラブとの係わり、カウンセラーとの係わりイコール、「ロータリー」となります。

奨学生はみなさん本当に優秀であり、素晴らしい素質を持った学生達です、ぜひ将来、ロータリーファミリーの一員として、世界と日本との懸け橋となる人材の育成に力をお貸し頂きたいと思ひます。

そして、今回残念ながら世話クラブになれなかったクラブの委員長さんには、クラブ内のロータリアンに対して、米山記念奨学事業の意義を深く理解してもらう機会を数多く作って頂きたいと思ひます。

そして奨学生や学友をクラブの例会に招いて卓話を実施し、奨学事業の意義を皆で実感できる機会をぜひ設けて下さい、その際には必ず地区委員が同行してサポートをさせていただきますのでご安心下さい。

米山奨学事業を実感していただくには、現役の奨学生や活躍している学友を身近に感じて頂くことが一番だと考えております、どうかよろしくお願い致します。

●プロジェクター（豆辞典19、20ページ）

次に学友会についてのご説明をさせていただきます。豆辞典の19ページをご覧ください、元奨学生と現役奨学生によって組織される会を学友会と呼んでいます。

現在、日本には33、海外には9、の学友会があります。

●プロジェクター（豆辞典17、18ページ）

18ページの中段に掲載されている、モンゴルのシルネン・ブヤン・ジャルガルさんは一昨年の地区大会に、来て頂き卓話をして頂いています。

●プロジェクター（豆辞典21、22ページ）

当2790地区にも学友会があり、活発に活動しております。

22ページに「よねやま親善大使」のご紹介が御座いますが、次年度は2790地区からも「よねやま親善大使」に立候補したいと言っている学生もおります。

2790地区から、全国で2名の枠しかない「よねや

ま親善大使」を排出出来たらとてもうれしく思います。

●プロジェクター（9月のバーベキュー大会の時の写真）1

つづいて学友会の活動報告をさせていただきます、写真は9月に行いました「ロータリーデイ バーベキュー大会2016」の時の写真です、宇佐見パストガバナーをはじめ大勢の皆様に参加をして頂きました。

●プロジェクター（9月のバーベキュー大会の時の写真）2

総勢で100名以上の参加者が集まり、米山記念奨学事業のPRと奨学生の親睦を兼ね大いに盛り上がりました。

●プロジェクター（9月のバーベキュー大会の時の写真）3

●プロジェクター（9月のバーベキュー大会の時の写真）4

●プロジェクター（9月のバーベキュー大会の時の写真）5

●プロジェクター（10月の研修旅行時の写真）

続いて、こちらが10月に行った研修旅行の写真です、毎年、米山梅吉記念館を訪問して米山記念奨学金の歴史に触れています、また一泊で行い奨学生どうしの親睦を深めるととても良い行事となっています。

●プロジェクター（3月の修了式、歓送会時の写真）

そして3月には奨学期間終了と共に、修了式・歓送会を行います、別れは辛いですが、学生たちの新たな旅立ちを皆でお祝いして送り出しをします。

青木ガバナーから一人一人に修了証と記念品を手渡ししてもらいます。

得居パストガバナーもお祝いに駆けつけてくれました。

●プロジェクター（学友会の今後の活動予定）

こちらが本年度の学友会の活動予定です、学生たちは忙しい合間をぬって、理事会や各種行事の設営を行っております。

●プロジェクター（ホームカミング制度とは）

最後に、ホームカミング制度についてご説明をさせていただきます、豆辞典の26ページの一番下の段に説明がありますが、ホームカミング制度とは元米山奨学生（学友）の里帰り制度です。

国内外で活躍する学友に地区へ里帰りして頂き、現在の活躍を披露して頂くことで「寄付の成果が実感できる。」と共に、現役の奨学生や私たちロータリアンに対しても、とても良い刺激になる事業です。2008年度に設立をされました。

●プロジェクター（写真）

昨年は21年前に米山奨学生として巣立った台湾

の黄幸素さんをお招きいたしました。

第三分区のインターシティーミーティングで卓話をして頂きました。

今年度は地区大会にて元米山奨学生をお招きする予定です。

以上、奨学生・学友会担当からのお願いと報告とさせていただきます、ありがとうございました。

奨学生選考について

副委員長 兼 会計・選考担当 石田 善一
先般、2017学年度の奨学生・カウンセラー・指導教員オリエンテーションが終わり、スタートを切りました。2017年度は継続生6名・新規採用19名で御座います。

採用に關しての流れをご説明致します。

5月に入り各大学が米山記念奨学会のホームページから応募を兼ねたページに登録を致します。

6月に入りますと、地区内の大学キャンパスがある大学リストが地区委員会へ届きます。

地区委員会として、大学応募に關しての選考委員会メンバーを決め、リストに基づき応募大学の募集人数の割り振りなどを決めさせていただきます。

同時に、各大学の留学生の在席人数に關しても調べ県内の各大学でどの位留学生が在籍しているか、把握致します。

合わせて、割り振り人数に關しては、過去の奨学生採用人数などを参考にさせて頂いております。

7月初旬に各大学の担当者に集まって頂き、採用に關しての説明会を開催致します。

説明会の内容は、R米山記念奨学生制度に付きましての説明および今後の進行について、合わせて、地区米山記念奨学委員会の選考に關してのスケジュール等に關しても説明を致し理解を頂きます。

再度、米山記念奨学会へ地区指定に關しての報告を致し、指定に基づきまして米山記念奨学会よりのホームページに記載され、各大学は指定に基づき、学内募集を行います。

応募の多い大学では、事前に学内選考なども行っており、伺っております。

10月中旬に、応募書類が米山記念奨学会より送られて参り、地区米山記念奨学委員会では選考委員により、選考・面接に關しての委員を選び委員の方々にオリエンテーションを行い、選考に關しての注意並びに書類の取り扱いなど情報の外部への漏れを防いでおります。

12月中に書類審査、1月中旬には面接試験を行い、最終的に合格者の決定をしております。

出来るだけ、偏らない方法で選考しておりますが、今の所やはり全体的に中国出身者が県内の大学在席数が多い為に、目立っておりますが、大学別の数字では偏りを防いでおります。

各クラブ米山奨学委員のご理解をお願い致します。

質疑応答

特に質問はございませんでした。

要望として、部会の中でお見せした「水満々……米山梅吉その生涯」のビデオが好評で、34クラブからDVDを分けて欲しいと要望がありました。

すでに、34クラブすべてに配布済みです。

※ロータリー第2790地区米山記念奨学委員会奨学生学友会ホームページへ地区研修・協議会米山記念奨学部会のご報告として、写真13枚を含み、4月23日に掲載しました。

https://www.facebook.com/RID2790Yoneyama.students.association/?ref=aymt_homepage_panel





地区研修・協議会ホストクラブ
第4分区 袖ヶ浦ロータリークラブ

国際ロータリー第2790地区
寺嶋哲生ガバナーエレクト事務所

〒260-0042 千葉市中央区椿森3-1-1-301
TEL043-307-2790 FAX043-307-2791
E-mail:17-18gov@rid2790.jp